第２三好寮・三好市地域利便性施設
（仮称）　新築工事のうち建築工事

課　　長	副 課 長	課長補佐	係　　長	係　　長	課　　員	担　　当

図面リスト１

図面番号	図　面　名	図面番号	図　面　名	図面番号	図　面　名	図面番号	図　面　名
A-000	表紙	A-031	２階　平面図	A-062	１階　展開図８	A-093	建具表６
A-001	図面リスト１(意匠図)	A-032	３階　平面図	A-063	２階　展開図１	A-094	部分詳細図１
A-002	図面リスト２(構造図)	A-033	PH階・PHR階　平面図	A-064	２階　展開図２	A-095	部分詳細図２
A-003	特記仕様書－１	A-034	立面図１	A-065	２階　展開図３	A-096	部分詳細図３
A-004	特記仕様書－２	A-035	立面図２	A-066	２階　展開図４	A-097	部分詳細図４
A-005	特記仕様書－３	A-036	断面図１	A-067	２階　展開図５	A-098	部分詳細図５
A-006	特記仕様書－４	A-037	断面図２	A-068	２階　展開図６	A-099	部分詳細図６
A-007	特記仕様書－５	A-038	断面詳細図１	A-069	２階　展開図７	A-100	部分詳細図７
A-008	特記仕様書－６	A-039	断面詳細図２	A-070	２階　展開図８	A-101	部分詳細図８
A-009	特記仕様書－７	A-040	断面詳細図３	A-071	２階　展開図９	A-102	部分詳細図９
A-010	特記仕様書－８	A-041	断面詳細図４	A-072	２階　展開図10	A-103	部分詳細図１０
A-011	特記仕様書－９	A-042	断面詳細図５	A-073	２階　展開図11	A-104	部分詳細図１１
A-012	特記仕様書－１０	A-043	断面詳細図６	A-074	２階　展開図12	A-105	部分詳細図１２
A-013	特記仕様書－１１	A-044	１階　平面詳細図１	A-075	３階　展開図１	A-106	部分詳細図１３
A-014	特記仕様書－１２	A-045	１階　平面詳細図２	A-076	３階　展開図２	A-107	部分詳細図１４
A-015	特記仕様書－１３	A-046	１階　平面詳細図３	A-077	３階　展開図３	A-108	部分詳細図１５
A-016	付近見取図	A-047	１階　平面詳細図４	A-078	３階　展開図４	A-109	２階　厨房機器配置図(参考図)
A-017	配置図	A-048	２階　平面詳細図１	A-079	PH階　展開図１	A-110	厨房機器リスト(参考図)
A-018	敷地丈量図	A-049	２階　平面詳細図２	A-080	１階　天井伏図	A-111	エレベーター詳細図１(参考図)
A-019	仮設計画図	A-050	２階　平面詳細図３	A-081	２階　天井伏図	A-112	エレベーター詳細図２(参考図)
A-020	面積表	A-051	３階　平面詳細図１	A-082	３階　天井伏図	A-113	エレベーター詳細図３(参考図)
A-021	室面積表・採光・換気・排煙チェックリスト1	A-052	３階　平面詳細図２	A-083	PH階　天井伏図	A-114	現況配置図
A-022	室面積表・採光・換気・排煙チェックリスト2	A-053	３階　平面詳細図３	A-084	１階　建具配置図	A-115	現況地中構造物図１
A-023	１階　防火区画・壁リスト	A-054	PH階　平面詳細図	A-085	２階　建具配置図	A-116	現況地中構造物図２
A-024	２階　防火区画・壁リスト	A-055	１階　展開図１	A-086	３階　建具配置図	A-117	外構配置図(撤去)
A-025	３階・PH階　防火区画・壁リスト	A-056	１階　展開図２	A-087	PH階　建具配置図	A-118	外構詳細図(撤去)
A-026	内部仕上表１	A-057	１階　展開図３	A-088	建具表１	A-119	敷地レベル現況配置図
A-027	内部仕上表２	A-058	１階　展開図４	A-089	建具表２	A-120	現況縦断図・横断図１
A-028	内部仕上表３	A-059	１階　展開図５	A-090	建具表３	A-121	現況縦断図・横断図２
A-029	内部仕上表４	A-060	１階　展開図６	A-091	建具表４	A-122	参考工事工程表
A-030	１階　平面図	A-061	１階　展開図７	A-092	建具表５		

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）　新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-001	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088)－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　図面リスト１	●縮尺　A1:－/－ A3:－/－	

図面リスト２

図面番号	図　面　名	図面番号	図　面　名	図面番号	図　面　名	図面番号	図　面　名
S-001	構造設計特記仕様(1)	S-031	鉄骨部材リスト(3)				
S-002	構造設計特記仕様(2)	S-032	鉄骨部材リスト(4)				
S-003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	S-033	鉄骨架構詳細図				
S-004	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	S-034	雑詳細図				
S-005	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	S-035	軸組図(1)<開口補強材>				
S-006	鉄骨構造標準図(1)	S-036	軸組図(2)<開口補強材>				
S-007	鉄骨構造標準図(2)	S-037	軸組図(3)<開口補強材>				
S-008	露出型弾性固定柱脚工法　標準図(1)	S-038	軸組図(4)<開口補強材>				
S-009	露出型弾性固定柱脚工法　標準図(2)	S-039	軸組図(5)<開口補強材>				
S-010	露出型弾性固定柱脚工法　標準図(3)	S-040	軸組図(6)<開口補強材>				
S-011	露出型弾性固定柱脚工法　標準図(4)	S-041	軸組図(7)<開口補強材>				
S-012	合成スラブ構造デッキプレート設計・施工標準						
S-013	土質柱状図(1)						
S-014	土質柱状図(2)						
S-015	杭伏図						
S-016	基礎伏図						
S-017	杭・基礎リスト						
S-018	基礎梁リスト						
S-019	１階柱２階床梁伏図						
S-020	２階柱３階床梁伏図						
S-021	３～R階柱R～PHR階床梁伏図						
S-022	軸組図(1)						
S-023	軸組図(2)						
S-024	軸組図(3)						
S-025	軸組図(4)						
S-026	軸組図(5)						
S-027	軸組図(6)						
S-028	軸組図(7)						
S-029	鉄骨部材リスト(1)						
S-030	鉄骨部材リスト(2)						

徳島県県土整備部営繕課

●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設
（仮称）　新築工事のうち建築工事

●図面名　図面リスト２

●図面番号　A-002

●縮尺　A1:－/－
A3:－/－

１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号
株式会社　宮建築設計
徳島市福島１丁目５番６号
TEL　（088）－625－5505（代）
管理建築士　清水　康代　１級333707

Ⅰ. 工事概要

1.	工事名称	第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事
2.	工事場所	三好市池田町マチ2182-3、2183、2184-5、2181-18、2180-9、2180-30
3.	敷地面積	2,741.29 ㎡
4.	工事種目	※工事内容：新築 構造規模：建築面積 1,196.85㎡　床面積 2,999.72㎡，構造 S造，階数 3階＋PH階
5.	工事区分	建築工事一式
6.	工　　期	令和 ６ 年　７月　３１日までとする. ※令和６年７月から寮の備品及び厨房機器の搬入を予定しているため、令和６年６月末までに工事完了すること.
7.	その他	◎本工事は、資材価格高騰に対する特例措置の対象工事である.

Ⅱ. 建築工事仕様書

1章　一般共通事項　　〇印を付した項目を適用する.

項　　目	特　記　事　項
① **適用基準等**	◎図面及び特記仕様に記載されていない事項は，すべて建設(国土交通省)大臣官房官庁営繕部監修の下記による. ①公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版(以下「標仕」という.) ②敷地調査共通仕様書(令和4年版) ③建築工事標準詳細図(令和4年版) ④公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版) ⑤公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版) ⑥木造建築工事標準仕様書(令和4年版) ◎本工事のうち電気工事及び管工事について，下請業者を使用する場合は，工事の施工に十分な能力と経験を有したものを選定すること. ◎設計図書の優先順位は，次の順とする. (1) 質問回答書((2)から(5)に対するもの) (2) 補足説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 公共建築工事標準仕様書　平成31年版 等 ◎施工条件は次による. ・本工事に関連のある設備工事は，令和5年4月発注予定. ・本工事の工期内には，別途厨房工事の工期を含んでいる. ・本工事の着手前に，給排水，ガス管，地下埋設物の調査を行う．調査期間は１週間とする. ・借地，工事用敷地(使用可能範囲)，仮囲いの場所，範囲は図示する. ・工事に支障がある範囲は撤去図による. ・騒音，振動 コンクリート部分の取壊し工事は9時から17時までとし，圧砕機を使用する. ・工事用排水は、ノッチタンクを経由して敷地周囲の既存水路に放流する. ・一般道路に損傷を及ぼした場合は請負者にて補修を行い、常に清掃に心がけること.なお、補修方法については監督員と協議を行うものとする. ・工事の施工に当たっては工事進入ゲートに交通整理員を配置し，一般交通等に支障を及ぼさないように充分注意し施工するものとする. ・市道2328東八塚上野線は通学路であり、 交通整理員を配置し，児童の通学に安全を確保するものとする.（交通整理員の配置は，７時から１７時までの間）　なお，別添の図示により難い場合は，別途監督員と協議するものとする. ・本工事の外部足場に落下防止として図示の範囲に防炎シート養生を設置するものとする。 ・本工事施工中，第3者危険防止の措置として，図示により敷地周囲に飛散防止のための成形鋼板の外柵を設置するものとする.（H=3m，延長261m，シートゲートW=6m,1箇所 W=5.4,2箇所） ◎本工事で使用する建設機械は，「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告示 平成13年4月9日改正)」に基づき指定された建設機械を使用するものとする. 現場代理人は，施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等，同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする. ただし，同規程に記載されていない機種，規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない. なお，同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は，監督員と協議する.ただし，騒音規制法，徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする. ◎本工事に使用する土工機械は，「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3.10.8 建設省経機発第249号最終改正 平成14.4.1 国総施第225号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする．ただし，排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は，平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」，又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査証明事業，あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが，これにより難い場合は，監督員と協議するものとする．なお，排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合，現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする.

項　　目	特　記　事　項
	◎本工事で使用する建設機械(労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械)は，1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し，その検査証明書(検査記録表)のコピーを使用工種の施工計画書に添付し提出すること. ◎交通誘導警備員については，警備業法に基づく警備員とし，図示する場所に300日間配置すること. ・本工事は，警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が(・義務付けられている ⊙ 義務付けられていない). ・警備員は，延315人(昼315人)を見込んでいる. ・警備業法を遵守するとともに，受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること. ・配置された検定合格警備員は，業務に従事している間は合格証明書を携帯し，かつ，監督員等の請求があるときは，これを提示すること. ・受注者は，発注者が行う交通誘導警備員勤務実績調査の実施に協力しなければならない．また，対象工事の一部について下請負契約を締結する場合は，当該下請負工事の受注者(当該下請負工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。)も同様の義務を負う旨を定めなければならない。 ・受注者は，「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し，勤務実績が確認できる資料(勤務伝票の写し)とともに，1月毎に監督員へ1部提出しなければならない. ◎受注者は，本工事の一部を下請に付する場合には，徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない．なお，請負対象額（設計金額）が１億円以上の工事については，徳島県内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合に，県内業者を選定しない理由を記した理由書を事前に監督員に提出しなければならない.
② 工事関係図書	◎施工に先立ち，実施工程表，工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書を作成し，監督員に提出すること. ◎上記の施工計画書には，「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること. ◎施工図，現寸図，見本等は，監督員の指示により速やかに監督員に提出すること.
③ 安全衛生管理	◎工事関係図書及び監督員から指示された事項等については，施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること. ◎工事現場における現場代理人，監理技術者，主任技術者の確認のため名札を着用すること. 名札には現場代理人,監理技術者,主任技術者の別,氏名,会社名,工事名が記載し,顔写真を添付すること. ◎工事現場の安全衛生管理については，労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと. ◎工事の施工に伴う災害及び公害の防止は，建築基準法，労働安全衛生法，騒音規制法，振動規制法，大気汚染防止法，建設工事公衆災害防止対策要綱(平成5年1月12日 建設省建経発第1号)，建設副産物適正処理推進要綱(平成5年1月12日 建設省建経発第3号)その他関係法令に従い適切に処理すること. ◎受注者は，工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事（仮囲い等仮設材設置を含む）着手までに調査を行い，「支障物件確認書」を監督員に提出し，監督員の確認を受けてから工事着手すること. ◎地下埋設物への影響が予想される場所では，施工に先立ち，原則として試掘を行い，当該埋設物の種類，位置(平面・深さ)，規格，構造等を確認しなければならない. ◎受注者は，工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し，支障を及ぼさないような措置を施さなければならない．万一，損傷を与えた場合は，ただちに監督員に報告するとともに，施設の運営に支障がないよう 受注者の負担でその都度補修又は補償すること. ◎受注者は，重量が100kg以上のものを貨物自動車に積む作業(ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む．)又は貨物自動車から卸す作業(ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む．)を行うときは，当該作業を指揮する者を定め，監督員に報告しなければならない. ◎受注者は，機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から卸す作業を行う場合は，当該作業を指揮する者を定め，指揮者の合図により行わなければならない．また，作業状況について，写真等の資料を整備及び保管し，監督員の請求があったときは，直ちに提示しなければならない. ◎受注者は，輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため，重機回送時の高さ，移動式クレーンのブームの格納，ダンプトラックの架台の下ろし等について，走行前に複数の作業員により確認しなければならない. ◎受注者は，トラック(クレーン装置付)を使用する場合は，上空施設への接触事故防止装置（ブームの格納忘れを防止（警報）する装置，ブームの高さを制限する装置等）付きの車両を原則使用しなければならない．なお，使用できない場合は事前に監督員と協議を行うこと. ◎休日,夜間に作業を行う時は,事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること. ◎受注者は，工事用車両による土砂，工事用資材，機械等の輸送を伴う場合は，関係機関と打合せを行い，交通安全に関する担当者，輸送経路，輸送期間，輸送方法，輸送担当業者，交通誘導員の配置，標識，安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て，災害の防止を図らなければならない．特に，輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は，当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない. ◎受注者は，工事期間中安全巡視を行い，工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い安全を確保するとともに工事現場における盗難防止の観点から，資機材の保管状況等についても併せて確認すること. また，監督員から「資機材保管計画書」(自由様式)の提出を求められた場合には，速やかに提出すること.

項　　目	特　記　事　項
	◎上下作業や直下階の施設を利用しながらの直上階（天井）のスラブはつり工事は，原則禁止とする．やむを得ず行う場合は，飛来落下の危険を生じるおそれがあるため，適切な防護措置を講じ安全確保を図り，施工手順について監督員の承諾を得たうえで，指定された時間に行うこと. ◎受注者は、足場を設置する場合、組立、解体時において、作業前に施工手順を確認し、倒壊や資材落下に対する措置を講じなければならない.特に、飛来落下の恐れのある巾木やメッシュシート等の資機材については、足場の上に仮置きせず、設置又は荷下ろしするまでは、番線等により固定を行うこと. また、強風、大雨、大雪等の悪天候のため、作業の実施について危険が予想されるときは、作業を中止すること.
④ 工事現場管理	◎工事現場には，工事標識を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること. ◎受注者は，本工事において使用する工事看板・バリケード等については，県産木材を用いた木製品を優先して使用するよう努めなければならない．県産木材を購入した場合，受注者は，工事完了後「任意仮設における県内産木材購入実績報告書」を監督員へ任意で提出すること. ◎電気保安技術者は次の者とし，必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により，監督員の承諾を受けること. ・事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は，その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする. ・一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は，第１種又は第２種電気工事士の資格を有する者とする. ◎発生材の処理等は，次により適正に行う. (1) 工事による発生材のうち，文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については，報告及び引き渡しを要する. (2) 上記以外の発生材は，建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律，資材の有効な利用の促進に関する法律，廃棄物の処理及び清掃に関する法律，建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること．受注者は，工事で発生する産業廃棄物を保管する場合，または自ら運搬する場合等においては，廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図書に表示のないものについては，監督員(契約書に規定する監督員をいい，標仕の規定による場合は監督職員と読み替える，以下同じ.)に報告し指示を仰ぐこと. (3) 撤去物の種類，規模，構造，撤去方法，養生方法，発生材の処分場を記載する. ・産業廃棄物の種類ごとに下記を指定する. （コンクリート有筋） 処分許可業者の会社名，所在地：大成ﾛｯｸ（株）阿波池田合材工場、三好市池田町白地井ノ久保1598-1 処分地の所在地　：同上 運搬距離　　：4.9km　　処理単価(税抜き)：2,800円/t （ガラス） 処分許可業者の会社名，所在地：（株）明和ｸﾘｰﾝ、三好市山城町寺野字大休場956 処分地の所在地　：同上 運搬距離　　：11.8km　　処理単価(税抜き)：10,000円/m3 （建設発生土） 処分許可業者の会社名，所在地：（株）らくーだ、三好市池田町佐野西沼谷789番地ほか 処分地の所在地　：同上 運搬距離　　：13.8km　　処理単価(税抜き)：1,300円/m3 上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが，増額変更の対象とはしない．また，この場合，処分単価の見積書の提出を求め，減額変更を行うことがある. なお，上記の処分場が徳島県優良産業廃棄物処理業者（以下，「優良産廃処分業者」という.）に認定されているとき，処分場を変更する場合は原則として優良産廃処分業者に変更すること．ただし，諸般の事情により優良産廃処分業者以外の処分場で処分を行う場合は，理由書を監督員に提出すること. また，コンクリート・アスファルト類の搬出先については，中間処理施設のみとする．木材については，50km の範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする. (4) 受注者は，建設副産物が搬出される工事にあたっては，建設発生土は建設発生土搬出調書，産業廃棄物は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により，適正に処理されているか確認するとともに，監督員に建設発生土搬出調書(様式3)を提出しなければならない．なお，監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない. ◎資源の有効な利用の促進に関する法律（以下「資源有効利用促進法」という.）及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（以下「建設リサイクル法」という.）に基づく対応は，以下のとおり行うこと. (1) 受注者は，資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第19号）第8条で規定される工事又は建設リサイクル法施行令第2条で規定される工事（以下「一定規模以上の工事」という.）において，コンクリート（二次製品を含む.），土砂，砕石，加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には，（一財）日本建設情報総合センターの建設副産物情報交換システム（以下「COBRIS」という.）により再生資源利用計画書を作成し，監督員の確認を受けること. (2) 受注者は，資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の指定副産物に係る再生資源の利用の促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第20号）第7条で規定される工事又は一定規模以上の工事において，建設発生土，コンクリート塊，アスファルト・コンクリート塊，建設発生木材，建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には，COBRISにより再生資源利用促進計画書を作成し，監督員の確認を受けること. (3) 受注者は，上記計画書を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）すること. (4) 受注者は，上記計画書に変更が生じた場合は，速やかに計画を変更し，その変更の内容を監督員に報告すること. (5) 受注者は，工事完了後速やかにCOBRISにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し，監督員に提出すること. (6) 受注者は，上記計画書及び実施書を工事完成後5年間保存すること. (7) 受注者は，COBRISの入力において，資源の供給元及び搬出する副産物の搬出先について，その施設名，施設の種類及び住所を必ず入力すること．ただし，バージン材を使用する生コンクリート及び購入土を除くものとする.

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-003	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　特記仕様書－１	●縮尺　NON	

項　　目	特　記　事　項
	◎建設リサイクル法通知済証の掲示 受注者は，建設リサイクル法に基づく対象建設工事（特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって，その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの）においては，工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手前までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し，工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかなければならない。また，「建設リサイクル法通知済証」掲示後の全景写真は電子納品の対象書類とし，「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づき提出することとする。なお，「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。
⑤　材料・製品等	◎本工事に使用する建築材料等は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし，JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は，次の(1)から(3)の事項を満たすものとする。 (1)　品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2)　法令等で定める許可，認定又は免許を取得していること。 (3)　製造又は施工の実績があり，その信頼性があること。 なお，「評価名簿による」と記載されているものは，国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料等評価名簿（最新版）」記載品を指すものとする。 ◎受注者は，本工事で使用する建築材料・製品等（以下「建材等」という）の発注の際には，発注前に，品質及び性能に関して記載された施工計画書及びその証明となる資料を監督員へ提出しなければならない。 ◎県産木材の使用 (1) 受注者は，工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合，原則として県産木材を使用しなければならない。ただし，特段の理由がある場合にはこの限りでない。 (2) 「県産木材」とは，「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり，「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。 ① 徳島県木材認証制度により，県内産であることが「産地認証」された木材 ② ①以外において，徳島県内の森林で育成したことが確認された木材 (3) 受注者は，請負金額が500万円以上の工事について，県産木材以外の木材を使用する場合は，県産木材を使用できない理由施工計画書に記載すると共に，書面及び確認資料を事前に監督員に提出し，承諾を得なければならない。 (4) 受注者は，県産木材を使用する前に，徳島県木材認証機構から発行される「産地認証」証明書の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。 (5) 県内の森林から直接調達するなど，前項により難い場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。 ◎製材等（製材，集成材，合板，単板積層材），フローリング，再生木質ボード（パーティクルボード，繊維板，木質系セメント板）については，合法性に係る確認（「産地認証」及び「品質認証」を含む。）が行われたものを使用する。ただし，機能上，需給上など正当な理由により確保が困難であり，使用できない場合には監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする。 また，それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は，林野庁作成の「木材・木材製品の合法性，持続可能性の証明のためのガイドライン（平成18年2月15日）」に準拠して行うものとし，監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし，平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については，平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には，上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。 ◎公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の仕様・工法は，監督員の承諾を受けて，当該製品の仕様及び指定工法による。 ◎県内産資材の使用 (1) 受注者は，木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合，原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし，特段の理由がある場合はこの限りでない。なお，WTO対象工事については，県内産資材を優先して使用するよう努めるものとする。 (2) 受注者は，木材以外の建設資材について，県内産資材の別を施工計画書に記載するものとする。また，請負金額が500万円以上の工事について，県内産資材以外の資材を使用する場合は，県内産資材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に，確認資料を事前に監督員に提出し，承諾を得なければならない。 県内産資材（次のいずれかに該当するもの） ① 材料の主な部分を県内産出の原材料を使用している製品 ② 徳島県内の工場で加工，製造された製品 注1 部材，部品が県外製品であっても，県内の工場で加工，製造した製品（二次製品）であれば県内産資材として取り扱う。 注2 県内企業が県外に立地した工場（自社工場）で加工，製造した製品も県内産資材として取り扱う。 注3 公共建築工事標準仕様書そのた関連する示方書等の基準を満たす資材，製品であること。 ◎県内産再生砕石の原則使用 受注者は，再生砕石を使用する場合，県内の再資源化施設（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第15条第1項に基づく許可を有する施設（同法第15条の2の5第1項に基づく変更の許可において同じ。））で製造された再生砕石を原則として使用しなければならない。 ◎受注者は，徳島県内に主たる営業所を有する者から調達した建材等（県内企業調達建材等）を優先して使用するよう努めなければならない。また，県内企業調達建材等の別を施工計画書に記載するものとする。 なお，県内企業調達建材等以外を使用する場合は，県内企業調達建材等を使用しない理由を施工計画書に記載し，監督員の承諾を得なければならない。

項　　目	特　記　事　項
⑥　化学物質を発散する建築材料等	◎本工事に使用する建築材料は，設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし，次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1) 合板，木質系フローリング，構造用パネル，集成材，単板積層材，MDF，パーティクルボード，その他の木質建材，ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は，ホルムアルデヒドを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材，緩衝材，断熱材は，ホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤は，フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し，ホルムアルデヒド，アセトアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料（塗り床を含む）は，ホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼンを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。 (5) (1)，(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具，書架，実験台，その他の什器等は，ホルムアルデヒドを発散しないか，発散が極めて少ないものとする。
⑦　施工	◎工事現場監督員は常駐できないので，疑問な点，その他打合せ決定を要する事項は，監督員の出向いた時，又は営繕課へ問い合わせ，工事に遺漏のないようにすること。 ◎施工にあたっては，設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を発見した場合は，工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので，注意して施工すること。手直し工事は，受注者の責任において実施し，それに要する費用は受注者の負担とする。 ◎他工事と取り合い区分

項　　目	建築工事	電気工事	管 工 事	空調工事	そ の 他
梁，壁，床スリーブ入れ		○	○	○	
同上穴埋補修		○	○	○	
スリーブ開口補強（鉄筋）	○				
同上（リンブレン等）	○				
床，天井点検口	○				
設備機器天井開口墨出		○	○	○	
同上切込み及び開口補強	○				
衛生器具取付のブロック壁空洞部分のモルタル埋め			○		
縦樋（GLまで）	○				
盤，便器等の箱入れ		○	○	○	
同上補強	○				
給排気ガラリ取り付け	○				
空調機器類の基礎工事	○				

⑧　技能士の適用	◎技能士の適用については，次の技能検定作業（以下，「作業」という。）のうち各工事毎に適用する作業を指定するものとする。 技能士は，職業能力開発促進法による一級技能士又は二級技能士の資格を有する者とし，資格を証明する資料を監督員に提出すること。 技能士は，適用する工事作業中，1名以上の者が自ら作業をするとともに，他の技能者に対して，施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。技能士は，氏名，検定職種，技能士番号等無が指定した内容を記載した名札等により，資格を明示するものとする。 なお，指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。 ○印 ･･･ 適用作業

工事種目	技能検定職種	技　能　検　定　作　業
仮設	とび	⊙ とび作業
鉄筋	鉄筋施工	⊙ 鉄筋組立て作業
コンクリート	コンクリート圧送施工	⊙ コンクリート圧送工事作業
型枠	型枠施工	⊙ 型枠工事作業
鉄骨	鉄工	⊙ 構造物鉄工作業
防水	防水施工	⊙ アスファルト防水工事作業 ⊙ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ⊙ シーリング防水工事作業 ・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 ・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ常温粘着工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
タイル	タイル張り	⊙ タイル張り作業
木	建築大工	⊙ 大工工事作業
屋根及びとい	建築板金	⊙ 内外装板金作業
	かわらぶき	・ かわらぶき作業
金属	建築板金	⊙ 内外装板金作業
左官	左官	⊙ 左官作業
建具	建具製作	・ 木製建具手加工作業 ・ 木製建具機械加工作業
	サッシ施工	⊙ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	⊙ ガラス工事作業
塗装	塗装	⊙ 建築塗装作業

項　　目	特　記　事　項

工事種目	技能検定職種	技　能　検　定　作　業
内装	内装仕上げ施工	⊙ プラスチック系床仕上げ工事作業 ⊙ カーペット系床仕上げ工事作業 ⊙ 鋼製下地工事作業 ⊙ ボード仕上げ工事作業 ・ カーテン工事作業 ⊙ 木質系床仕上げ工事作業
	表装	・ 表具作業　・ 壁装作業
配管	配管	⊙ 建築配管作業
植栽	造園	・ 造園工事作業
機械設備	冷凍空気調和機器施工	・ 冷凍空気調和機器施工作業

⑨　設計変更箇所確認	◎工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について監督員，工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること ◎工事しゅん工前に全ての設計変更箇所について，監督員，工事監理業務受注者とともに，書面により確認すること
⑩　工事検査及び技術検査	◎設計図書（各施工計画書を含む）に定められた工程が完了した時，報告書を提出し，監督員の検査等を受け，承諾を受けて次の工程に進むこと。 ◎試験等によらなければ，確認できない工事（製品）については，試験等計画書（施工計画書に記載）を提出し，監督員の承諾を受け試験を行い，その結果を報告し承認を得ること。 ◎次表により中間検査の対象工事となった場合は，原則として次表の実施回数以上の中間検査を実施するものとする。ただし，工事検査員が認める場合は，一般入札工事に限り，これによらないことができる。

当初請負対象額	一般入札工事	低入札工事
3千万円未満	－	1回
3千万円以上5千万円未満	－	2回
5千万円以上1億円未満	1回	2回
1億円以上	2回	3回

（注）　低入札工事とは，低入札価格調査工事の調査基準価格を下回って落札した工事をいう。
一般入札工事とは，低入札工事以外の工事をいう。

	◎中間検査の実施時期は，当該工事の工程を考慮し施工上の重要な時点で行うものとし，契約締結後速やかに監督員と協議すること。 ◎中間検査が部分払検査と同時期になる場合は，中間検査を省略することができる。 ◎基礎杭工事を含む工事については，請負対象額にかかわらず，基礎杭工事完了後，中間検査を実施する。 ◎外壁改修工事等において，足場が撤去されしゅん工検査時に検査員による出来形等の現場確認ができなくなるおそれがある場合は，当初請負対象額に関係なく，中間検査の実施について監督員と協議すること。
⑪　完成図等	◎電子納品：対象 ◎提出書類 ・竣工図（製本3部，電子データ2部）（ ・A4 ⊙ A3 ・ A2 ⊙ 原図版 ） ・工事写真（写真帳１部（ ⊙着手前 ⊙ 完成写真 ），電子データ２部） ・使用材料一覧表(4部（うち3部は竣工図表紙裏面に貼付），電子データ2部） ・保全に関する資料 ◎竣工図は関係図面（データ貸与）を修正して作成すること。 竣工図データは，関係図面（データ貸与）を修正して作成し，PDF形式，SFC形式及びオリジナル形式をCD-R等に保存する。 ◎工事写真の電子データは完成写真，着手前，資材，施工状況の順に整理する。 完成写真については，工事目的物の状態が，資材，施工状況等については，不可視部分の出来形が写真で的確に確認できること。 ◎工事写真の撮影は，国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。

区　　分	サ　イ　ズ
着　手　前	カラー，手札版又はサービスサイズ
施　工　中	カラー，手札版又はサービスサイズ
完　成　写　真	カラー，手札版又はサービスサイズ

	◎工事完成撮影は，専門家に（ ・よる ⊙ よらない ）ものとする。 ◎受注者は，建築工事を施工する場合，原則として「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づいて調査，設計，工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品（以下「電子納品」という。）すること。

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設 （仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-004	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　特記仕様書－２	●縮尺 NON	

項　　目	特　記　事　項
⑫ 火災保険	◎対象物 工事目的物及び検査済材料(支給材料を含む)について付保すること. ◎付保除外工事 次に掲げる単独工事については，付保を除外できる. (1) 杭及び基礎工事 (2) コンクリート躯体工事 (3) 屋外付帯工事 (4) その他実状を判断の上，必要がないと認めた場合(外壁補修工事等) ◎付保する時期及び金額 鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に，木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に，請負金額相当額を付保する. また，模様替え工事等については，工事着手時に請負金額相当額を付保する. ◎保険終期 工事完成期日に14日を加えた期日とする. なお，工期延伸した場合には，保険の期間も延長すること. ◎その他 (1) 建設工事保険に付保した場合は，火災保険に付保したものとみなす. (2) 付保する時期以降に出来高払いを行う場合は，受注者は保険契約の証券の写しを出来高払いの書類に添付すること.
⑬ 室内空気中の化学物質の濃度測定	◎建物の用途により以下の物質の室内濃度を測定すること. 学校：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラクロロベンゼン・スチレン・エチルベンゼン 学校以外：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン 採取器具は受注者にて用意すること。 測　定　対　象　室 ／ 測定箇所数 1階 オープンスペース1、オープンスペース2、活動室A、B、E、事務室、メイカースペース、授乳室 ／ 12 2階 舎室南(１室)、事務室、舎監室、静養室、食堂 ／ 6 3階 舎室北(１室) ／ 1 測定は，次のいずれかにより行う. ・住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく評価方法基準(平成13年 国土交通省告示第1347号)第5 6－3(3)「ロ 測定の方法」において定められた方法 ・パッシブ型採取機器を用いる方法 パッシブ型採取機器を用いる場合は，次の要領により行う. (1) 30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具，押入等の収納部分の扉を含む)を開放し，30分間換気する. (2) 5時間閉鎖 (1)の後，測定対象室の全ての窓及び扉を5時間閉鎖する．ただし，造り付け家具，押入等の収納部分は開放したままとする. (3) 測定 イ (2)の状態のままで測定する. ロ 測定時間は，原則として24時間とする．ただし，工程等の都合により24時間測定が行えない場合は，8時間測定とする. なお，8時間測定の場合は午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう，10時30分～18時30分までの時間帯で測定する. ハ 測定回数は1回とし，複数回の測定は不要とする. ※(1)，(2)，(3)において，換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする．ただし，局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする. (4) 分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取器を分析機関に送付し，濃度を分析する. (5) 測定結果の提出 測定後，測定結果を監督員に提出すること. ◎測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定を行う.
⑭ デジタル工事写真の小黒板情報電子化	◎受注者は，デジタル工事写真の小黒板情報電子化の実施を希望する場合は，監督員の承諾を得たうえで，デジタル工事写真の小黒板情報電子化対象工事（以下，「対象工事」という）とすることができる。 ◎対象工事は，徳島県CALS/ECホームページ掲載の「デジタル工事写真の小黒板情報電子化の運用について（県土整備部）」に記載された全ての内容を適用することとする。
⑮ 瑕疵担保責任について	◎本施設の寮部分については、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」に基づく瑕疵担保責任が生じます.受注者は、住宅瑕疵担保責任保険への加入、もしくは保証金の供託により、資力確保措置を講じること.

2章　仮設工事

項　　目	特　記　事　項
① 敷地の状況確認	◎着工に先立ち，敷地境界，既存構造物，敷地の高低差，地下埋設物の確認，近隣建築物及び工作物の現状確認，排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況確認を行うこと.
② ベンチマーク	◎設計GLの設定は，BM(　+575　)とし，A-17図による．ただし，監督員の指示により決定する.
③ 足場等	◎仮設機材及び経年仮設機材の使用については，次の規格又は認定基準(以下「規格等」という．)に適合するものを使用すること. ①労働安全衛生法に基づく構造規格 ②(社)仮設工業会の認定基準 また，厚生労働省の「経年仮設機材の管理指針」の基づく(社)仮設工業会の「適用工場制度」による登録工場及び指定工場等の活用に努めるとともに，前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し，承諾を得ること. ◎労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第７に掲げる機械等（組立から解体までの期間が60日未満を除く）の設置や移転、変更を行う場合は、30日前までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと. 届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること. 届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること. ◎労働安全衛生法第88条に基づく届け出の要否に関わらず、足場を設置する場合は、使用開始前に営繕課指定の足場チェックリストを用いて点検した後、監督員の確認を受けること. ◎受注者は，高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は，墜落防止に留意し，作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い，その記録を保管すること. ◎外部足場(種類：枠組足場 ，仕様：2枚布(500+240)，D= 90 cm，シート仕様：　防音シート　) ・壁つなぎ間隔(水平方向: 8 m以下，鉛直方向: 9 m以下) ・足場を設置する場合は，原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」(2.2.4)の別紙１「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2) **手すり掘置方式** により行うこと. ただし監督員の承諾を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる. ◎内部足場(種類：脚立足場，仕様：　　枚布，D=　　cm) ・壁つなぎ間隔(水平方向:　m以下，鉛直方向:　m以下) ◎仮囲いを設置する場合は、設置後に「営繕課発注現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること. ◎仮囲い(仕様：成形鋼板，H=3.0ｍ，L=※ ｍ)(図示) ◎ゲート(⊙有 ・ 無，仕様：　シートゲート W=6.0m H=4.5m 1か所　W=5.4m H=4.5m 2か所　) ◎足場等の設置業者は，別契約の関係受注者に無償で使用させること.また安全管理も実施すること. ◎足場等を無償使用する業者は、設置業者の指示に従うこと. ◎受注者は，つり足場(ゴンドラのつり足場を除く．)，張出し足場又は高さが5メートル以上の構造の足場の組立て，解体又は変更の作業において，材料，器具，工具等を上げ，又はおろすときは，つり綱，つり袋等を労働者に使用させなければならない．また，作業主任者を選任し，その氏名，職務を掲示すること.
④ 監督員事務所	◎監督員事務所は(　・設ける(面積　　㎡程度) ⊙ 設けない　)
	◎会議室は(⊙設ける(面積 25 ㎡程度) ・ 設けない　)
⑤ 工事用水，電力等	◎既存電力利用(　・出来る ⊙ 出来ない　)，電力料金(⊙有償 ・ 無償　) ただし，施設管理者と協議すること.
	◎既存用水利用(⊙出来る ・ 出来ない　)，用水料金(⊙有償 ・ 無償　) ただし，施設管理者と協議すること.
⑥ 工事車両用駐車場 資材置場 現場事務所用地等	◎同用地は，(⊙図示の場所に ・ 用意していないので業者にて　)設けること. ただし，施設管理者と協議すること.

項　　目	特　記　事　項
⑦ 仮設トイレの洋式化	◎受注者は当初請負対象金額（設計金額）5千万円未満の工事において，仮設トイレを設置する場合，原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない.また，現場従事者に女性が含まれる場合は，原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。 ただし，特段の理由がある場合はこの限りでない. ◎受注者は，　当初請負対象金額（設計金額）5千万円以上の工事において仮設トイレを設置する場合，原則として「快適トイレ」を設置しなければならない.また，現場従事者に女性が含まれる場合は，原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。 ただし，特段の理由がある場合はこの限りでない. ◎受注者は，仮設トイレを設置した場合，「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない. ○洋式トイレとは，和式トイレの便座部分を洋式化したトイレのこと. ○快適トイレとは，洋式トイレのうち，防臭対策・施錠の強化などが実施された，女性が利用しやすい仮設トイレのこと.

3章　土工事

項　　目	特　記　事　項
① 根切り	◎周辺の状況，土質，地下水の状態等に適した工法を採用し，工事中の異常沈下，法面の滑動，その他による災害が発生しないよう，災害防止上必要な処置をすること. ◎敷地内に埋設が予想される設備配管類等について十分調査し，支障がないようにすること. ◎根切り底は，地盤をかく乱しないよう，手作業(深さ30cm程度)とするか，バケットに特殊アタッチメントを取りつけた機械堀りとする．なお，かく乱した場合は，自然地盤と同等以上の強度となるように適切な処置を定め，監督職員の承諾を受ける.
② 排水	◎工事に支障を及ぼす雨水，わき水等は，適正な排水溝，集水ます等を設置し，支障がないようにすること.
③ 埋め戻し及び盛土	◎使用土は(　A種 ⊙ B種 ・ C種 ・ D種)とし，機器により締め固める. ◎建設発生土を搬入する場合には，土壌検査結果を添付するものとし，「徳島県生活環境保全条例」の土壌基準に適合しないものについては，搬入することができない. ただし，次の場合は検査結果の添付の必要はない. (1) 公共工事間利用の場合で，監督員相互で同意がとれた場合 (2) 購入土(切込砕石，砂，真砂土等)である場合 ◎余盛りは，土質に応じ監督員と協議の上，余盛り高さを決定すること. ◎六価クロム溶出試験を(⊙ 行う ・ 行わない). 行った場合，土壌環境基準以下であることを確認すると共に，試験結果(計量証明書)を監督員に提出するものとする. 六価クロム溶出試験は，「セメント及びセメント系固化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」(平成12年3月31日 建設第258号)の「六価クロム溶出試験実施要領(案)」により実施する. 土質条件，施工条件等により試験方法，検体数に変更が生じた場合，試験の結果，六価クロムの溶出量が土壌環境基準を超えた場合等は，監督員と協議するものとする.
4. 地均し	◎建物の周囲，幅2m程度を，水はけよく地均しを行う. ◎地均しは，均しを行う地表面の不陸を修正し，草木の除去及び清掃をして，一様にかき均した後，仕上げ面を一様になじみ起こしをして，良質土をまきかけ，歩行に耐えうる程度に締め固める.
⑤ 建設発生土の処理	◎場外搬出適正処分とする. 民間の残土処分場等へ搬出する場合は「徳島県生活環境保全条例」によることとし，建設発生土の発生場所ごとに，かつ4,000立方メートルまでごとに1回採取して，土壌検査を行うこととする．その他，「特定事業の許可に係る土壌検査及び水質検査の実施における留意点」による. ただし，建設発生土の公共工事間の利用を行う場合で，担当者相互の同意が取れた場合には，分析の必要はない. ◎土壌検査を行った結果，条例の基準に適合しない場合には，監督員と協議すること. ◎場外搬出の場合の処理は次のとおりとする. ・最終処分場の指定 排 出 土：砂質土 会 社 名：(株) らくーだ会社 所 在 地：三好市池田町佐野西沼谷789番地 処分単価：1m³当たり1300円(税抜き) 運搬距離：13.8kmを見込んでいる。 運搬経路：国道319号線→国道192号線

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好察・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-005	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮 建 築 設 計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088) －625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 特記仕様書－３	●縮尺 NON	

項　　目	特　記　事　項
⑥　建設発生汚泥の処理	◎場外搬出の場合の処理は次のとおりとする. ・中間処理施設の指定 会 社 名：阿波バラス株式会社 所 在 地：吉野川市山川町場外141-11 処分単価：1t当たり12000円(税抜き) 運搬距離：44.3kmを見込んでいる。 運搬経路：国道192号線 ◎舗装版切断に伴い発生する排水は汚泥に該当するため，関係法令等に基づき適正に処理すること.
7.　山留め	◎山留めは，適切な資料に基づき構造計算を行い，安全に設置すること．また，設置期間中，周辺地域及び山留めの状況を点検するとともに，安全管理に必要な計測を行う. ◎法面施工の場合(素堀り ・ 多段式) ◎山留めの存置　存置範囲　図示による. ◎鋼矢板等抜き跡の処理　(・直ちに砂等で充填　・　　)

4章　地業工事

項　　目	特　記　事　項
①　一般事項	◎試験杭の位置及び本数は図示による．仕様は本杭と同じとする. ◎排水，排土等は産業廃棄物に該当するため，関係法令に基づき適正に処理すること.
2.　既製コンクリート杭地業	◎杭の種類 種類 ・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭) ・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭) ・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭) 寸法,継手,性能等(種別:種類,性能及び曲げ強度区分)

		種類	コンクリート強度(N/mm2)	鋼管厚(mm)	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭									
	中杭									
	下杭									
本杭	上杭									
	中杭									
	下杭									

◎杭先端部形状　・開放形　・半開放形　・閉そく形
◎専門工事業者は，工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督職員に提出する.

◎工　法

・特定埋込杭工法　　：平成13年7月2日　国土交通省告示第1113号第6による.
・セメントミルク工法　：プレボーリング掘削長さGL－　　m，オーガー径　　mm

◎特定埋込杭工法における支持地盤の位置及び土質は図示とする.
・杭の水平方向の位置ずれの精度は，(　　)mm以下とする.

◎支持地盤への掘削深さ(　　)m，杭の支持地盤への根入深さ(　　)m

◎支持地盤の位置及び土質は図示とする.
・杭の水平方向の位置ずれの精度は，(　　)mm以下とする．なお，ずれが(　　)mmを超えた場合は，監督員の指示を受ける.

項　　目	特　記　事　項
	◎専門工事業者は，工事の規模に相応した施工機械，施工体制，施行実績を有することを証明する資料を監督員に提出すること. ◎杭の現場継手の形状は，JIS A 5525による. ◎継手の施工に当たっては，上下杭の軸線を同一線上に合わせる. ◎杭の現場継手の溶接は，原則として半自動又は自動のアーク溶接とする. ◎溶接は標仕4.3.7.(2)(ア)(イ)，及び(ウ)の技術者が行う. ◎溶接施工は標仕4.3.6(3)による. ◎溶接部の確認は，標仕7.6.10に準じ行うこととし，確認結果の記録を監督職員に提出し，不合格溶接がある場合は標仕7.6.13により補修を行う. ◎溶接後は溶接部を急冷しないように，適切な時間をおいて打ち込みを再開する. ◎杭頭処理は，鋼製バンド等を使用し，10cm程度は手ばつりとする. ◎杭頭の処理は標仕4.3.8による. ◎杭頭の補強材は杭の継手に準じて溶接されるものとする. ◎使用機械は，オーガーの駆動用電動機の電流値の変化が自動記録できるものを装備する. ◎支持層の確認は，掘削した土砂を確認し，監督員の承認を受けること. ◎特定埋込杭工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα＝250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα，β，γが以下の値を採用できる工法 α=(　　)，β=(　　)，γ=(　　)
3.　鋼杭地業	◎支持層は駆動用の電動機の電流値により確認する. ◎杭先端は支持層に(1m)以上根入れする．なお，岩盤等で困難な場合は，監督員と協議する. ◎杭長は支持層確認後決定する. 寸法,継手,性能等

		種類	厚さ(mm)	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭								
	中杭								
	下杭								
本杭	上杭								
	中杭								
	下杭								

◎工　法
◎特定埋込杭工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα＝250を採用できる工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式のうちα，β，γが以下の値を採用できる工法

◎先端部の形状は(開放形 ・ 半開放形 ・ 閉塞形)とし，補強は，標準仕様書による.

◎鋼管ぐいの現場継手の形状は，JIS A 5525による.

◎杭頭処理は定規を用い，ガス切断により，水平かつ平滑に仕上げる.

◎溶接部の確認は，標仕7.6.10により行い，確認結果の記録を監督職員に提出し，標仕7.6.13により補修を行う.

④　場所打ちコンクリート杭地業	◎掘削工法(アースドリル工法 ・ リバース工法 ⊙ オールケーシング工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 ・ 拡底杭工法)とする. ◎支持地盤の位置及び土質は図示とする. ◎掘削深さ　設計GL-9 m，断面寸法 径 1,000 mm，本数　53 本 ◎材　料　鉄筋：異形鉄筋　A類，かぶり厚さ100mm 帯筋：形の種別は図示による. 溶接材料，溶接工，鉄筋の継手・定着(L1)等は，標準仕様書の各章による. ◎組み立てた鉄筋ごとの継手　(⊙重ね継手　重ね継手長さ　図示による　・　　) ◎鉄筋かごの補強構造図による.

項　　目	特　記　事　項
	◎コンクリート　S-17図による. ・セメントの種類は，高炉セメントB種とする. ・コンクリートの種別は(A ・ B)種とする. 設計基準強度 (Fc) = (　　N/mm²)

種別	水セメント比の最大値　(%)	スランプ(cm)	粗骨材の最大寸法(mm)	単位セメント量の最小値　(kg/m³)	備　考
A種	60以下	18	25(20)	310	無水掘りの場合
B種	55以下			340	上記以外の場合

(注)　(　　)内は，砕石及び高炉スラグ砕石使用の場合

◎構造体コンクリートの強度と供試体の強度の差を考慮した割増しを(⊙行う ・ 行わない).
構造体強度補正値 (S)=(　3　N/mm²)

◎構造体コンクリートの調合管理強度は，設計基準強度(Fc)に構造体強度補正値(S)を加えた値とする.

◎標準仕様書に記載された事項以外は，専門業者の仕様による.

◎専門工事業者は，工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督職員に提出する.

◎掘削孔の側壁の確認を行う装置を使用(する ・ しない)

⑤　支持力及び支持地盤の確認	◎支持層の確認は，掘削した土砂を確認し，監督員の承認を受けること. ◎拡底杭は，(財)日本建築センターの評価工法とする. 工法名(　　)

工　　法	設計支持力	支持力の算定方法又は確認方法
打ち込み工法		
特定埋込杭工法		
セメントミルク工法		
場所打ちコンクリート杭	1764kN/本	

◎受注者は，杭の施工に当たり，杭先端が設計図書に示された支持層に達したことを掘削（回転）抵抗値，掘削土の状況などにより，杭全数について１本１本適切に確認しなければならない。また，確認のための資料を整備及び保管し，監督員の請求があった場合は速やかに提示するとともに，工事しゅん工検査請求書提出時までに監督員へ提出しなければならない。

◎杭の施工に当たり，支持層への到達，現場接合及び先端処理については，全本数について監督員等の立会を受けなければならない。また，円滑に立会が行えるよう，杭のスケジュール管理表（任意様式）を作成し、事前に監督員へ提出して確認をうけなければならない。
なお，立会で確認した資料等については，工事現場において読み取り可能な状態で写真撮影し，立会写真とともに監督員へ提出しなければならない。

6.　載荷試験	◎杭の載荷試験は(・ 鉛直 ・ 水平)載荷試験とし，載荷荷重は(　　)とする. また，試験杭の位置は図示のとおりとする. 報告書の記載事項は，試験の目的のほか，次の事項を記載する. ①敷地の状況，杭の位置 ②杭の種類，材質，形状，寸法，質量等 ③杭の打込み深さ(地盤状況，地下水位等が明らかなときは合わせて図示する.) ④杭の施工法 ⑤試験装置の概要 ⑥荷重－時間曲線 時間－沈下曲線(片対数グラフを含む) 荷重－沈下曲線(両対数グラフを含む) ⑦測定数値表 ⑧杭の設置日時及び試験日時 ⑨試験の状況を示す写真及び杭の設置から試験までの気象記録 ⑩考察 なお，土質性状については，できる限り地盤調査・土質試験データ等の詳細な情報を添付する. ◎地盤の平板載荷試験(載荷荷重　　)は(行う ・ 行わない). また，試験位置は図示のとおりとする. 報告書の記載事項は，次の事項を記載する. ①地盤工学会基準JGS 1521-2003と部分的に異なる方法を用いた場合には，その方法 ②試験方法 ③試験結果の図及び表 ④地盤反力係数 ⑤極限支持力 ⑥試験地盤の観察結果と地下水の状況 ⑦その他特記すべき事項

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設 （仮称）　新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-006	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088) －625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　特記仕様書－４	●縮尺 NON	

項　　目	特　記　事　項
⑦. 砂利・砂・割り石及び捨コンクリート地業等	◎材料は，市場品とする。 ◎砂利及び砂地業 ・砂利は，（ ・切込砂利 ・ 切込砕石 ⊙ 再生クラッシャラン ）とする． ・締固めは，ランマー3回突き，振動コンパクター2回締め又は振動ローラー締めとする．締固めによる凹凸は目つぶし砂利で上均しをする． ・厚さが300㎜を越える場合は，300㎜ごとに締固めを行う． ◎締め固め機械の選定に当たっては，地質の状況を検討し監督員の承諾を得ること． ◎捨コンクリートは，無筋コンクリート(スランプ15cm，設計基準強度18N/㎟)とし，厚さは　50　㎜とする． ◎床下防湿層は，ポリエチレンフィルム厚さ0.15㎜以上，重ね合せ及び基礎梁際ののみ込みは250㎜，断熱材のある場合ののみ込みは400㎜以上とする． ◎防湿層の位置は，土間スラブの直下とする．ただし，断熱材がある場合は，断熱材の直下とする．
8.　地盤改良	◎六価クロム溶出試験を（ ・行う ・ 行わない ）． 行った場合，土壌環境基準以下であることを確認すると共に，試験結果(計量証明書)を監督員に提出するものとする． 六価クロム溶出試験は，「セメント及びセメント系固化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」(平成12年3月31日 建設第258号)の「六価クロム溶出試験実施要領(案)」により実施する． 土質条件，施工条件等により試験方法，検体数に変更が生じた場合，試験の結果，六価クロムの溶出量が土壌環境基準を超えた場合等は，監督員と協議するものとする．

5章　鉄筋工事

項　　目	特　記　事　項
①. 材料	規格番号 / 規格名称 / 種類の記号 / 径(㎜) JIS G 3112 / 鉄筋コンクリート用棒鋼 / SD295、SD345 / D10、D13、D16、D25 － / 建築基準法の規定に基づき認定を受けた鉄筋 / － / JIS G 3551 / 溶接金網及び鉄筋格子 / 網目の形状：　寸法：　径：
②. 材料試験	◎材料試験は行わない． ただし，規格証明書を提出し，監督員の承諾を得ること．
③. 鉄筋の継手及び定着	◎鉄筋の継手は（ ⊙重ね継手 ⊙ ガス圧接継手 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ）とする． ◎鉄筋の継手の位置は図示による． ◎結束線の端部は内側に折り曲げる． ◎柱，梁の主筋（D19以上）は，(⊙ガス圧接継手，・機械式継手）とする． ◎耐力壁の鉄筋を重ね継手とする場合，重ね継手の長さは（　　）㎜とする． ◎先組み工法の柱，梁の主筋の継手は同一箇所としてもよい． ◎スラブのスペーサーは鋼製を原則とし，他の箇所についても材種等について監督員の承諾を得ること． また，鋼製のスペーサーは，型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする． ただし，地階を有しない1階土間を除く． ◎鉄筋の90°未満の折曲げの内法直径は図示による． ◎鉄筋の定着方法及び長さは図示による．
④. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	◎柱，梁の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは，標仕表5.3.6の数値に10㎜を加えた数値を標準とする． ◎目地がある場合のかぶりは，目地底からの寸法とする． ◎杭基礎の場合のかぶりの厚さは，杭天端からとする． ◎各部の配筋は，図示による．図示されていない場合は，標仕参考図［1節－基礎及び基礎梁の配筋］～［7節－梁貫通孔その他配筋］による．
⑤. 帯筋	◎形の種別は構造図による．

項　　目	特　記　事　項
⑥. 梁貫通孔補強	◎補強形式　鉄筋コンクリート構造配筋基準図による． ◎梁貫通補強に建設技術評価規定に基づく評価品を使用する場合は，それぞれの部分についてメーカーの構造計算書を提出し，監督員の承諾を得ること．
⑦. ガス圧接	◎圧接技量資格者は，JIS Z 3881(ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準)に従う工事に相応した試験に基づく能力を有する者とする． ◎検査は，外観検査及び(・ 引張試験 ⊙ 超音波探傷試験)による． ◎切取り部分の継手は次のとおりとする． ・柱、梁の主筋(D19以上）：圧接 ・上記以外　　：（ ・圧接 ⊙ 重ね継手） 重ね継手とする場合は監督員の承諾を受けること。また鉄筋相互間の間隔に留意すること．
8. 機械式継手	◎機械式継手の種類（　　），工法（　　） ◎品質の確認方法（　　） ◎鉄筋相互のあき（　　） **◎不合格となった継手部への措置**（　　）
9. 溶接継手	◎溶接継手の種類（　　），工法（　　） ◎品質の確認方法（　　） ◎鉄筋相互のあき（　　） ◎不合格となった継手部への措置
⑩. 配筋検査	◎主要な配筋は，コンクリート打込みに先立ち，種類，径，数量，かぶり，間隔，位置等について，監督職員の検査を受ける．

6章　コンクリート工事

項　　目	特　記　事　項
①. 一般事項	◎コンクリートの種別 ・Ⅰ類(JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・Ⅱ類(JIS A 5308への適合したコンクリート) ◎設計基準強度

コンクリートの種類	設計基準強度 Fc(N/㎟)	調合管理強度 Fn(N/㎟)	スランプ (cm)	強度試験の有無	種別	気乾単位容積重量 (t/㎥)	適用箇所
普通	21	21+S	18	有		2.3	床版
普通	24	24+S	18	有		2.3	基礎S1
普通	27	27+S	18	有		2.3	基礎、基礎梁柱脚

◎構造体コンクリートの調合管理強度は，設計基準強度(Fc)に構造体強度補正値(S)を加えた値とする．
なお，構造体強度補正値(S)は，標仕 表6.3.2によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢28日までの予想平均気温に応じて定める．

◎コンクリートの強度試験
コンクリートの強度試験については，次のとおり取扱うものとする．
・第4週強度確認
原則，第３者機関にて，主任技術者又は現場代理人立会いの上，行うこと．
ただし，第３者機関以外で行う場合は，立ち会い者を定め,監督員の承認を受け，行うこととする．
なお，試験機関を選定した際には，すみやかに監督員に報告すること．

②. コンクリートの仕上がり	◎コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は，標仕 表6.2.3による． ◎合板せき板を用いる打放し上げの種別は(⊙ A ・ B ・ C)種とする． ◎コンクリートの仕上がりの平たんさは標仕 表6.2.5による。
③. 普通コンクリート	◎セメントの種類は，（⊙普通ポルトランドセメント ・ 混合セメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ）とする． ・高炉セメントB種適用箇所(　　) ・フライアッシュセメントB種適用箇所(　　) ◎骨材は，標仕6.3.1(2)による． ◎細骨材としてフェロニッケルスラグ使用（ ・できる ⊙ できない ）． ◎細骨材に含まれる塩化物量は，NaCl換算で0.04%以下とする．

項　　目	特　記　事　項
	◎コンクリート中の塩化物量は，0.3kg/㎥以下とし，試験方法は標仕6.5.4による．
	◎試練りは（ ・行う ⊙ 行わない ）．
	◎所要空気量は4.5%±1.5%とする．
	◎受注者は，コンクリートの使用にあたってアルカリ骨材反応を抑制するため，次の3つの対策の中のいずれか1つについて確認をとらなければならない． (1) コンクリート中のアルカリ総量の抑制 アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し，コンクリート1㎥に含まれるアルカリ総量をNa_2O換算で3.0kg以下にする． (2) 抑制効果のある混合セメント等の使用 JIS R 5211高炉セメントに適合する高炉セメント［B種またはC種］あるいはJIS R 5213フライアッシュセメントに適合するフライアッシュセメント［B種またはC種］もしくは混和材をポルトランドセメントに混入した結合材でアルカリ骨材反応抑制効果の確認されたものを使用する。 (3) 安全と認められる骨材の使用 骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法またはモルタルバー法)の結果で無害と確認された骨材を使用する． 試験方法は，JIS A 1145骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」，JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による．
	◎混和材料を使用する場合の種類は標仕6.3.1(4)によることとし，監督員の承諾を受けること．
④. 打継ぎの位置 ひび割れ誘発目地 打継ぎ目地	◎打継ぎの位置 梁及びスラブ（⊙スパンの中央又は端から１／４付近 ・図示による） 柱及び壁（⊙スラブ,梁又は基礎の上端 ・図示による）
	◎コンクリートの打継ぎ目地の寸法は，標仕9.7.3〔目地寸法〕(1)(ア)による．
	◎ひび割れ誘発目地の位置（⊙図示による ・　　）
⑤. レディミクストコンクリート工場の指定	◎工事開始に先立ち，工場を選定し，監督職員の承諾を受ける．
⑥. 型枠	◎型枠は，（ ・県産木製型枠 ⊙ 合板 ・ 金属製 ・ 樹脂系 ・ 打込み型枠 ・ ブロック ）とする．

型枠の種別	仕上げ種別	塗装の有無	材質	厚さ	適用箇所
県産木製型枠	－	なし	杉	12㎜	
6.8.2 (2)(ア)	A 種	あり	針葉樹	12㎜	基礎、巾木、立上げ壁
6.8.2 (2)(イ)	B 種	なし			
6.8.2 (2)(イ)	C 種	なし			
6.8.2 (2)(イ)	普通型枠	なし			

◎型枠については、県産木製型枠を使用することが望ましい．
◎スリーブの材種（　　）
◎打ち放し仕上げの打ち増し厚さは（ 20 ）㎜とし,打ち増しの範囲は図示による．.
◎打ち放し仕上げのコーンは原則,Pコンとする．また脱型後の穴埋めは，樹脂モルタルにより打ち放し面より2㎜程度,引込める．

5. 寒中コンクリート	◎適用（ する ・ しない ）． ◎適用期間： ◎強度管理の材齢は，（　）日とする． ◎初期養生を行う期間は，コンクリートの圧縮強度が5N/㎟に達するまでとする．
⑥. 無筋コンクリート	◎無筋コンクリートは，次の場合に適用する． ・捨コンクリート ・補強筋を必要としないコンクリート ◎設計基準強度（ 18 ）N/㎟ ，スランプ（ 15 ）cm ◎適用箇所：均しコン
7. マスコンクリート	◎最小断面寸法が壁状部材で80cm以上，マット状部材及び柱状部材で100cm以上のものに適用する． ◎セメントは，（ 中庸熱ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 ・ 普通ポルトランドセメントに標仕6.13.2(2)(ア)の混和剤を混合したもの ）とする． ◎適用箇所： ◎スランプは，　　cmとする．

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-007	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 特記仕様書－５	●縮尺 NON	

7章　鉄骨工事

項　　目	特　記　事　項
① 一般事項	◎製作工場は，国土交通大臣の認定による（　M　）グレード工場以上とし，その証明となる資料を監督職員に提出する。 ◎鉄骨製作工場には施工管理技術者を(⊙置く ・ 置かなくともよい) ◎工事現場には，鉄骨製作工場名等を記載した板(30～35×45cm)(H.4.9.30 住指発第347号)を掲示すること.
② 材料	◎鋼材は次による. 規格番号・規格名称等 / 種類の記号 / 適　用　箇　所 形鋼 / SS400、SN490B、SN490C / 大梁、小梁、間柱、ﾀﾞｲｱﾌﾗﾑ、ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ 角形鋼管 / BCR295 / 柱 建築用ターンバックル / SN400B、SNR400B / 水平ﾌﾞﾚｰｽ ◎高力ボルトは，(JIS形高力ボルト ・ トルシア形高力ボルト2種 ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト)とする. 径は，(M16、M20)とし，使用箇所は図示による. 規格番号等 / 規格名称等 / セットの種類 建築基準法に基づき指定又は認定 / トルシア形高力ボルト / JISⅡ09 JIS B 1186 / JIS形高力ボルト / 2種(F10T) 建築基準法に基づき指定又は認定 / 溶融亜鉛めっき高力ボルト / 1種(F8T) ◎普通ボルト及びナットの材質は， (JIS付属品(JIS B 1180及びJIS B 1181) (⊙) JIS本体規格品(ISO規格))とする. 径は，(M16)とし，使用箇所は図示による. ◎構造用アンカーボルトの材質は、S-30図による.(ABR400 ・ ABR490)とする. ◎建方用アンカーボルトの材質は((SS400) ・ SS490)とする. ◎溶接材料は，母材の種類，寸法及び溶接条件に相応したもので，製作工場の通常使用のものとする. ◎ターンバックル　構造図S-32図による.胴の種類(割枠式 ・ パイプ式) ボルトの種類(羽子板ボルト ・ 両ねじボルト ・ アイボルト) ねじの呼び及びターンバックルの呼び長さは，(M6～M33)×(　　)mmとする. ◎床構造用のデッキプレート　材質(SDP1T，2，3，SDP1TG，(26)) 形状及び寸法は図示による. ◎柱底均しモルタルを無収縮モルタルとする場合は次による. ・セメントは，JIS R 5210による普通又は早強ポルトランドセメントとする. ・混和材は，セメント系膨張材(酸化カルシウム，カルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする. ・砂，配合比等は，製造所の仕様による. ・無収縮モルタルの品質及び試験方法は，標仕 表7.2.5による.
③ 材料試験	◎JIS規格品は，材料試験は行わない. ただし，規格証明書を提出し，監督員の承諾を得ること. ◎トルシア形高力ボルトは，製品に対する製造管理方法及び品質管理試験の結果を，監督員に提出し承諾を受けること. ◎板厚方向の引張試験を(・行う (⊙) 行わない).
④ 工作一般	◎高力ボルト，普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離，ボルト間隔，ゲージ等は図示による. ◎床書き現寸図は作成(・する (⊙) しない). ◎鉄骨の製作精度は，　標準仕様書7.3.3及びH12建告第1464号第二号イによる. H12建告第1464号第二号イ(1)(2)のただし　書きによる補強は，「突き合わせ継手の食い違いのずれの検査・補強マニュアル」による. ◎仮設のため鉄骨に補助材等取付け及び貫通孔等を設ける場合は，工場溶接を原則とし，現場溶接となる場合は監督員の承諾を得ること. ◎仮組を(・実施する (⊙) 実施しない).
⑤ 高力ボルト接合	◎すべり係数試験は(・ 行う (⊙) 行わない). ただし，溶融亜鉛めっき工法の場合は，「13.溶融亜鉛めっき工法」によるものとする. ◎ショットブラスト又はグリットブラストにより摩擦面の表面粗度を50μmRz以上確保する場合の表面粗度の確認方法は次のいずれかによる。 (1) 表面粗度測定機による測定 (2) ブラスト機器の性能表による確認 (3) スプライスプレート販売元からの表面粗度検査結果証明書による確認 上記の方法により確認できない場合は，すべり係数試験(サンプル試験)を行い，すべり係数値0.45以上を確認すること.

項　　目	特　記　事　項
	◎高力ボルトを工事現場に搬入後，JIS形高力ボルトは，トルク係数値の確認試験を((⊙)行う ・ 行わない). ◎確認試験の数量は，呼び径ごとに代表ロットを選び，その中から任意に取り出した5セットとする. ◎トルシア形高力ボルトは，軸力の確認試験を((⊙)行う ・ 行わない). ◎締付け施工法の確認は，JASS6 6.3〔締付け施工法の確認〕に準じる. ◎原則として本接合ボルトを仮ボルトとして使用しないこと. ◎仮ボルトの本数は標仕7.10.5(2)～(3)とし,本接合完了までの応力に対して検討を行うこと.
⑥ 普通ボルト接合	◎普通ボルトの戻止めは((二)重ナット ・ ナットの溶接 ・ ゆるみ防止用特殊ナット)による. ただし，母屋・胴縁類の取付用ボルトは，全ねじボルトとし，戻止めを省略できない. ◎普通ボルトの座金は((・))JIS B 1256 ・　　)による.
⑦ 溶接接合	◎溶接作業は，工場作業を原則とする. ただし，やむを得ない場合は監督員の承諾を得ること. ◎溶接技能者に対して，技量付加試験を(・行う (⊙) 行わない). ◎開先の形状は構造図による. ◎溶接部の余盛り高さは，JASS6 付則6〔鉄骨精度検査基準〕付表3〔溶接〕による. ◎スカラップの形状は，図示による. ◎エンドタブの切除は(・行う (⊙) 行わない). 行う場合は図示による. ◎エンドタブ，裏当て金等は，梁フランジ等の端から,1～5mm残して,部材断面を欠損しないよう直線上に切断する.なお,切断線が交差する場合は,交差部をアール状に加工する. ◎低応力高サイクル疲労を受ける部位は，図示による. ◎完全溶込み溶接部は超音波探傷試験を((⊙)行う ・ 行わない). 試験を行う場合の平均出検品質限界(AOQL)は(・2.5% (⊙) 4%)とする. 試験の種類 / 試験箇所 / 試 験 数 / 備　考 超音波探傷試験 / 柱梁接合部 柱ﾍﾞｰｽﾌﾟﾚｰﾄ接合部 / / 第6水準
⑧ スタッド溶接及びデッキプレート溶接	◎デッキプレートを鉄骨部材に溶接する工法は，次による. ((⊙)アークスポット溶接 ・ 隅肉溶接 ・ 焼抜き栓溶接) ◎スタッド溶接完了後は,試験記録を作成し,監督員の承認を得ること.
⑨ 錆止め塗装	◎素地ごしらえは，標仕 表18.2.2(・A ・ B (⊙) C)種とする. ※A種及びB種は製作工場で行うものとする. ◎塗料種別　鉄面　標準仕様書 表18.3.1の((⊙)A ・ B)種 亜鉛めっき面　標準仕様書 表18.3.2の(・A ・ B ・ C)種 ◎錆止め塗料塗り　鉄面　標準仕様書 表18.3.3の(・A (⊙) B)種 (工場1回，現場1回) 亜鉛めっき面　標準仕様書 表18.3.4の(・A ・ B)種 (現場1回)
	◎耐火被覆材の接着する面の塗装の範囲は図示による.塗料の種別は(⊙)A ・B)種とする. ◎耐火被覆材の接着する面以外の塗装の範囲は図示による.塗装の範囲は，標仕7.8.2(1)(ア)～(オ)以外とする.
⑩ 耐火被覆	◎耐火被覆　種類(　耐火材吹付け　),材料・工法(　　半湿式　　) 耐火性能(　　1時間　　),適用箇所(　柱、梁　　)
⑪ 工事現場施工	◎鉄骨建方の精度は，(社)日本建築学会「建築工事標準仕様書－6.鉄骨工事付則－6.鉄骨精度検査基準」による. ただし以下のものは図面による. ・特に精度を必要とする構造物あるいは構造物の部分. ・軽微な構造物あるいは構造物の部分. ◎建方用アンカーボルトを(・使用する (⊙) 使用しない). ◎建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの形状及び寸法は図示による. ◎構造用アンカーボルトを((⊙)使用する ・ 使用しない).

項　　目	特　記　事　項
	◎構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法は図示による. ◎アンカーボルトの保持及び埋込み工法は((⊙)A (⊙) B)種とする. ◎柱底均しモルタル工法は((⊙)A ・ B)種とし，厚さは図示による. A種の場合の無収縮モルタルは，製造所の仕様による.
12. 軽量形鋼構造	◎普通ボルトには，二重ナットなどにより戻止めを行う．ただし，胴縁，母屋類は除く. また，ボルト締め後のネジ山は，3山以上出るようにする. ◎形鋼，鋼板類の亜鉛めっきは，標仕 表14.2.2による.
13. 溶融亜鉛めっき工法	◎摩擦面の処理は，(　ブラスト処理　・ (○)リン酸塩処理　) とする. ◎ブラスト処理とする場合は，5.高力ボルト接合と同様の方法で表面粗度50μmRz以上の確認を行う. ◎リン酸塩処理とする場合は，すべり耐力等を確認するものとし，確認方法は(すべり試験)とする. すべり試験の要領は，溶融亜鉛めっき高力ボルト技術協会の「めっき高力ボルト接合設計施工指針」による.

8章　ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

項　　目	特　記　事　項
1. 補強コンクリートブロック造	◎コンクリートブロックは，JIS A 5406による規格品とする. 断面形状(空洞，型枠状) / 圧縮強さの種別(08～40) / 化粧内容 / 寸法精度(標準制度，高精度) / 透水性(普通，防水性) / 正味厚さ(mm) / モデュール 呼び寸法(mm) 長さ / 同 高さ / 適用箇所 ◎充填用及びまぐさのコンクリートは1類とし，呼び強度F=21，スランプ21cmとする. 上記以外のコンクリートは，設計基準強度F=21N/mm²とする. ◎モルタルの調合は,標仕8.2.3とする. ◎壁及びまぐさの配筋は図示による. ◎1日の積み上げ高さは，1.6m以下とする.
2. コンクリートブロック帳壁及び塀	◎コンクリートブロックは，JIS A 5406による規格品とする. 断面形状(空洞，型枠状) / 圧縮強さの種別(08～40) / 化粧内容 / 寸法精度(標準精度，高精度) / 透水性(普通，防水性) / 正味厚さ(mm) / モデュール 呼び寸法(mm) 長さ / 同 高さ / 適用箇所 空洞 / 16 / － / 標準精度 / 普通 / 150 / 400 / 200 / 浴室 ◎充填用及びまぐさのコンクリートは1類とし，呼び強度F=21，スランプ21cmとする. 上記以外のコンクリートは，設計基準強度F=21N/mm² ◎壁及びまぐさの配筋は図示による. ◎壁配筋の継手定着及び端部の折り曲げ形状は図示による. ◎モルタルの調合は,標仕8.2.3とする.
3. ALCパネル	◎ALCパネルは，JIS A 5416による規格品とする. 種類 / 単位荷重(パネルの設計荷重)(N/m²) / 厚さ(mm) / 長さ(mm) / 幅(mm) / 表面加工の区　分 / パネルの取付け工　法 / 耐火性能 / 使用箇所 / 備　考 壁 間仕切 屋根 床 ◎建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する. ◎外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部，並びにパネルと他部材との取合い部の伸縮調整目地幅は，(　　)mmとする. ◎伸縮調整目地に耐火目地材を(充填する ・ 充填しない).

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設 （仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-008	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　特記仕様書－６	●縮尺　NON	

8章　ブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

項　目	特　記　事　項
④ 押出成形セメント板	◎押出成形セメント板は，JIS A 5441による規格品とする．

種　類（外壁用，間仕切用）	厚さ（mm）	働き幅（mm）	表面形状	ロックウール充填の有無	パネルの取付け工法	使用箇所	備考
外壁用	60	600	フラット	有	A種	外壁	
間仕切用	60	600	フラット	有	C種	階段室	

◎パネル相互の目地幅は，長辺（ 10 ）mm，短辺（ 15 ）mm以上とする．

◎出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅は（ 15 ）mmとし，シーリング材(寸法15×10(mm))を充填する．

◎耐火性能は（ ・2時間耐火 ⊙ 1時間耐火 ・ 30分耐火 ）とする．

◎耐火構造以外の目地及び隙間の処理は(◎)パネル製造所の指定 ・ ）とする．

◎建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する．

○建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速Vo=（ 34 ）m/s　地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・ Ⅱ ⊙ Ⅲ ・ Ⅳ ）

◎アスベストを使用していない製品とする．

◎製造所：　評価名簿による．

◎やむを得ず欠き込み等を行う場合は，下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

		開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺		
	長辺		
パネルを切り欠く場合	短辺		
	長辺		

9章　防水工事

項　目	特　記　事　項
① 一般事項	◎防水下地の乾燥については，高周波水分計による下地水分の測定を行い，使用材料のメーカーの工法と確認し，工事を進めること．
② アスファルト防水	

工　法	種別	施　工　箇　所	保護層の内容	備　考
屋根保護防水 密着工法	A-1			
	A-2			
	A-3			
屋根保護防水 密着断熱工法	AI-1			
	AI-2	2階・3階・R階屋根	保護コンクリート	絶縁ｼｰﾄの仕様は製造所の仕様による
	AI-3			押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種BA（ｽｷﾝ層付き）厚さ30mm
屋根保護防水 絶縁工法	B-1			
	B-2			
	B-3			
屋根保護防水 絶縁断熱工法	BI-1			
	BI-2			
	BI-3			
屋根露出防水 絶縁工法	D-1			
	D-2			
	D-3			
	D-4			
屋根露出防水 絶縁断熱工法	DI-1	3階・R階・PH屋根		仕上げ塗料及び使用料は製造所の仕様による
	DI-2			硬質ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱材2種1号 厚さ60mm
屋内防水 密着工法	E-1			
	E-2	浴室、厨房	保護コンクリート	

◎アスファルトは，JIS K 2207 の規格品３種とする。

◎端部押え金物は既成アルミニウム製とし，形状寸法は（ 40mm×10mm ）とする．

◎防水下地の立ち上がりコンクリートの仕上げは（ B種 ）とする．

◎保護層の伸縮調整目地は成形伸縮目地とし，成形緩衝材はルーフィング類製造所の指定する製品とする．

◎立上り部の保護は，（ ⊙乾式工法 ・ れんが押え ・ コンクリート押え ）とする．
乾式保護材は、材料製造所の仕様による．
◎屋上排水溝は図示する．

項　目	特　記　事　項
3. 改質アスファルトシート防水	◎改質アスファルトシートは，JIS A 6013の規格品とする．

	種別	施工箇所	断熱材	防湿層	備考
屋根露出防水 密着工法	AS-T1				
	AS-T2				
屋根露出防水 絶縁工法	AS-T3				
	AS-T4				
	AS-J1				
屋根露出防水 絶縁断熱工法	ASI-T1				
	ASI-J1				

◎押え金物は改質アスファルト製造所の仕様による．

◎仕上げ塗料（ ）　使用量（ ）

4. 合成高分子系ルーフィングシート防水

◎合成高分子系ルーフィングシートは，JIS A 6008の規格品とする．

種別	種　類	厚　さ	施工箇所	備　考
S-F1		mm		
S-F2		mm		
S-M1		mm		
S-M2		mm		
S-M3		mm		
SI-F1		mm		
SI-F2		mm		
SI-M1		mm		
SI-M2		mm		
S-C1		mm		

◎仕上げ塗料（ ）　使用量（ ）

◎機械式固定工法の場合は，引抜き試験の結果に基づき，建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する．

◎建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速Vo=（ ）m/s　地表面粗度区分（ Ⅰ ・ Ⅱ ・ Ⅲ ・ Ⅳ ）

◎固定金具　材質（ ）
形状寸法（ ）

⑤ 塗膜防水

◎塗膜を形成する材料は，JIS A 6021の規格品とする．

種　別	施　工　箇　所	備　考
X-1		
X-2	南側庇、室外機置場	保護層無
Y-1		
Y-2		

◎仕上げ塗料（ 製造所の仕様による． ）　使用量（ ）

⑥ ケイ酸質系塗布防水

◎ケイ酸質系塗布防水材はJASS 8 T-301に適合するものとする．

種　別	施　工　箇　所	種　別	施　工　箇　所
C-UI	ＥＶピット	C-UP	

⑦ シーリング

◎シーリング材は，JIS A 5758の規格品とする．

シーリング材の種類		施工箇所	目地寸法		接着性試験（引張，簡易）	備　考
記号	主成分及び硬化機構による区分		幅	深さ		
PU-2	変成ｼﾘｺｰﾝ系、2成分形	ｺﾝｸﾘｰﾄ目地	20	10	簡易	
MS-2	変成ｼﾘｺｰﾝ系、2成分形	金属部	10	10		
PU-2	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系、2成分形	ECP	10～15	10		仕上げあり
SR-1	ｼﾘｺｰﾝ系、1成分形	ｶﾞﾗｽ	5	5		中・高ﾓｼﾞｭﾗｽ

ただし，接着性試験は，同じ材料の組合せで実施した試験成績書がある場合は，監督員の承諾を受けて試験を省略することができる．

◎シーリング面への仕上塗材仕上げ等を（ ⊙行う ・ 行わない ）．

⑧ 漏水試験

◎屋内については，水張り試験を行う．

⑨ 防水保証

◎防水工事完了後は，メーカー，元請業者，下請業者の3者連名による．
（ 3 ・ 5 ・ 7 ⊙ 10 ）年間の防水工事性能保証書を提出すること．

10章　石工事

項　目	特　記　事　項
① 一般事項	◎石材の割付けは，図示により，割付図を作成し監督員の承認を得ること．
	◎粗面仕上げの場合ののみ込み部分の仕上げは図示による．
② 花こう岩類の石張り	

種類	等級	産地名称	形状・寸法	表面仕上げの種類	金物等の種類 形状・寸法	施工箇所
花崗岩	2等	四国産	100×50	水磨き	—	玄関框(2F)
花崗岩	1等	四国産	300×30	JB、本磨き	—	浴室洗面台
花崗岩	1等	四国産	120～180×25	本磨き	—	浴室天板

3. 大理石張り

等級	産地名称	仕上り寸法・形状	表面仕上げの種類	金物等の種類 形状・寸法	施工箇所

4. テラゾブロック張り・テラゾタイル張り

種石の種類	大きさ	形状	仕上げ面	寸法	表面仕上げ	金物種類 形状・寸法	施工箇所

5. 床及び階段の石張り

種類	品質	産地・名称	厚さ	仕上げの種類	石裏面処理	金物等の種類	目地幅	伸縮調整目地位置	施工箇所

◎屋内の床を本磨きとする場合，床にワックスがけを（ 行う ・ 行わない ）．

⑥ その他の材料

◎混和材料　◎取付け用モルタル　◎目地用モルタル　◎石裏面処理材
◎裏打ち処理材　◎金物の固定に使用する充填材料

7. 外壁湿式工法

石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	下地ごしらえ	目地幅	シーリング目地寸法	伸縮調整目地位置	受金物の材質・形状・寸法

◎ドレンパイプの材質は，（ ）とする．
◎アンカーの材質（ ）・寸法（ ）
◎あと施工アンカーの材質（ ）・寸法（ ）

8. 内壁空積工法

石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	下地ごしらえ	目地幅	伸縮調整目地位置・寸法	受金物の材質・形状・寸法

◎アンカーの材質（ ）・寸法（ ）
◎あと施工アンカーの材質（ ）・寸法（ ）

9. 乾式工法

方　式	石材の厚さ	石裏面処理	裏打ち処理	下地ごしらえ	目地幅	伸縮調整目地位置・寸法

◎だぼ用の穴の位置は，図示による．

◎この工法を外壁に適用する場合，建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する．

◎アンカーの材質（ ）・寸法（ ）

◎あと施工アンカーの材質（ ）・寸法（ ）

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-009	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 特記仕様書－７	●縮尺 NON	

11章　タイル工事

①. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

◎伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置は，図示の箇所及び標仕により，割付図を作成し監督員の承認を得ること．

◎下地のひび割れ誘発目地の位置及び他部材との取合い部には，伸縮調整目地を設ける．

◎屋内のタイル張りにおいては，入隅部，建具枠回り及び設備器具との取合い部に伸縮調整目地を設ける．

②. セメントモルタルによるタイル張り

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
床	150×900	○			○			○	○			○		○	風除室
床	100×100	○				○		○	○			○		○	玄関(2階)外部階段
床	100×100	○				○		○	○			○		○	浴室
床	300×300	○			○			○	○		○	○		○	汚垂れ石
壁	100×100		○		○			○	○			○			浴室

◎壁タイル張り工法(　　)

◎標準的な曲がりの役物は一体成形とする．

◎タイルの製造所：　評価名簿による．

◎見本焼きを(　・行う ⊙ 行わない)．

◎試験張りを(　・行う ⊙ 行わない)．

◎既製調合モルタルの製造所：　評価名簿による．

◎保水材の混入量は，実績等の資料を提出したうえで，監督員の承認を得ること．

③. 有機系接着剤によるタイル張り

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
外壁(門塀)	ﾎﾞｰﾀﾞｰ	○				○		○	○			○			

◎タイルの製造所：　評価名簿による．

◎見本焼きを(　・行う ⊙ 行わない)．

◎試験張りを(　・行う ⊙ 行わない)．

◎標準的な曲がりの役物は一体成形とする．

4. 陶磁器質タイル型枠先付け

型枠先付種別	タイルの種類	せき板の種別	施工箇所	役物の使用場所

施工場所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用	備考

◎タイルの製造所：　評価名簿による．

◎見本焼きを(　行う　・　行わない)．

◎試験張りを(　行う　・　行わない)．

◎標準的な曲がりの役物は一体成形とする．

5. 有機質接着剤

◎ユリア樹脂等(ユリア樹脂，メラミン樹脂，フェノール樹脂，レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの発散量は，F☆☆☆☆とする．
ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの発散量が，F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする．

⑥. 試験

◎接着力試験を屋外のみ(◎行う　・行わない)．

12章　木工事

①. 一般事項

◎工事現場搬入時の含水率は(　⊙A　・　B　)種とする．

◎木材の品質
・保存処理木材は，日本農林規格に規定する保存処理の処理区分のうち，K2からK4までの保存処理(JIS K 1570)(木材保存剤)に規定する木材保存剤(ただし，クレオソート油は有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律(昭和48年法律第112号)に適合したものとする．)，これと同等の薬剤を用いたK2からK4までの薬剤の浸潤度及び吸収量を確保する工場処理その他これと同等の性能を有する処理を含む．)が施されているもの又は認証木材建材(AQマーク表示)として認定された保存処理材を使用するものとする．
・樹種及び等級

②. 製材

	施工箇所	樹　種	寸　法	材料の等級	形　状	表面の仕上げ	含水率	備　考
下地材						———		
						———		
						———		
						———		
造作材	額縁、ｶｰﾃﾝBOX	杉	図示	上小節		⊙A・B・C	A	徳島県産
						・A・B・C		

③. 造作用集成材等

◎ホルムアルデヒドの発散量は，F☆☆☆☆とする．
ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの発散量が，F☆☆☆☆の集成材等を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする．

◎「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の等級	備考

◎「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の等級	備考

◎「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	備　考

◎「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	備　考

◎「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考

◎「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考

4. 造作用単板積層材

◎ホルムアルデヒドの発散量は，F☆☆☆☆とする．
ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの発散量が，F☆☆☆☆の造作用単板積層材を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする．

◎「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	防虫処理	表面の化粧加工	備考

◎「単板積層材の日本農林規格」以外による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ(mm)	防虫処理	表面の品質	含水率	備考

⑤. 床張り用合板等

◎ホルムアルデヒドの発散量は，F☆☆☆☆とする．
ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの発散量が，F☆☆☆☆の床張り合板等を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする．

◎普通合板

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	備考

◎構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	備考
風除室 オープンﾌﾛｱﾍﾞｰｽ	12	2級	ﾗﾜﾝ	1類	C-D		K1	—	
活動室A	12	2級	ﾗﾜﾝ	1類	C-D		K1	—	

◎パーティクルボード

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	備考
会監室 厨房更衣室 男子脱衣室 女子脱衣室	20	RS	13	M	難燃	

◎構造用パネル

施工箇所	厚さ(mm)	等級	備考

13章　屋根及びとい工事

①. 一般事項

◎屋根葺き材，緊結金物については，下地も含め安全性を確認し，監督員の承諾を得ること．

◎標準仕様書以外の工法は，専門業者の仕様による．

◎建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速　　Vo=(　34　)m/s
地表面粗度区分　(Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ)
積雪区分　　建設省告示第1455号 別表(35)

2. 長尺金属板葺き

◎屋根葺き形式　・横葺
・瓦棒葺(心木なし)
・平葺(一文字葺き　・　ひし形葺き)

施工箇所	種　類(JIS規格名称)	JIS規格番号	鋼板の厚さ(mm)	めっき付着量	塗膜の耐久性の種類	下葺材料

◎指定のない付属材料は，屋根葺工法に応じた専門工事業者の仕様による．

◎建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔，固定方法等を施工計画書として提出する．

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）　新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-010	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088)－625－5505(代) 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　特記仕様書－８	●縮尺　NON	

13章　屋根及びとい工事

項　　目	特　記　事　項
③　折板葺	◎折板は，JIS A 6514(金属製折板屋根構成材)による． 施工箇所：外部階段　鋼板の厚さ(mm)：0.6　塗装面：片面　形　式：かん合形　山高(mm)：88　山ピッチ(mm)：200　耐　力：　軒先面戸の適用：適用　裏打ち材の有無：有 ◎断熱材　(⊙有り　厚さ　4mm，種別：不燃　　，防火性能　　時間，　　・なし) ◎標準仕様書以外の工法は，専門業者の仕様による．また，タイトフレーム，けらば納めは屋根葺き工法に応じた専門業者の仕様による． ◎建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔，固定方法等を施工計画書として提出する． ◎JIS G 3302以外のタイトフレームの表面処理
4.　粘土瓦葺	種類：　大きさ：　産地：　役物瓦の種類：　雪止め瓦の使用：　棟の工法：　瓦桟木(材質：　寸法：)　棟補強用心材(材質：　寸法：) ◎建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔，固定方法等を施工計画書として提出する．
⑤　とい	◎とい受金物　　形状(　SUS製：市販品、25×4.5以上　　)　　取付間隔(　1,100以内　) ◎材種(　　カラーVP、SUS　　)　　径(　125φ、100φ、80A　) ◎防露の施工箇所は図示により，図示のもの以外は標仕13.5.3(d)による．ロックウール又はグラスウール保温筒のホルムアルデヒドの発散量は，F☆☆☆☆とする． ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの発散量が，F☆☆☆☆のロックウール又はグラスウール保温筒を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする． ◎鋼管製といの防露巻きは，図示による．それ以外の場合は，標仕表13.5.4により行う． ◎硬質塩化ビニル雨どいの1本の長さは，10m以内とし，伸縮に対応する工法を選択すること． ◎ルーフドレンの種別(　陸屋屋根用(横型)、バルコニー中継用　) ◎ルーフドレンの製造所：　評価名簿による． ◎ルーフドレン及びといは，取付け完了後，清掃し，通水試験を行う． ◎さがり止めは図面により，図示のもの以外は標仕13.5.3(1)(エ)又は13.5.3(5)(イ)による．

14章　金属工事

項　　目	特　記　事　項
①　一般事項	◎製品の取付に当たっては，受材の有無並びにアンカーの長さ，径及び本数等について，十分耐力のあるエ法を選択し，監督員の承諾を得ること．
②　表面処理	◎ステンレス(手すり，タラップ，建具以外) 種類：　表面仕上げの種別：　施工箇所： 床見切り：HL：各階：男子トイレ、女子トイレ 上がり框：HL：舎監室、脱衣室、厨房更衣室 ◎アルミニウム及びアルミニウム合金(成形板，笠木，建具以外) 表面処理の種別：　被膜又は複合被膜の種類・着色方法・色合等：　表面処理の試験方法：　施工箇所： BC-2：C：外観試験：玄関・ホール（廻り縁） C：－：外観試験：玄関庇（天板、幕板、柱） BB-1：木調樹脂被膜：外観試験：玄関庇(軒天) ◎鉄鋼の亜鉛めっき(手すり，タラップ以外) 種別：　表面処理方法：　めっきの種類：　記号又は等級：　施工箇所： ◎亜鉛めっきの試験は(　行う　・　行わない　)． 試験方法(　　)

項　　目	特　記　事　項
3.　溶接，ろう付け等	◎溶接及びろう付けによる接合後は，各表面仕上げの種類の皮膜処理を行うこと．ただし，亜鉛めっき面については，標仕14.2.3による． ◎鉄の溶接は，7章「鉄骨工事」に準ずる．
④　軽量鉄骨天井下地	◎野縁などの種類：屋内19形，屋外25形とし，標仕 表14.4.1による． ◎耐震性を考慮した補強及び屋外の軒天，ピロティー天井等における耐風圧性を考慮した補強は，図示による． ◎建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速　　Vo=(　34　)m/s 地表面粗度区分　(　I　・　II ⊙ III　・IV　) 積雪区分　　建設省告示第1455号 別表(　35　) ◎屋外の野縁受・吊りボルト及びインサート・野縁の間隔は図示による． ◎ダクト等によって，吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の，補強方法は図示による． ◎天井のふところが1.5m以上の箇所の補強方法は図示による． ◎天井下地材における耐震性を考慮した補強方法は図示による．
⑤　軽量鉄骨壁下地	◎スタッド，ランナーの種類は，標準仕様書14.5.3(表14.5.1)による． ◎出入口及びこれに準ずる開口部の補強は（⊙標仕14.5.4(5)　・　　）による．
⑥　金属成形板張り	種別：スパンドレル：モールディング(既製品) 材質：アルミニウム製： 製法：押出し形材： 板幅：126mm： 寸法：100mm： 厚さ：1.0mm： 形状：図示による．：図示による． 表面処理：BB-1/オレフィンシート(不燃：木調)： 伸縮継手：図示： 取付下地：LGS25：
⑦　アルミニウム製笠木	◎押出形材：　規　　格　JIS H 4100によるA6063Sとする． 部材の種類　(　・250形　・　300形　・　350形　⊙ 図示　)とする． 本体の表面処理　(　BB-1　)種 付属部品の表面処理は，笠木本体製造所の仕様による． ◎曲げ材：　規　　格　JIS H 4000によるA1100Pとする． 厚さ(　　)mm　　形状　図示 ◎地域指定　(⊙一般　・　多雪　) ◎建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した固定金具の間隔，固定方法等を施工計画書として提出する． ◎建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速　　Vo=(　34　)m/s 地表面粗度区分　(　I　・　II ⊙ III　・IV　) 積雪区分　　建設省告示第1455号 別表(　35　)
⑧　手すり及びタラップ	材種：表面処理：直径：取付箇所：備考 アルミ製：BB-1：図示：床側底、室外機置場、屋上：目隠しﾊﾟﾈﾙ付 ◎手すりの支柱は，コンクリートあるいはモルタルの中に入る部分であっても錆止め処置を行うこと．
9.　エクスパンション ジョイント金物	◎材　質(　　) クリアランス(　　) 耐火性能(　　) ◎屋根・外壁面のEXP.Jで室内に面する場合の雨仕舞は図示による．
⑩　天井点検口	材種：寸法：形式：外枠：内枠 アルミ製：600角：一般形、屋内用：額縁：額縁 ◎製作所：　評価名簿による．

項　　目	特　記　事　項
11.　床点検口	材種：寸法：形式(一般形)：形式(屋内用)：備考 ステンレス製：450角,600角：：： ◎製作所：　評価名簿による．

15章　左官工事

項　　目	
①　一般事項	◎下地調整に用いる吸水調整材の使用方法は，製造所の仕様による． ◎コンクリート等面の下地及び各塗り層は，清掃のうえ適度の水湿しを行って，次の層の塗り方にかかる．
②　モルタル塗り	◎モルタルは(・現場調合材料　⊙既配合材料)． ◎下地，塗り面等の浮いている部分は，直ちに補修する． 使用箇所：仕上の種類：目地の材質：防水の有無：備　考 タイル張り下地：木ごて：－：無： 防水下地：金ごて：－：無： 階段踏面下地：金ごて：－：無： ◎防水剤の製造所：　評価名簿による． ◎目地の位置及び寸法は，図示による。． ◎防水モルタルに用いる防水剤の使用方法は，製造所の仕様による． ◎総塗り厚が25mm以上となる場合は，はく落防止工法とすること．
③　床コンクリート直均し仕上げ	◎施工箇所(　PS、EPS、UB、US、保護コン　)
④　セルフレベリング材塗り	◎セルフレベリング材の種類(　・せっこう系 ⊙ セメント系　) 塗り厚さ(　10　)mm 施工箇所は，(　⊙仕上表による　・　図示による　)． ◎シーラーその他の材料は，セルフレベリング材製造所の指定する製品とする．
5.　仕上げ塗材仕上げ	◎仕上塗材は，JIS A 6909(建築用仕上塗材)による．なお，下塗材，増塗材，主材及び上塗材は，同一製造所の製品とする． 種類：呼び名：上塗材：仕上げの形状：耐候性：工法：防火認定：下地仕上：下地調整
6.　マスチック塗材塗り	◎種別(　A種　，　B種（仕上材塗り：EP-G(　A種　・　B種　)
7.　せっこうプラスター塗り	◎プラスターは，JIS A 6904(せっこうプラスター)による．なお，せっこうプラスターは，製造後4か月以上経過したものは使用しない．
8.　ロックウール吹付	◎ロックウールは，JIS A 9504により建築基準法に基づき不燃材料の指定又は認定を受けたものとする．ロックウールのホルムアルデヒド放散量は，(　・F☆☆☆☆　・　F☆☆☆　)とする． ◎接着剤のホルムアルデヒド放散量は，F☆☆☆☆とする． ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの発散量が，F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする． ◎吹付厚さ　(　)mm ◎吹付完了後，施工者の施工管理担当者は，厚さ及びかさ比重の検査を行い，合格後，防火材料の認定マークを1面2か所以上貼り付けること．

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）　新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-011	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088)－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　特記仕様書－９	●縮尺　NON	

項　　目	特　記　事　項
①　一般事項	◎外部に面する建具は，建築基準法施行令及び「屋根ふき材，外装材及び屋外に面する帳壁の基準(昭和46年 建設省告示第109号)」に基づき，安全性を確認すること. ◎防火戸の指定は建具表による. ◎建具見本の製作及び特殊な建具の仮組は，建具表による. ◎防犯建物部品の適用は，建具表による.
②　アルミニウム製建具	種　別 / 耐風圧性 / 気密性 / 水密性 / 枠の見込寸法 / 使用箇所 / 表面処理 B種 / S-5 / A-3 / W-4 / 70mm / 外部 / BB-2 ◎結露水の処理方法は図示による. ◎防虫網の材質(・ステンレス製(SUS316) ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ⊙ 合成樹脂製) ◎防鳥網の材質は，ステンレス(SUS304)線材，線径1.5mm，ピッチ15mmとする. ◎製作所：　評価名簿による. ◎建具には製作業者名を表示すること.
3.　樹脂製建具	種　別 / 耐風圧性 / 気密性 / 水密性 / 枠の見込寸法 / 使用箇所 / 表面処理 ◎ガラスの種類　(　　) ◎防虫網の材質(ステンレス製(SUS316) ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製) ◎防鳥網の材質は，ステンレス(SUS304)線材，線径1.5mm，ピッチ15mmとする.
④　鋼製建具	耐風圧性 / 気密性 / 水密性 / 遮音性 / 断熱性 / 面内変形追随性 / 使用箇所 / 表面処理 S-5 / A-3 / W-4 / T-1 / H-3 / D-2 / 外部 / 錆止め ― / A-3 / ― / T-1 / ― / D-2 / 内部 / 錆止め ◎防火戸の指定及び鋼板の厚さは，建具表による. ◎簡易気密型ドアセットの機密性，水密性は建具表による. ◎鋼板は，JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)による表面処理亜鉛めっき鋼板とし，めっき付着量は(Z12)以上とする.
⑤　鋼製軽量建具	◎製作所：　評価名簿による. ◎標準型鋼製建具は，標仕16.4.6により寸法及び金物を標準化したものとする. 気密性 / 遮音性 / 断熱性 / 面内変形追従性 / 使用箇所 / 備　考 A-3 / T-1 / ― / ― / 内部 / 亜鉛めっき鋼板召合せ，縦小口包み：ｽﾃﾝﾚｽ製 ◎簡易気密型ドアセットの機密性，水密性は建具表による. ◎製作所：　評価名簿による.
⑥　ステンレス製建具	◎標準型鋼製軽量建具は，標仕16.5.6により寸法及び金物を標準化したものとする. 表面の仕上げ / 曲げ加工の方法 鋼板等：HL　　くつずり、レール：HL / ⊙普通曲げ ・ 角出し曲げ
⑦　木製建具	◎製作所：　評価名簿による. ◎簡易気密型ドアセットの機密性，水密性は建具表による. ◎建具材の含水率の種別は，(A ⊙ B ・ C)種とする. ◎見込み寸法は，(　35　)mmとする. ◎フラッシュ戸の表面材の合板の品質について，ホルムアルデヒドの発散量は，F☆☆☆☆とする. ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの発散量が，F☆☆☆☆のフラッシュ戸を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする. その他は，標仕16.7.2(2)(3)(b)(c)による. ◎表面板の厚さは，(　2.5　)mmとする. ◎かまち戸のかまち及び鏡板の材種は，(　　図示　　)とする. ◎枠及びくつずりの材料(図示)とする. ◎建物内部の木製建具に使用するホルムアルデヒド水溶液を用いた造作用，壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤のホルムアルデヒドの発散量は，F☆☆☆☆とする. ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの発散量が，F☆☆☆☆のでん粉系接着剤を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする.

項　　目	特　記　事　項
⑧　建具用金物	◎金物の種類及び見え掛り部の材質は，標仕 表16.8.1による. ◎金属製建具に使用する丁番は標仕表16.8.2による. ◎既製又はこれに準ずる建具の建具金物は，建具製作の仕様による. ◎樹脂製建具に使用する丁番は標仕表16.8.3による. ◎握り玉及びレバーハンドル，押板類，クレセント等の取付け位置は図示による. ◎木製建具に使用する丁番は標仕表16.8.4による. ◎木製建具に使用する戸車及びレールは標仕16.8.5による. ◎マスターキーは，製作する(　3 組). その他の鍵の製作本数は(　3 組) 1階、2,3階で別にする.
⑨　自動ドア開閉装置	設 置 場 所 / 風除室(1階) 駆 動 方 式 / 電気式 センサー / 建具表による. ドア開閉装置の種類 / DSLD-1 ドアの開閉方式 / 引き分け ◎製作所：　評価名簿による.
⑩　自閉式上吊り引戸装置	設置場所 / 建具配置図及び建具表による. 適用戸の総質量(kg) / 40kg以下 手動開き力(N) / 15N以下 手動閉じ力(N) / 15N以下 閉じ速度の調整 / 自動閉鎖時間の調整機能 制動区間 / 標仕表16.10.1による. 開閉繰り返し 耐衝撃性 ◎製作所：　評価名簿による.
11.　重量シャッター	設置場所 強　　度　　耐風圧強度 シャッターの種類 / ・ 管理用シャッター　・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター　・ 防煙シャッター 開閉機能 / ・ 上部電動式(手動併用)　・ 上部手動式 安全装置 シャッターケース仕様 ◎製作所：　評価名簿による.
12.　軽量シャッター	設置場所 強　　度　　耐風圧強度 開閉装置 / ・ 上部電動式(手動併用)　・ 手動式 安全装置 スラット仕様 シャッターケース仕様 ガイドレール仕様 中柱の補強 座　　板 ◎製作所：　評価名簿による.
13.　オーバーヘッドドア	◎耐風圧性能は，JIS A 4715により，その区分は(　　)とする. 使 用 箇 所 セクション材料 / ・ スチールタイプ　・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 開閉機能 / ・ バランス式　・ チェーン式　・ 電動式 収納形式による種類 / ・ スタンダード形　・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形　・ バーチカル形 ガイドレールの材質・厚さ / ・ 溶融亜鉛めっき鋼板　・ ステンレス鋼板 ◎製作所：　評価名簿による.
⑭　ガラス	◎板ガラス 種　類 / 品　種 / 厚　さ / 備　考 建具表による. ◎外部の網入り硝子等の下辺小口及び縦小口下端の防錆処理を行うこと.

項　　目	特　記　事　項
	◎ガラス留め材の種類 建具の種類 / 材　　種 / ガラス溝の大きさ 鋼　　製 / SR-1 / 建具製造所の仕様による. アルミニウム製 / SR-1 ステンレス製 / SR-1 木　　製 樹　脂　製 ◎防火設備のガラスとめ材は，防火設備認定品とする. ◎ガラスブロック積み 表面形状 / 呼び寸法 / 厚さ / 力骨の材質・寸法・形状 / 目地幅の寸法 / 伸縮調整目地の位置 ◎目地部の力骨の補強方法は，ガラスブロック製造所の仕様による. ◎壁用金属枠及び補強材を(設ける ・ 設けない). 形状は，図示による. ◎化粧目地モルタルの色(　　) ◎シーリング材は，標仕 表9.7.1による. ◎金属製化粧カバーの材質は，(　　)製とし，寸法，形状は，図示による. ◎工法は，建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する.
15.　ガラス用フィルム	名　称 / 種　類 / 張り面 ガラス飛散防止フィルム / 第2種 ◎品質はJIS A 5759による.

18章　塗装工事

項　　目	特　記　事　項
①　一般事項	◎防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする. ◎塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする. ◎ユリア樹脂等(ユリア樹脂，メラミン樹脂，フェノール樹脂，レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は，F☆☆☆☆とする. ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの発散量が，F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする.
②　合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	区　分 / 種　別 屋外 / 種　別 屋内 / 素地ごしらえ / さび止め塗料 屋外 / さび止め塗料 屋内 / さび止め工程の種別 / 備　考 亜鉛めっき面 / / ― / B種 / / A種 / A種 / 建具 鉄鋼面 / / B種 / C種 / / A種 / A種 / 階段
③　クリヤーラッカー塗り(CL)	区　分 / 種　別 / 素地ごしらえ / 備　考 木部 / B種 / B種
4.　アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	区　分 / 種　別 / 素地ごしらえ / 備　考
⑤　耐候性塗料(DP)	区　分 / 工程種別 / 素地ごしらえ / 上塗りの等級 / 備　考 亜鉛めっき面 / ― / B種 / 1級 / 建具 亜鉛めっき面 / ― / A種 / 1級 / 目隠しﾌｪﾝｽ柱梁 ECP面 / A種 / B種 / 1級 / 外壁 鉄鋼面 / ― / B種 / 1級 / 外部階段
6.　つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	区　分 / 工程種別 / 素地ごしらえ / さび止め塗料 / 備　考
⑦　合成樹脂エマルションペイント塗料(EP)	区　分 / 種　別 屋外 / 種　別 屋内 / 素地ごしらえ / 備　考 ボード面 / / B種 / B種 ECP面 / / B種 / B種 / 内壁

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好察・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-012	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088) －625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　特記仕様書ー10	●縮尺　NON	

18章　塗装工事

項　目	特記事項
8. 合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り(EP-T)	(下表)

区　分	種　別	素地ごしらえ	さび止め塗料	備　考

9. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

区　分	種　別	素地ごしらえ	備　考
木部			

10. 油性ステイン塗り(OS)

区　分	素地ごしらえ	備　考
木部		

11. 木材保護塗料塗り(WP)

区　分	種　別	素地ごしらえ	備　考
木部			

19章　内装工事

項　目	特記事項

(1.) ビニル床シート張，ビニル床タイル張及びゴム床タイル張

材質	種類の記号	色柄	厚さ	幅木 材質	幅木 厚さ	幅木 高さ	接着剤	施工箇所	備　考
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	FS	―	2.0mm	塩ビ	1.5mm	60mm	JISA5536 標仕表19.2.1	図示	
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(消臭・抗菌)	FS	―	2.0mm	床材巻上げ	同上	同上	同上	同上	溶接工法
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌)	FS	―	2.0mm	塩ビ	同上	同上	同上	同上	
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(消臭・抗菌・防カビ)	FS	―	2.0mm	床材巻上げ	2.0mm	同上	同上	厨房	溶接工法
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(防滑性)	FS	―	2.0mm	同上	同上	同上	同上	検収室	溶接工法

◎帯電防止床シート：種類(　　　)，厚さ(　　　)，性能(　　　)

◎耐動荷重性床シート：種類(　　　　　　)，厚さ(　　　　　)

◎ビニル幅木：材質(☉軟質 ・ 硬質)，高さ(☉60 ・ 70 ・ 100)，厚さ(2.0mm)

(2.) カーペット敷き

種　類	種　別	品質	帯電性	厚　さ	工　法	防火性能	下　敷	品質検査
ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	第１種	ループパイル	―	6.5mm	全面接着	有	―	JISL4406

3. 合成樹脂塗床

材　質	仕上げの種類	備　考

◎ユリア樹脂等(ユリア樹脂，メラミン樹脂，フェノール樹脂，レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの放散量は，F☆☆☆☆とする.
ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの放散量が，F☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする.

◎以下の物質を含有しない材料を選定し、監督員の承諾を得ること.
・室内空気中化学物質の室内濃度指針値について（H31.1.17薬生発0117第1号）における13物質
・学校環境衛生基準（平成21年文部科学省告示第60号）第1の1の(8)ア～カの6物質

(4.) フローリング張り

◎ホルムアルデヒドの放散量は，F☆☆☆☆とする.
ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの放散量が，F☆☆☆☆のフローリング及び接着剤を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする。

種別	樹種	厚さ	寸法	模様	工法	釘・接着剤の種類	表面仕上・塗装	備考
A種	なら	15mm	75×450以上	化粧材	接着	エポキシ樹脂系接着剤	着色仕上げ UVｾﾗﾐｯｸ塗装	下張りの室(活動室A) 緩衝材

5. 畳敷き

◎種別　(Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ)種
◎Ｄ種の場合,畳床は(・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N)とする.
◎畳表及び畳床はVOC含有量が少ないものとする.
リング及び接着剤を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする。

項　目	特記事項

(6.) せっこうボードその他ボード及び合板張り

材種・規格品	施工箇所	工法	厚さ(mm)	不燃材等の区分	小ねじ・釘・接着剤の種類	下地の種類	備　考
せっこうボード JIS A 6901の規格品	壁	継目処理	12.5	図示	亜鉛ﾒｯｷ製 ｽﾃﾝﾚｽ製:水回り	LGS	
	天井	突付け	9.5	図示	同上	LGS	
化粧せっこうボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品	天井	突付け	9.5	図示	同上	LGS	
化粧せっこうボード 杉板目プリント JIS A 6901の規格品							
吸音用穴あきせっこうボード JIS A 6301の規格品							
強化せっこうボード JIS A 6901の規格品	壁	突付け	12.5 21.0	図示	亜鉛ﾒｯｷ製 ｽﾃﾝﾚｽ製:水回り	LGS	四周目地処理 厚21：遮音ｼｰﾙ
普通硬質せっこうﾎﾞｰﾄﾞ JIS A 6901の規格品	壁	突付け	9.5	図示	酢酸ﾋﾞﾆﾙ樹脂系	LGS	四周目地処理
ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ JIS A 6901の規格品	壁	突付け	12.5	図示	ｽﾃﾝﾚｽ製	LGS	
けい酸カルシウム板 化粧ボード	壁・天井	ｼｰﾘﾝｸﾞｼﾞｮｲﾅｰ	6.0	図示	酢酸ﾋﾞﾆﾙ樹脂系 ｱｸﾘﾙｴﾏﾙｼｮﾝ樹脂系	ボード	
けい酸カルシウム板 木調不燃	壁	図示	18.0	不燃	図示	鋼製	活動室Ａ
ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6301の規格品	天井	突付け	9.0	図示	接着剤 JIS A 5538	ボード	表面化粧 0.21：500Hz
ロックウール吸音材 JIS A 6301の規格品							
グラスウール吸音材 JIS A 6301の規格品	壁						
	天井						
ロックウール保温材 JIS A 9504の規格品							
木毛セメント板 JIS A 5404の規格品							
けい酸カルシウム板 JIS A 5430の規格品	壁						
	天井						
火山性ガラス質複層板(VSボード) JIS A 5440の規格品							
普通合板 農林省告示第233号							
天然木化粧合板 農林省告示第233号							
特殊加工化粧板 農林省告示第233号							
難燃合板 農林省告示第1869号							

◎合板，パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量は，F☆☆☆☆とする.
ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの放散量が，F☆☆☆☆の合板，パーティクルボード及びMDFを使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする.

(7.) 壁紙張り

施工箇所	種類	防火性能の級別	素地ごしらえ	不燃材料等の区分	備　考
図示	ビニルクロス	図示	B種	図示	

◎ホルムアルデヒドの放散量は，F☆☆☆☆とする.
ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの放散量が，F☆☆☆☆の壁紙を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする.

(8.) 断熱・防露

種　類	種　別	厚　さ	工　法	補修材	備　考
グラスウール	―	100mm	敷設	―	PH階階段

◎ロックウール，グラスウール，ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量は，F☆☆☆☆とする.
ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの放散量が，F☆☆☆☆の断熱材を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする.

◎断熱材現場発泡工法

種　類	厚　さ	施工箇所	備　考
硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑA種1	30	図示による	

◎製造所：　評価名簿による.

(9.) 接着剤

◎壁紙施工用でん粉系接着剤，ユリア樹脂等(ユリア樹脂，メラミン樹脂，フェノール樹脂，レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量は，F☆☆☆☆とする.
ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの放散量が，F☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする.

(10.) バスパネル

◎アルミ製　不燃　施工箇所：浴室壁、天井

20章　ユニット及びその他の工事

項　目	特記事項

1. フリーアクセスフロア

施工箇所	構法	寸法	高さ	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考

◎製造所：　評価名簿による.

◎タイルカーペットは，帯電防止性能のある防炎品とし，フリーアクセスフロアーメーカー標準品を使用すること.　　厚(　　　)mm

◎施工にあたっては，施工前にフリーアクセスパネル及びタイルカーペットの割付施工図を提出し，承認後に製作施工を行うこと.

2. 可動間仕切

構造形式の種類	構成基材の種類	遮音性	パネル表面仕上	使用箇所	備　考

◎可動間仕切のパネルの材料のホルムアルデヒド放散量はＦ☆☆☆☆とする.
ただし,正当な理由により確保が困難である場合等,ホルムアルデヒドの放散量がＦ☆☆☆☆の可動間仕切のパネルを使用できない場合は,監督員と協議するものとし,監督員の承諾を得るものとする.

(3.) 移動間仕切

操作方法の種類	表面材の材質	表面仕上	遮音性	使用箇所	圧接装置	備　考
手動	鋼板	焼付け塗装	50db	活動室(B,C)	有	

(4.) トイレブース

表面材の種類	脚部 形状	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
メラミン樹脂系	幅木タイプ	Ｒ形	アルミ

◎非常時開放機能付き
◎製作所：　評価名簿による.

◎トイレブースのパネルの材料のホルムアルデヒド放散量はＦ☆☆☆☆とする.
ただし,正当な理由により確保が困難である場合等,ホルムアルデヒドの放散量がＦ☆☆☆☆のトイレブースのパネルを使用できない場合は,監督員と協議するものとし,監督員の承諾を得るものとする.

(5.) 視覚障害者用床タイル

施工箇所		種　類	寸法(mm)	厚さ
屋内	階段室	塩化ビニル製	300角	7mm
	風除室	SUS製(タイヤ：樹脂)	点状：22φ程度 線状：30×300程度	5mm程度

◎ブロックパターンはJIS T 9251による.

(6.) 階段滑り止め

◎材種(ステンレス(タイヤ付き))，形状(　折曲げ板材　)，幅(　35mm　)

◎取付け方法は(・埋込み工法 ☉ 接着工法)とする.

7. 黒板及びホワイトボード

◎種別(ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ)　枠の材質は(　アルミ　)とする.

◎色彩は(・緑 ・ 黒 ☉ 白)とする.

8. 鏡

◎防湿性を有するもので，厚さ5mmとする.

9. 表示

区分	材質	寸法	厚さ	取付高さ	備考
衝突防止表示 / 非常用進入口表示 / 総合案内ｻｲﾝ、室名札 ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	図示	図示	図示	図示	

◎案内用図記号はJIS Z 8210による。
◎詳細は共通詳細図による。

10. 煙突ライニング

◎煙突用成形ライニング材の製造所　：評価名簿による.

◎工法(　　　　　　　)
適用安全使用温度(　　　　)　上限温度(　　　　)　下限温度(　　　　)

徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-013	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮建築設計　徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088)－625－5505（代）
	●図面名　特記仕様書ー11	●縮尺　NON	管理建築士　清水　康代　１級333707

20章　ユニット及びその他の工事

項　目	特　記　事　項
11. ブラインド	形　式：横形ブラインド　／　縦形ブラインド 材　質：アルミ 開閉方式：ギヤ式 スラット幅：25㎜
12. ロールスクリーン	操作方式／幅・高さ／防炎性能／材種・品質／備考：（記入なし）
⑬ カーテン及びカーテンレール	施工取付箇所／きれ地の種別，品質，特殊加工等(製造所)／ひだの種別／形　式／引分装置／備　考：（記入なし） ◎カーテンレールは次による. 材種(　アルミ　)，形状(　　角形　　)，寸法(22.5㎜)
	◎補強鉄線の径
⑭ ブラインドボックス及びカーテンボックス	◎溝幅×深さ（㎜）　・ 90×150　・ 120×80　⊙ 120×150　⊙ 150×80　・ 図示 材　質　・ 集成材(仕上：　　) ・アルミニウム製 表面処理　・BC-1　・BC-2(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー) 皮膜等の種類　※標準仕様書14.2.1による ・鋼製(仕上：　　) ⊙木製
15. プレキャストコンクリート工事	◎取付金物(　　)，取付方法(　　) ◎コンクリートの設計基準強度　(　　)N/㎟ ◎配筋を定めた計算書を監督員に提出すること.
16. 間知石及びコンクリート間知ブロック積	◎面の形状(　　)，材種(　　) ◎JISによる質量区分： ◎積み方は(　　)とする. ◎目塗りは，(行う ・ 行わない) ◎目地の材種(　　)，厚さ(　　)
17.　流し台ユニット	材種／寸法 W／寸法 D／寸法 H／備　考： 図示／／／活動室小Ｂ 図示／／／１階事務室 図示／／／２階事務室 ◎詳細は共通詳細図による。
18.　フェンス	フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ　・図示　・ ◎詳細は共通詳細図による。
⑲ 洗面カウンター	材種　⊙ メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）　⊙ 人工大理石 奥行き　・ 約450　⊙ 約600　・ ◎詳細は共通詳細図による。
20. 既製家具	◎合板，MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量は，F☆☆☆☆とする. ただし，正当な理由により確保が困難である場合等，ホルムアルデヒドの放散量が，F☆☆☆☆の合板，MDF及びパーティクルボードを使用できない場合には，監督員と協議するものとし，監督員の承諾を得るものとする.
⑳ 乾式置床	種類／高さ／床下地／耐荷重(N/㎡)／表面仕上げ材／施工箇所： 金属製／100㎜／図示／3500／ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ／活動室大Ａ 樹脂製／100㎜／図示／5000／ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ／オープンスペース2、舎監室、男子脱衣室、女子脱衣室、更衣室

21章　排水工事

項　目	特　記　事　項
① 排水管	◎排水管材料 材種／管の種類／呼び径／備考：（記入なし）
② 側塊，排水桝等	◎側塊の形状：　図示 ◎排水マスの種類：　図示 ◎グレーチング 材質／用途／適用荷重／ﾒｯｼﾊﾟｰﾋﾟｯﾁ／亜鉛めっき付着量／上面形状／備考：（記入なし） ・製造所：　評価名簿による ◎鋳鉄製マンホールふた 名称／種類／適用荷重／備考：（記入なし） ・製造所：　評価名簿による ◎砂の粒度試験は，(　・行う　⊙　行わない　)
③ 街きょ，縁石，側溝	◎地業材料：捨てコンクリート　　厚さ　50㎜ ◎砂利地業の厚さは，(　100　)㎜とする. ◎コンクリート設計基準度等：　18　N/㎟，スランプ＝ 15　cm ◎街きょ，縁石及び側溝 名称／形状／寸法／備考： 地先境界ブロック／監理指針による／150×150／ 側溝／－／150×180／場所打ち
④ その他	◎地業材料の種類：　再生クラッシャラン　　厚さ：　図示 ◎コンクリート：設計基準強度(　18　N/㎟)，スランプ(　15　) ◎埋め戻し材料：(⊙A ・ B ・ C ・ D)種とする. ◎排水工事の仕様は，図示以外は，建築工事標準詳細図による.

22章　舗装工事

項　目	特　記　事　項
① 路床	◎盛土材料(　B種　) ◎凍上抑制層材料(　　)，凍上抑制層厚さ(　　) ◎透水性舗装フィルター材料(　　)，透水性舗装フィルター厚さ(　　) ◎路床安定処理材は(　　)とし，厚さ(　　) ◎六価クロム溶出試験を(　・行う ⊙ 行わない). 行った場合，土壌環境基準以下であることを確認すると共に，試験結果(計量証明書)を監督員に提出するものとする. 六価クロム溶出試験は，「セメント及びセメント系固化材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」(平成12.3.31 建設策258号)の「六価クロム溶出試験実施要領(案)」により実施する. 土質条件，施工条件等により試験方法，検体数に変更が生じた場合，試験の結果，六価クロムの溶出量が土壌環境基準を超えた場合等は，監督員と協議するものとする. ◎路床土の支持力比(CBR)試験は(⊙行う〔乱した土〕乱さない土】　・ 行わない) ◎路床締固め度試験は(⊙行う　・ 行わない). ◎砂の粒度試験は(　・行う ⊙ 行わない). ◎現場ＣＢＲ試験を　(◎行う　・　行わない)

項　目	特　記　事　項
2.　路盤	◎路盤材料(　再生クラッシャラン　)，車道部の厚さは(　150　)㎜ ◎締固め試験は(　・行う　・　行わない). ◎路盤の厚さは，設計厚さを下回らないこととする.
3. アスファルト舗装	舗装の種類／部　位／舗装の厚さ(㎜)： アスファルト／歩行者用通路／50 ◎再生加熱アスファルト混合物を(　・使用する　・　しない). 種　別／種　類／備　考： 加熱アスファルト混合物／／ 再生加熱アスファルト混合物／密粒度アスファルト混合物 ◎シールコートは(　・行う　・　行わない). ◎アスファルト混合物の抽出試験は(　・行う　・　行わない). ◎切取り試験を（・行う　・　行わない) ◎表層の厚さは，設計厚さを下回らないこととする. ◎地域は(　・一般地域　・　寒冷地域)とする. ◎舗装の平担性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。
4.　カラー舗装	舗装の種類／工法／部位／舗装の厚さ(㎜)／結合材の種類： 加熱系／－／車路／50／アスファルト混合物 ◎再生加熱アスファルト混合物を(　・使用する　・　しない). 種　別／種　類／備　考： 加熱アスファルト混合物／／ 再生加熱アスファルト混合物／密粒度アスファルト混合物 ◎シールコートは(　・行う　・　行わない). ◎添加する材料　　・着色骨材(　　) ⊙自然石(　けい石　) ◎アスファルト混合物の抽出試験は(⊙行う　・　行わない). ◎舗装の平担性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする。 ◎表層の厚さは，設計厚さを下回らないこととする.
5. コンクリート舗装	◎設計基準強度(　　N/㎟)，スランプ(　　)，粗骨材の最大寸法(　　) ◎表面の仕上げ(　　) 舗装の種類／部　位／舗装の厚さ(㎜)：（記入なし） ◎目地材は注入の場合(　低弾性タイプ　・　高弾性タイプ　)による. ◎目地 部　位／目地の種類／目地の間隔：（記入なし） ◎溶接金網は使用(　する　・　しない). ◎コンクリート版の厚さは、型枠据付後、水糸又はレベルにより測定する. ◎舗装の平坦性は，通行の支障となる水たまりを生じない程度とする. ◎表層の厚さは，設計厚さを下回らないこととする.
6. 透水性アスファルト舗装	◎厚さ（　　） ◎切取り試験を（行う　・　行わない) ◎開粒度アスファルト混合物の抽出試験は(　行う　・　行わない). ◎舗装の平坦性は，著しい不陸がないものとする.

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好察・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-014	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088) －625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　特記仕様書ー12	●縮尺　NON	

22章　舗装工事

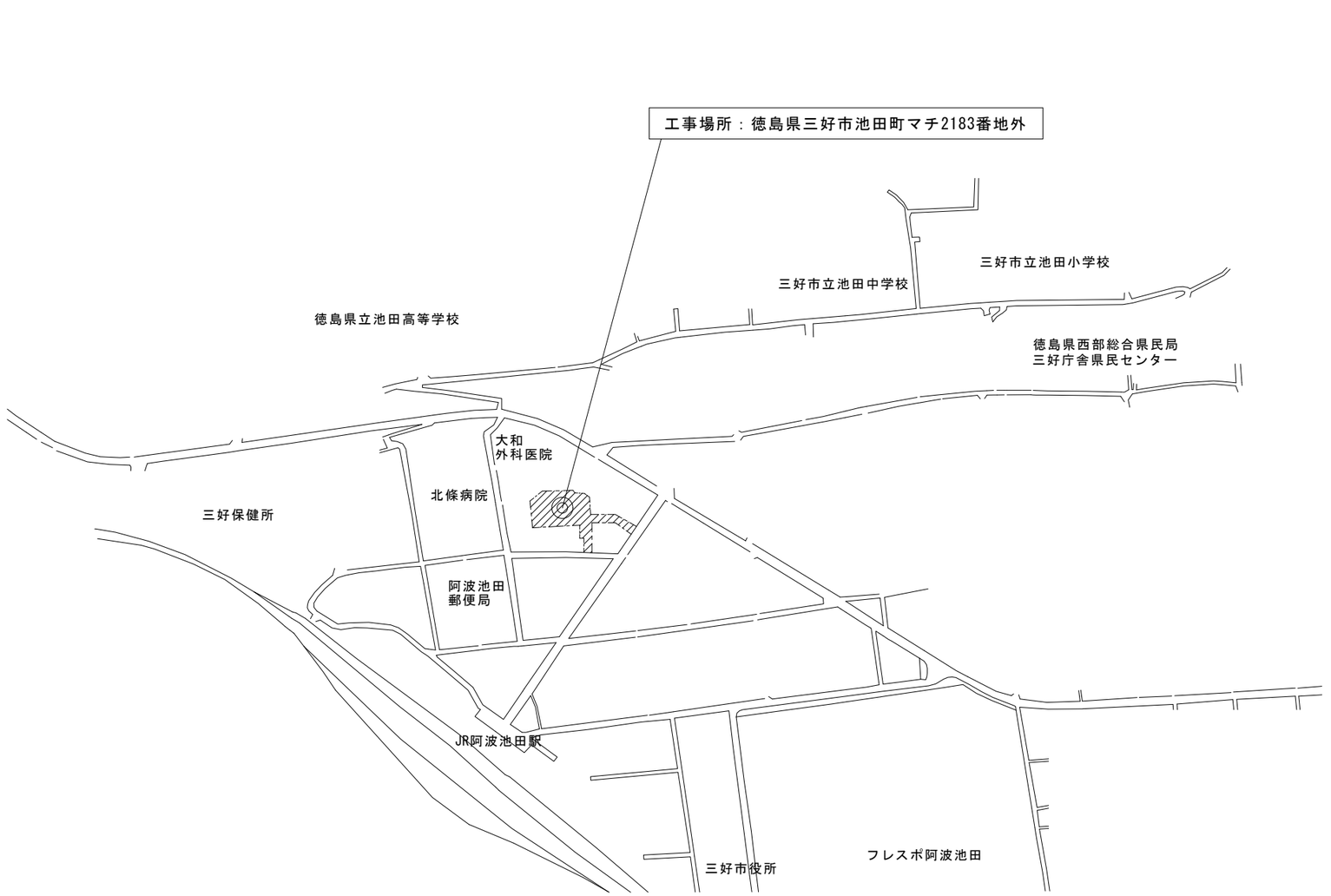
項　　目	特　記　事　項
7.　ブロック系舗装	区分：インターロッキングブロック舗装／部位：歩行者用通路／クッション材 種類：砂／クッション材 厚さ：30mm／目地材：砂／種類：透水性ブロック／寸法：60mm／形状：長方形／表面加工：凹凸／備考： ◎舗装の平たん性は、歩行に支障となる段差がないものとする.
8.　砂利敷き	◎砂利敷きの種別は(A種 ・ B種)とする.
9.　区画線	◎路面標示位置，間隔は図示による. ◎材料：種類(3種)，色(白)，塗布幅(150)，塗布厚さ(1.0)
10. 視覚障がい者誘導ブロック	施工箇所：通路／種類：コンクリート製／寸法(mm)：300角／厚さ：60mm／色彩：黄色 ◎ブロックパターンはJIS T 9251による. ◎設置位置：図示
11. 排水の処理	◎舗装版切断に伴い発生する排水は汚泥に該当するため，関係法令等に基づき適正に処理すること.

23章　植栽工事

項　　目	特　記　事　項
1.　一般事項	◎土壌の水素イオン濃度指数(pH)の試験は(行う ・ 行わない). ◎土壌の電気伝導度(EC)等の試験は(行う ・ 行わない). ◎植栽基盤整備工法は(A ・ B ・ C ・ D)種とする. ◎土壌改良材は（適用する ・ 適用しない). 材料（　　）使用量（　　） ◎有効土層の面積及び厚さは図示による. ◎排水設備は(暗渠 ・ 開渠 ・ 排水層 ・ 縦穴排水)を設ける.
3.　植　樹	◎樹木の樹種，寸法，株立数及び刈込みものは図示による. ◎植え込み用土は(現場発生土 ・ 客土)とする. 客土は(　　)とする. ◎支柱丸太及び添え木丸太は，加圧式防腐処理丸太材(ACQ処理)とする. ◎支柱の形式は(添え柱形 ・ 鳥居形 ・ 八ッ掛け形 ・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ・ 地下埋設形)とする. ◎幹巻き用材料は，(幹巻き用テープ ・ わら及びこも)とする. ◎新植樹木の枯補償期間は，引渡の日から(　年)とする. ◎移植樹木の枯損処置期間は，引渡の日から(　年)とする.
4.　芝張り，吹付けは種及び地被類	◎芝張り ・芝の種類は(こうらい芝 ・ 野芝)とし，工法は(目地張り ・ べた張)とする. ・客土は(　　)とする. ◎吹付けは種 ・吹付け面の土性及び硬度の測定は(行う ・ 行わない). ・種子の種類は(　　)とする。 ・被膜養生は(行う ・ 行わない). ・養生剤の散布量は0.8～1.0L/m²とし，全面散布する. ◎枯補償期間は，引渡の日から(　年)とする.

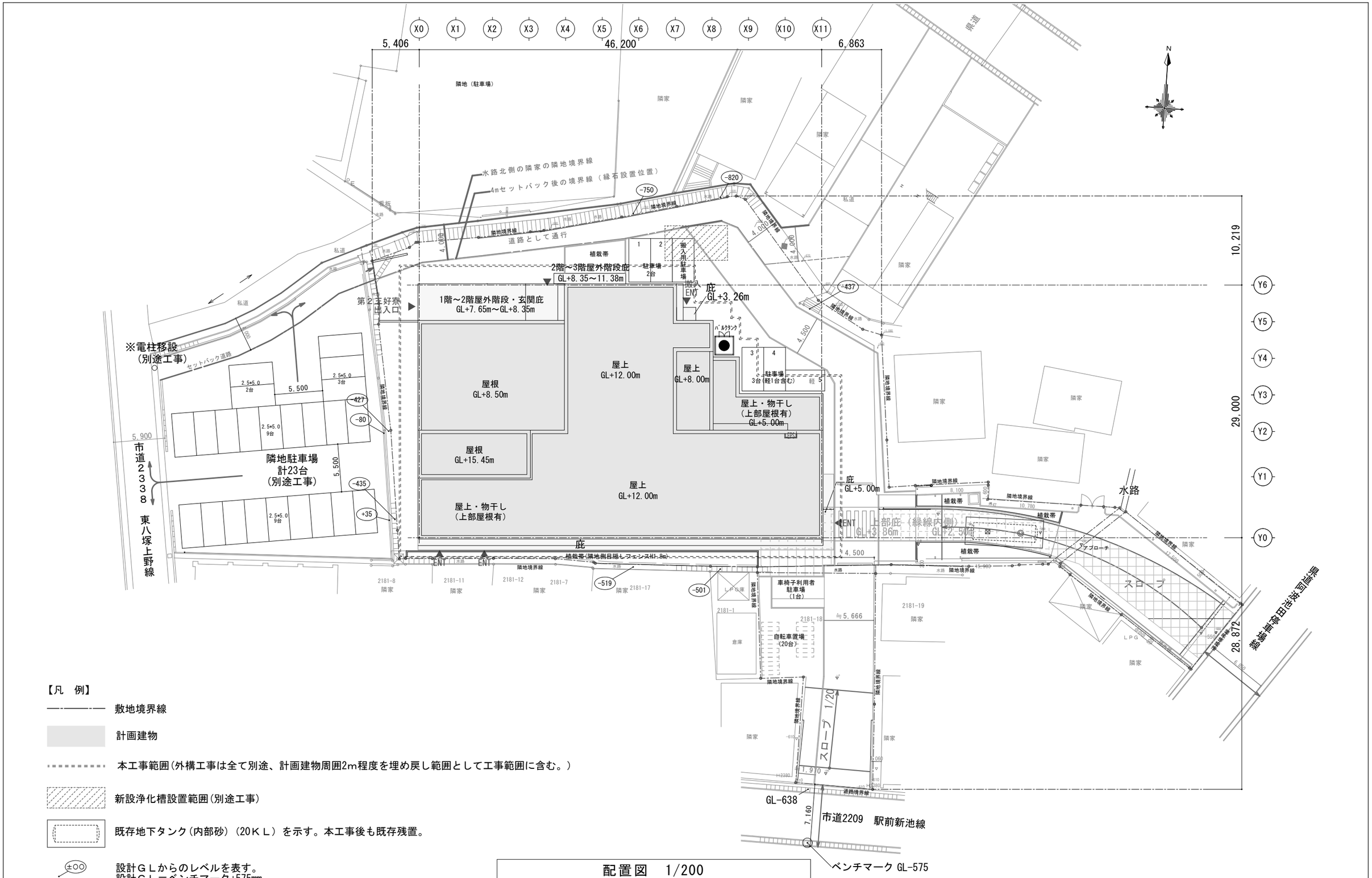
項　　目	特　記　事　項
5.　屋上緑化	◎屋上緑化システム ・土壌層の厚さは図示による. ・保水・排水層は(軽量骨材(層の厚さ：　　) ・ 板状成型品)とする. ・植込み用土は，(改良土 ・ 人工軽量土)とする. ・樹木，芝及び地被類の樹種，寸法，株立数，刈込みものは図示による. ◎屋上緑化軽量システム ・樹木，芝及び地被類の樹種，寸法，株立数，刈込みものは図示による. ◎工法は，建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する. ◎支柱の設置及び形式は図示による. ◎かん水装置は(設置し，工事区分は図示による ・ 設置しない) ◎新植樹木の枯補償期間は，引渡の日から(　年)とする. ◎枯補償期間は，引渡の日から(　年)とする.

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-015	１級建築士事務所　徳島県知事登録第61057号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 特記仕様書ー13	●縮尺 NON	



付近見取図

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-016	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 付近見取図	●縮尺 A1:-/- A3:-/-	

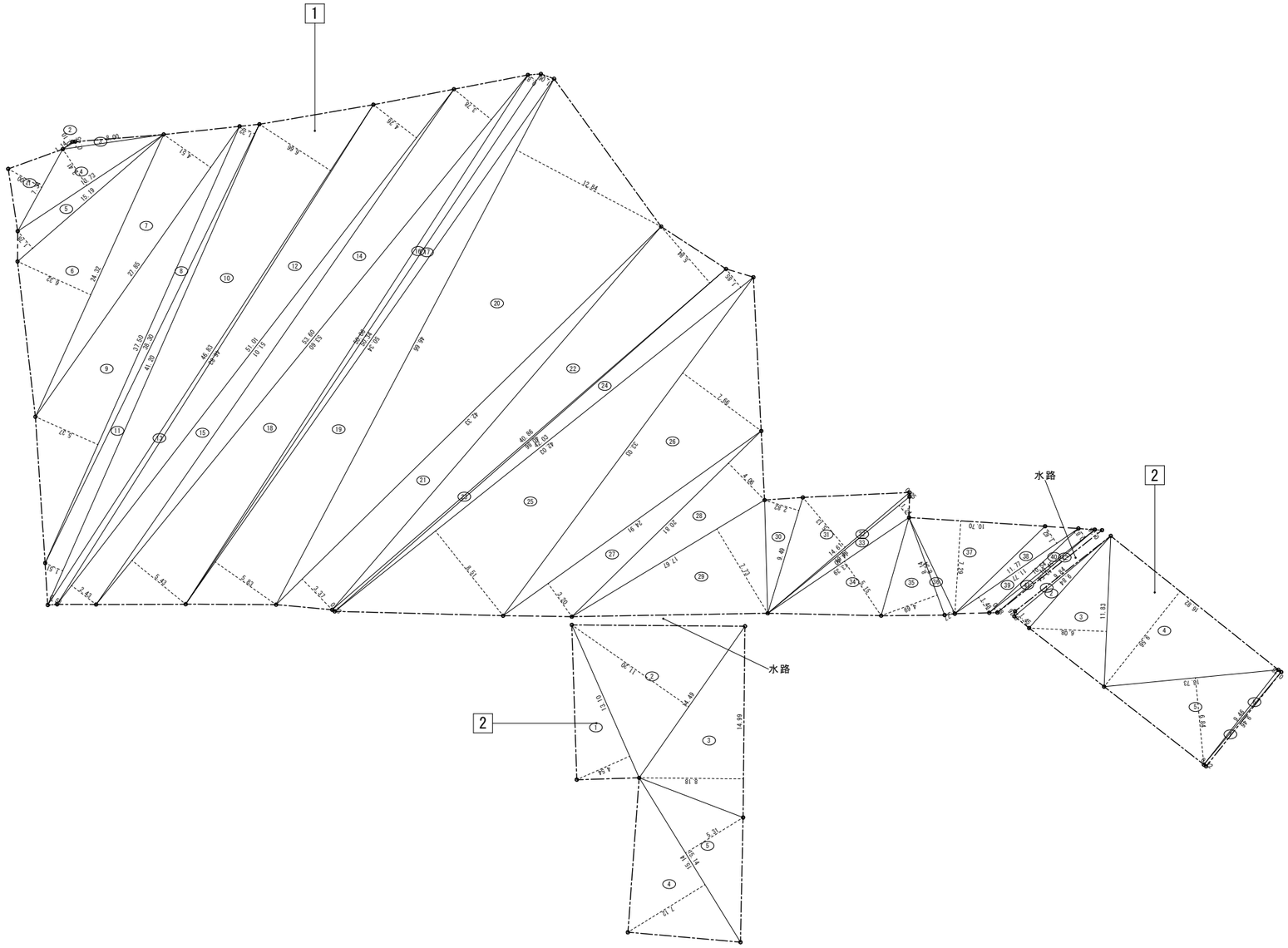


【凡　例】

- 敷地境界線
- 計画建物
- 本工事範囲（外構工事は全て別途、計画建物周囲2m程度を埋め戻し範囲として工事範囲に含む。）
- 新設浄化槽設置範囲（別途工事）
- 既存地下タンク（内部砂）（20ＫＬ）を示す。本工事後も既存残置。
- ±○○ 設計ＧＬからのレベルを表す。設計ＧＬ＝ベンチマーク+575mm

配置図　1/200

徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-017	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707	
	●図面名 配置図	●縮尺 A1:1/200 A3:1/400		



求積表 1

番号	底　辺	高　さ	倍　面　積	面　積
1	7.34	3.00	22.0200	11.01000
2	1.14	0.10	0.1140	0.05700
3	8.00	0.45	3.6000	1.80000
4	13.73	3.41	46.8193	23.40965
5	15.19	1.78	27.0382	13.51910
6	24.32	6.32	153.7024	76.85120
7	27.85	4.51	125.6035	62.80175
8	38.30	1.32	50.5560	25.27800
9	37.50	5.37	201.3750	100.68750
10	46.83	6.66	311.8878	155.94390
11	41.20	1.51	62.2120	31.10600
12	51.01	4.26	217.3026	108.65130
13	46.83	0.58	27.1614	13.58070
14	53.60	3.78	202.6080	101.30400
15	51.01	2.43	123.9543	61.97715
16	50.06	0.81	40.5486	20.27430
17	50.34	1.06	53.3604	26.68020
18	53.60	5.43	291.0480	145.52400
19	50.34	5.83	293.4822	146.74110
20	46.66	12.84	599.1144	299.55720
21	42.33	3.37	142.6521	71.32605
22	40.86	5.84	238.6224	119.31120
23	40.86	0.23	9.3978	4.69890
24	42.03	1.85	77.7555	38.87775
25	42.03	8.51	357.6753	178.83765
26	33.03	7.66	253.0098	126.50490
27	24.91	3.20	79.7120	39.85600
28	20.81	4.06	84.4886	42.24430
29	17.67	7.73	136.5891	68.29455
30	9.49	2.82	26.7618	13.38090
31	14.61	5.13	74.9493	37.47465
32	14.61	0.25	3.6525	1.82625
33	14.40	1.24	17.8560	8.92800
34	13.39	5.15	68.9585	34.47925
35	8.14	4.69	38.1766	19.08830
36	8.34	0.77	6.4218	3.21090
37	10.70	7.29	78.0030	39.00150
38	11.77	1.62	19.0674	9.53370
39	11.77	1.48	17.4196	8.70980
40	10.54	0.87	9.1698	4.58490
41	10.54	0.38	4.0052	2.00260
42	10.45	0.38	3.9710	1.98550
合　計				2,300.91160
敷地面積				2,300.91 ㎡

求積表 2

番号	底　辺	高　さ	倍　面　積	面　積
1	9.84	0.26	2.5584	1.27920
2	9.84	1.45	14.2680	7.13400
3	11.83	6.08	71.9264	35.96320
4	16.82	9.56	160.7992	80.39960
5	13.73	6.84	93.9132	46.95660
6	9.46	0.28	2.6488	1.32440
7	9.46	0.22	2.0812	1.04060
合　計				174.09760
敷地面積				174.09 ㎡

求積表 3

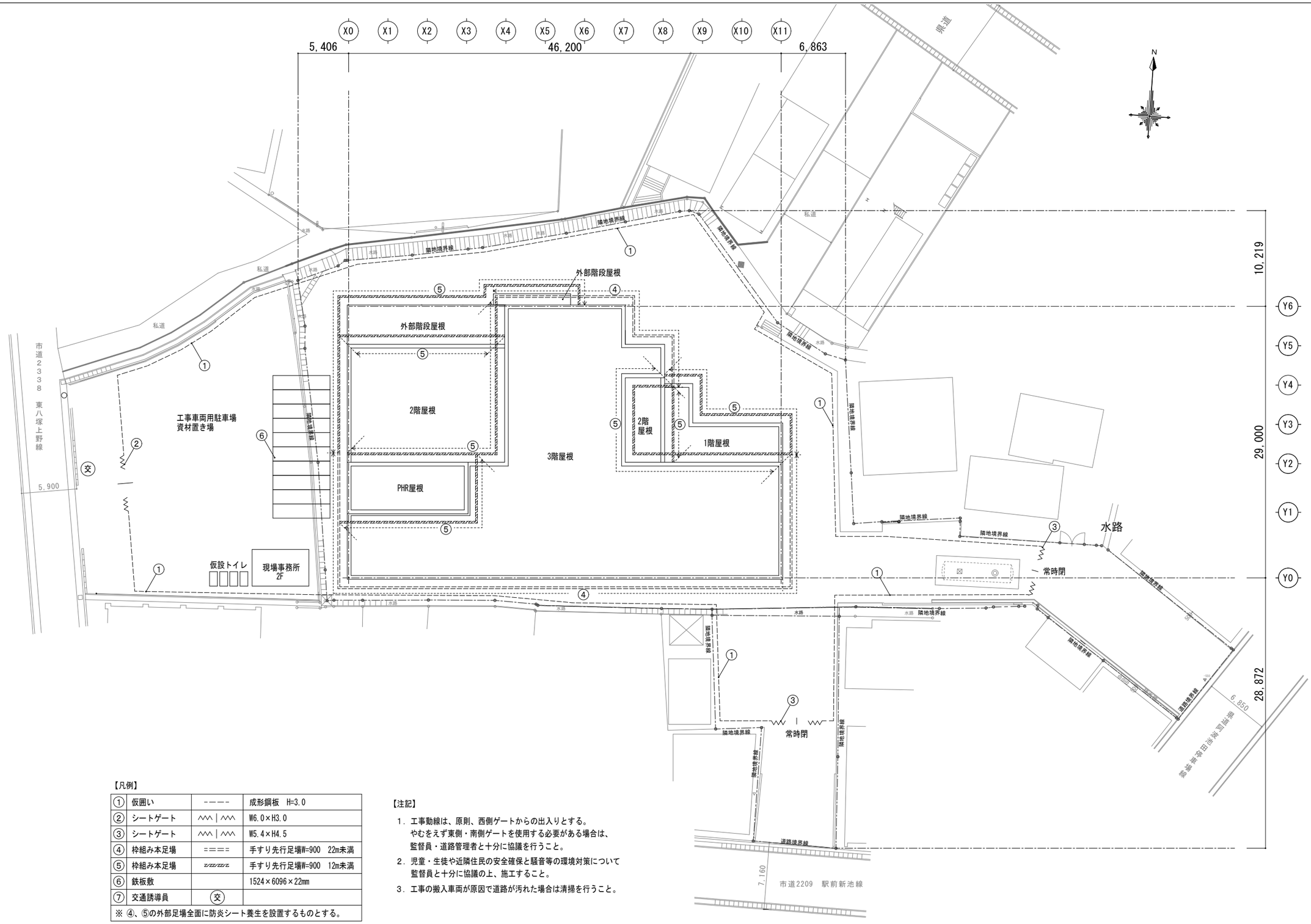
番号	底　辺	高　さ	倍　面　積	面　積
1	13.10	4.54	59.4740	29.73700
2	14.49	11.20	162.2880	81.14400
3	14.99	8.18	122.6182	61.30910
4	15.14	7.12	107.7968	53.89840
5	15.14	5.31	80.3934	40.19670
合　計				266.28520
敷地面積				266.28 ㎡

求積表(合計)

2,300.91160 + 174.09760 + 266.28520 = 2,741.2944	2,741.29㎡

求積図　1/200

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好森・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-018	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088)－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 丈量図	●縮尺 A1:1/200 A3:1/400	



【凡例】

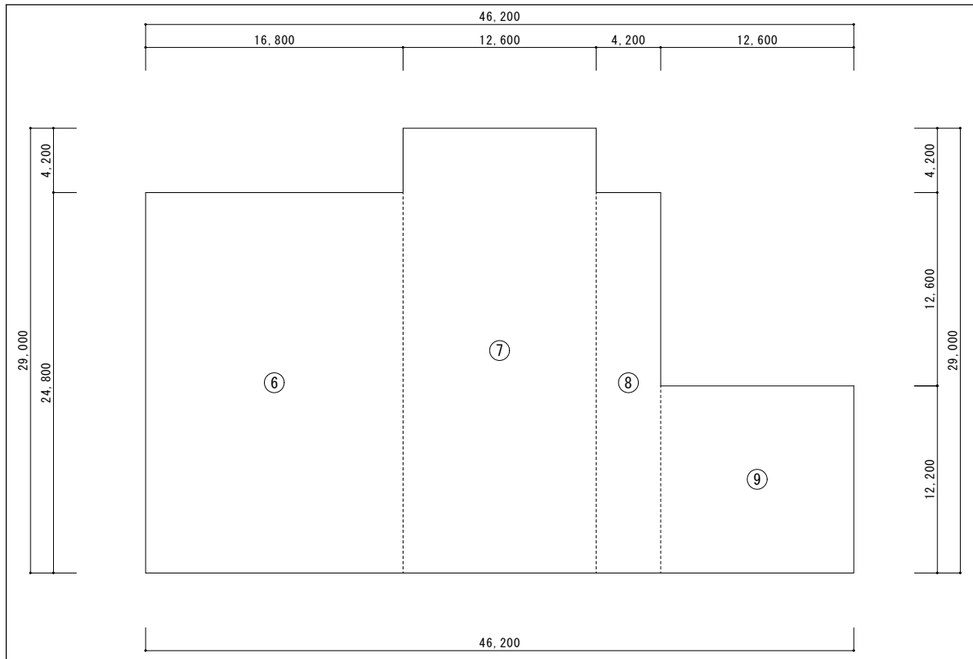
①	仮囲い	――	成形鋼板　H=3.0
②	シートゲート	∧∧|∧∧	W6.0×H3.0
③	シートゲート	∧∧|∧∧	W5.4×H4.5
④	枠組み本足場	＝＝＝	手すり先行足場W=900　22m未満
⑤	枠組み本足場	≈≈≈	手すり先行足場W=900　12m未満
⑥	鉄板敷		1524×6096×22mm
⑦	交通誘導員	交	

※ ④、⑤の外部足場全面に防炎シート養生を設置するものとする。

【注記】

1. 工事動線は、原則、西側ゲートからの出入りとする。
やむをえず東側・南側ゲートを使用する必要がある場合は、
監督員・道路管理者と十分に協議を行うこと。
2. 児童・生徒や近隣住民の安全確保と騒音等の環境対策について
監督員と十分に協議の上、施工すること。
3. 工事の搬入車両が原因で道路が汚れた場合は清掃を行うこと。

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設 （仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-019	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　仮設計画図	●縮尺　A1:1/200 A3:1/400	



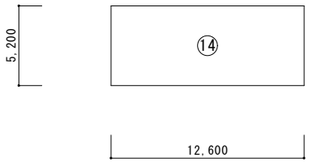
２階求積図　1/200

面積表

１階第２三好寮供用部床面積求積表

番号	計算式	小計
㋐	3.10*5.20	16.1200
㋑	6.30*3.10	19.530
㋒	4.20*3.22	13.524
㋓	4.20*0.45	1.890
㋔	2.90*0.65	1.885
㋕	1.70*0.40	0.680
第２三好寮供用部１階床面積		53.629
		53.629 ㎡

範囲：第２三好寮供用部
53.629 ㎡



PH階求積図　1/200

面積表

１階床面積求積表

番号	計算式	小計
①	16.80*24.80	416.640
②	12.60*29.00	365.400
③	4.20*24.80	104.160
④	3.00*20.60	61.800
⑤	9.60*16.40	157.440
１階床面積		1,105.440
		1,105.44 ㎡

２階床面積求積表

番号	計算式	小計
⑥	16.80*24.80	416.640
⑦	12.60*29.00	365.400
⑧	4.20*24.80	104.160
⑨	12.60*12.20	153.720
２階床面積		1,039.920
		1,039.92 ㎡

３階床面積求積表

番号	計算式	小計
⑩	16.80*12.20	204.960
⑪	12.60*29.00	365.400
⑫	16.80*12.20	204.960
⑬	4.20*3.22	13.524
３階床面積		788.844
		788.84 ㎡

PH階床面積求積表

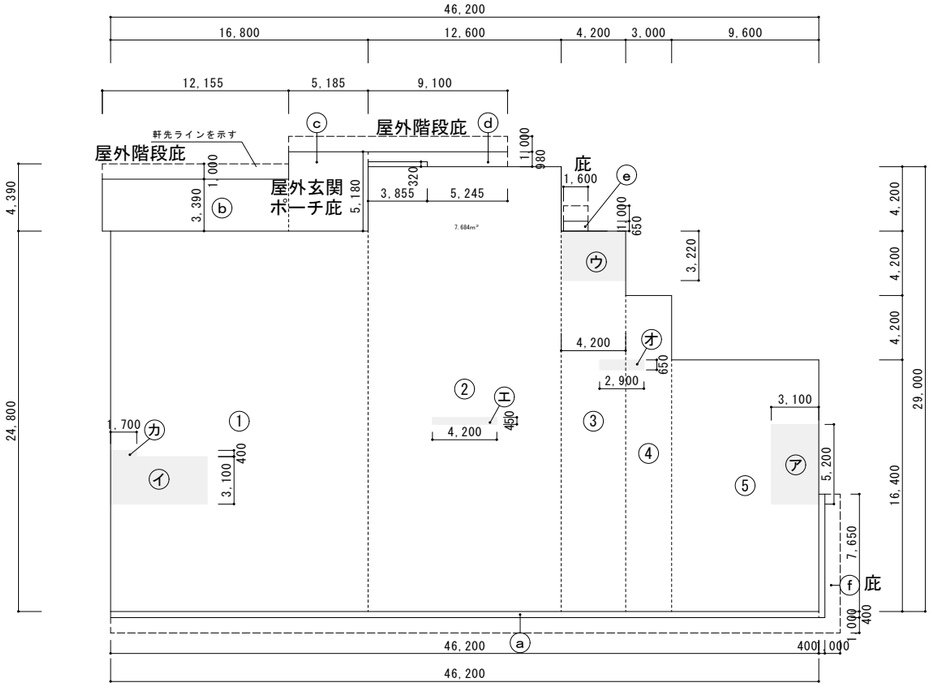
番号	計算式	小計
⑭	12.60*5.20	65.520
PH階床面積		65.520
		65.52 ㎡

建築面積求積表

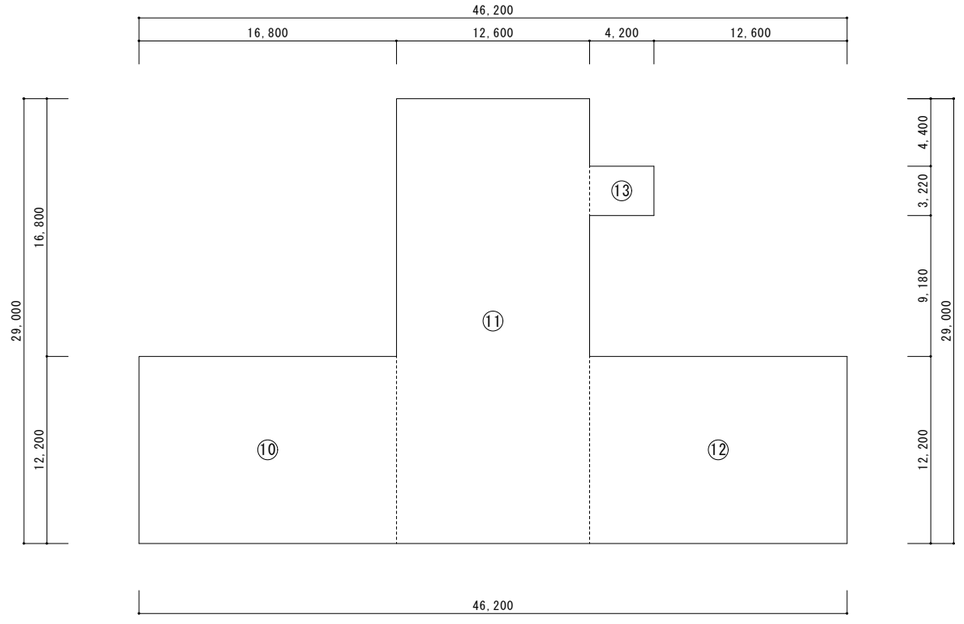
番号	計算式	小計
①	16.80*24.80	416.640
②	12.60*29.00	365.400
③	4.20*24.80	104.160
④	3.00*20.60	61.800
⑤	9.60*16.40	157.440
ⓐ	46.20*0.40	18.480
ⓑ	12.16*3.39	41.222
ⓒ	5.19*5.18	26.884
ⓓ	9.10*0.98 -3.86*0.32	7.683
ⓔ	1.60*0.65	1.040
ⓕ	0.40*8.05	3.220
建築面積		1,203.969
		1,203.97 ㎡

延べ面積表

番号	
PH階床面積	65.52 ㎡
３階床面積	788.84 ㎡
２階床面積	1,039.92 ㎡
１階床面積	1,105.44 ㎡
延べ面積	2,999.72 ㎡

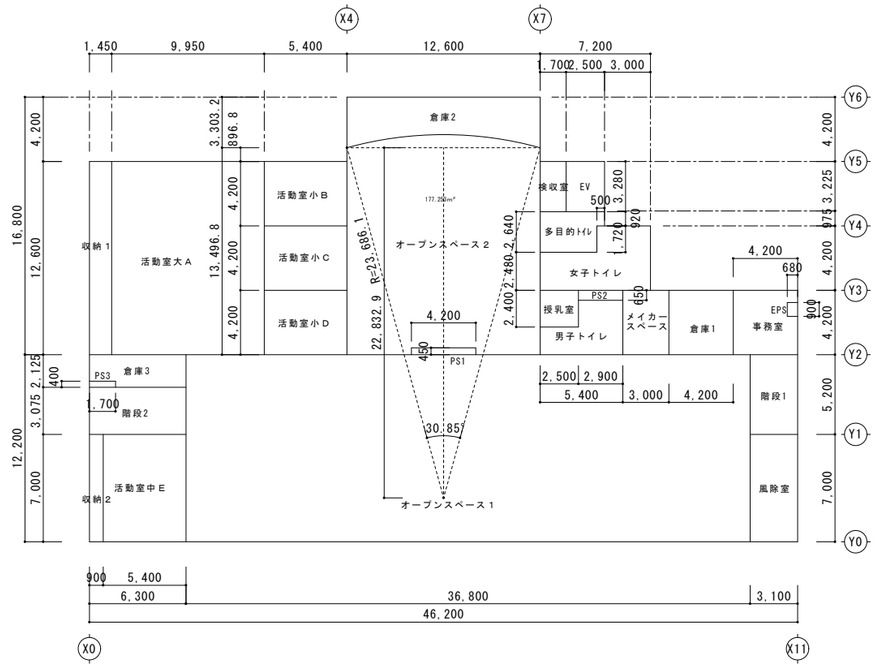


１階求積図　1/200

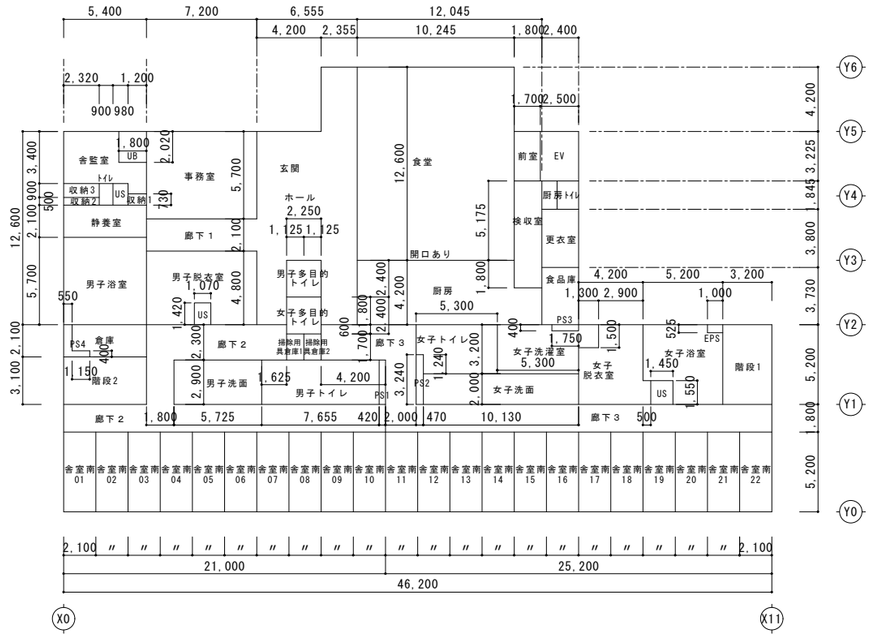


３階求積図　1/200

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設 （仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-020	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 面積表	●縮尺 A1:1/200 A3:1/100	



1階各室面積図　S=1/200



2階各室面積図　S=1/200

■　1階面積表

※採光係数（商業地域）、A=d/h×10-1　特記無き採光係数A=1.0とする。

番号	室名	計算式	計	合計 (A) ㎡	建具	採光(L)㎡ 必要面積	採光(L)㎡ 計算式	採光(L)㎡ 計	採光(L)㎡ 判定	換気(V)㎡ 必要面積	換気(V)㎡ 計算式	換気(V)㎡ 計	換気(V)㎡ 判定	排煙(S)㎡ 必要面積	排煙(S)㎡ 計算式	排煙(S)㎡ 計	排煙(S)㎡ 判定
101	風除室	3.10×7.00	21.700			非居室				非居室				(A/50)	0.43+8.98=9.41必要		OK
				21.70	1/AD									0.43			
102	ｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽ1	36.80×12.20	448.960		21/AW	(A/20)				(A/20)	機械換気			(A/50)	0.4×0.66×4×9		
				448.96	22/AW	22.45	(3-0.1)×2.84×8	65.88	OK	22.45	0.9×0.66×4×8	19.00		8.98	+1.035×0.75×2	11.05	
103	ｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽ2	(12.60+0.897)×12.60	170.062			(A/20)	非常用照明			(A/20)	機械換気			(A/50)	倉庫2に含む		
		3.14×23.686×23.686×(30.85/360)	150.961														
		-12.6×22.833/2	-143.848														
		-4.20×0.45	-1.890	175.29		8.76				8.76				3.51			
104	活動室大A	9.95×12.6	125.370		4/AW	(A/20)	非常用照明			(A/20)	機械換気			(A/50)	建告1436-4-二(4)		OK
				125.37		6.27	0.685×0.6×4×3	4.93		6.27	0.685×0.6×4×3	4.93		2.51	0.5×0.685×4×3	4.11	
105	活動室小B	5.40×4.2	22.680		4/AW	(A/20)			OK	(A/20)	機械換気			(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				22.68		1.13	0.685×0.6×4	1.64		1.13				0.45			
106	活動室小C	5.40×4.2	22.680			(A/20)	非常用照明			(A/20)	機械換気			(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				22.68		1.13				1.13				0.45			
107	活動室小D	5.40×4.20	22.680			(A/20)	非常用照明			(A/20)	機械換気			(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				22.68		1.13				1.13				0.45			
108	活動室中E	5.40×7.00	37.800			(A/20)			OK	(A/20)			OK	(A/50)			OK
				37.80		1.89	0.72×0.6×3×2	2.59		1.89	0.72×0.6×3×2	2.59		0.76	0.72×0.6×3×2	2.59	
109	事務室	4.20×4.20-0.9×0.68	17.028		5/AW	(A/20)			OK	(A/20)			OK	(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				17.03		0.85	1.1×1.3×2	2.86		0.85	1.1/2×1.3×2	1.43		0.34	1.1/2×0.2×2	0.22	
110	ﾊｲｶｰﾍﾟｰｽ1	3.00×4.20	12.600		3/AW	(A/20)			OK	(A/20)			OK	(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				12.60		0.63	0.5×1.3	0.65		0.63	0.5×1.3	0.65		0.25	0.5×0.2	0.1	
111	倉庫1	4.20×4.20	17.640			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				17.64										0.39			
112	倉庫2	12.60×3.303	41.618			非居室				非居室				(A/50)	ｵｰﾌﾟﾝｽﾍﾟｰｽ2 含む		OK
		-3.14×23.686×23.686×(30.85/360)	-150.961												0.69×3.51=4.2必要		
		12.6×22.833/2	143.848	34.51										0.69	0.6×0.685×4×3	4.93	
113	倉庫3	6.30×2.125-1.70×0.40	12.708			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				12.71										0.25			
114	男子トイレ	5.40×4.20-2.90×0.65	20.795			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
		-2.50×2.40	-6.000	14.80										0.30			
115	女子トイレ	7.20×4.20-3.70×1.72	23.876			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				23.88										0.48			
116	多目的トイレ	4.20×2.64-0.50×1.72	10.228			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				10.23										0.20			
117	授乳室	2.50×2.40	6.000			(A/20)	非常用照明			(A/20)	機械換気			(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				6.00		0.30				0.30				0.12			
118	検収室	1.70×3.28	5.576			(A/20)	非常用照明			(A/20)	機械換気			(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				5.58		0.28				0.28				0.11			
119	E.V	2.5×3.28	8.200			非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書		
				8.20										0.16			
120	階段1	3.10×5.20	16.120			非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書		
				16.12										0.32			
121	階段2	6.30×3.075	19.373			非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書		
				19.37										0.39			
	EPS	0.9×0.68	0.612			非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書		
				0.61										0.01			
	PS1	4.20×0.45	1.890			非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書		
				1.89										0.04			
	PS2	2.90×0.65	1.885			非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書		
				1.89										0.04			
	PS3	1.70×0.40	0.680			非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書		
				0.68										0.01			
	収納1	0.90×12.60	11.340			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				11.34										0.23			
	収納2	0.90×7.00	6.300			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				6.30										0.13			

■　2階面積表　(1)

※採光係数（商業地域）、A=d/h×10-1　特記無き採光係数A=1.0とする。

番号	室名	計算式	計	合計 (A) ㎡	建具	採光(L)㎡ 必要面積	採光(L)㎡ 計算式	採光(L)㎡ 計	採光(L)㎡ 判定	換気(V)㎡ 必要面積	換気(V)㎡ 計算式	換気(V)㎡ 計	換気(V)㎡ 判定	排煙(S)㎡ 必要面積	排煙(S)㎡ 計算式	排煙(S)㎡ 計	排煙(S)㎡ 判定
201	玄関	6.555+5.7+2.355+4.2	47.255			非居室				非居室				(A/50)	廊下2、3含む		OK
202	ホール・廊下1	6.555+6.9-2.25+4.2	35.780												1.28+1.31+1.96+6.55必要		
		2.1+7.2	15.120	98.16										1.96	(0.825+0.975)×0.5×2		
															+0.45+1.1+0.75+0.8+4	4.69	
203-1 ~	舎室南	2.10×5.20	10.920		8/AW	(A/7)			OK	(A/20)			OK	(A/50)	建告1436-4-二(4)		
203-22				10.92		1.56	1.1×1.3×3	4.290		0.55	1.1/2×1.3	0.715		0.22	1.1/2×0.05	0.02	
204	事務室	7.20×5.70	41.040		7/AW	(A/20)			OK	(A/20)			OK	(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				41.04		2.05	1.1×1.3×3	4.290		2.05	1.1/2×1.3×3	2.145		0.82	1.1/2×0.05×3	0.08	
205	会監室	5.40×3.40-1.80×2.02	14.724		8/AW	(A/20)			OK	(A/20)	機械換気			(A/50)	建告1436-4-二(4)		
		(1.4-0.73)×1.2	0.804	15.53		0.78	1.1×1.3	1.430		0.78	1.1/2×1.3	0.715		0.31	1.1/2×0.05	0.02	
206	静養室	5.40×2.10	11.340		8/AW	(A/20)			OK	(A/20)			OK	(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				11.34		0.57	1.1×1.3	1.430		0.57	1.1/2×1.3	0.715		0.23	1.1/2×0.05	0.02	
207	食堂	10.245×12.60	129.087		7/AW	(A/20)			OK	(A/20)	機械換気			(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				129.09		6.45	1.1×1.3×7	10.010		6.45	1.1/2×1.3×7	5.005		2.58	1.1/2×0.05×7	0.19	
208	厨房	12.045+4.20-1.80+1.80	47.349			(A/20)	非常用照明			(A/20)	機械換気			(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				47.35		2.37				2.37				0.95			
209	検収室	1.80×(5.175+1.80)	12.555			(A/20)	非常用照明			(A/20)	機械換気			(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				12.56		0.63				0.63				0.25			
210	食品庫	2.40×3.73	8.952		11/AW	非居室				非居室				(A/50)			OK
				8.95										0.18	1.1×0.4	0.44	
211	更衣室	2.40×3.80	9.120		11/AW	非居室				非居室				(A/50)			OK
				9.12										0.18	1.1×0.4	0.44	
212	男子脱衣室	7.20+4.80-1.42×1.07	33.041			(A/20)	非常用照明			(A/20)	機械換気			(A/50)	建告1436-4-二(4)		
				33.04		1.65				1.65				0.66			
213	女子脱衣室	4.20×5.20+1.55×0.5-1.30×1.50	20.665		10/AW	(A/20)			OK	(A/20)	機械換気			(A/50)			OK
				20.67		1.03	0.815×0.5×2×3	2.445		1.03				0.41	0.815×0.4×2	0.652	
214	男子浴室	5.40×5.70	30.780		9/AW	(A/20)			OK	(A/20)	機械換気			(A/50)			OK
				30.78		1.54	0.815×0.5×2×3	2.445		1.54				0.62	0.815×0.4×2	0.652	
215	女子浴室	5.20×5.20-0.525×1-1.95×1.55	23.493		11/AW	(A/20)			OK	(A/20)	機械換気			(A/50)			OK
				23.49		1.17	1.1×0.5×2×3	3.300		1.17	1.1×0.5×2	1.100		0.47	1.1×0.4×2	0.88	
216	倉庫	5.40×2.10-0.55×2.10-1.15×0.40	9.725			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				9.73										0.19			
217	女子洗濯室	5.30×3.20+1.30×1.50-1.75×0.40	18.210			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				18.21										0.36			
218	掃除用具庫1	1.125×1.70	1.913			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				1.91										0.04			
219	掃除用具庫2	1.125×1.70	1.913			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				1.91										0.04			
220	男子洗面	5.725×2.90	16.603			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				16.60										0.33			
221	女子洗面	10.13×2.00	20.260			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				20.26										0.41			
222	男子トイレ	7.665×2.90	22.229			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				22.23										0.44			
223	女子トイレ	5.30×3.20-0.47×1.24	16.377			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				16.38										0.33			
224	男子多目的トイレ	2.25×2.40	5.400			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				5.40										0.11			
225	女子多目的トイレ	2.25×2.40	5.400			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				5.40										0.11			
226	廊下2	21.00×1.80+1.80×(2.90+2.30)	47.160		16/AW	非居室				非居室				(A/50)	玄関・ホール・廊下1に含む		
		(5.725+1.625)×2.30	16.905	64.07										1.28			
227	廊下3	25.20×1.80+2.00×5.20	55.760		15/AW	非居室				非居室				(A/50)	玄関・ホール・廊下1に含む		
		4.20×2.30	9.660	65.42										1.31			
228	前室	1.70×3.225	5.483		18/AW	非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-二(2)		
				5.48										0.11	0.5×0.2	0.1	

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好察・三好市地域利便性施設 （仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-021	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　室面積表・採光・換気・排煙チェックリスト１	●縮尺　A1:1/200 A3:1/400	

■ ２階面積表 (2)

※採光係数（商業地域）、A=d/h*10-1 特記無き採光係数A=1.0とする。

						採光				換気				排煙			
						必要面積	計算式	計	判定	必要面積	計算式	計	判定	必要面積	計算式	計	判定
229	EV	2.50*3.225	8.063	8.06		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書	0.16	
230	厨房トイレ	2.40*1.845	4.428	4.43		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2)	0.09	
231	階段１	3.20*5.20	16.640	16.64		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書	0.33	
232	階段２	5.40*3.10	16.740	16.74		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書	0.33	
233	収納１	1.20*0.73	0.876	0.88		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2)	0.02	
234	収納２	2.32*0.50	1.160	1.16		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2)	0.02	
235	収納３	2.32*0.90	2.088	**2.09**		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2)	**0.04**	
236	UB（会監室）	1.80*2.02	3.636	3.64		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2)	0.07	
237	トイレ（静養室）	0.90*1.40	1.260	**2.09**		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2)	**0.04**	
238	EPS	1*0.525	0.525	0.53		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書	0.01	
239	PS１	0.42*2.90	1.218	1.22		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書	0.02	
240	PS２	0.47*3.24	1.523	1.52		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書	0.03	
241	PS３	1.75*0.40	0.700	0.70		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書	0.01	
242	PS４	0.55+2.10+1.15+0.40	1.615	1.62		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書	0.03	
	US（女子脱衣室）	1.45+1.55	2.248	2.25		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2)	0.05	
	US（男子脱衣室）	1.07+1.42	1.519	1.52		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2)	0.03	
	US（静養室）	0.98+1.40	1.372			非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2)		

■ ３階面積表

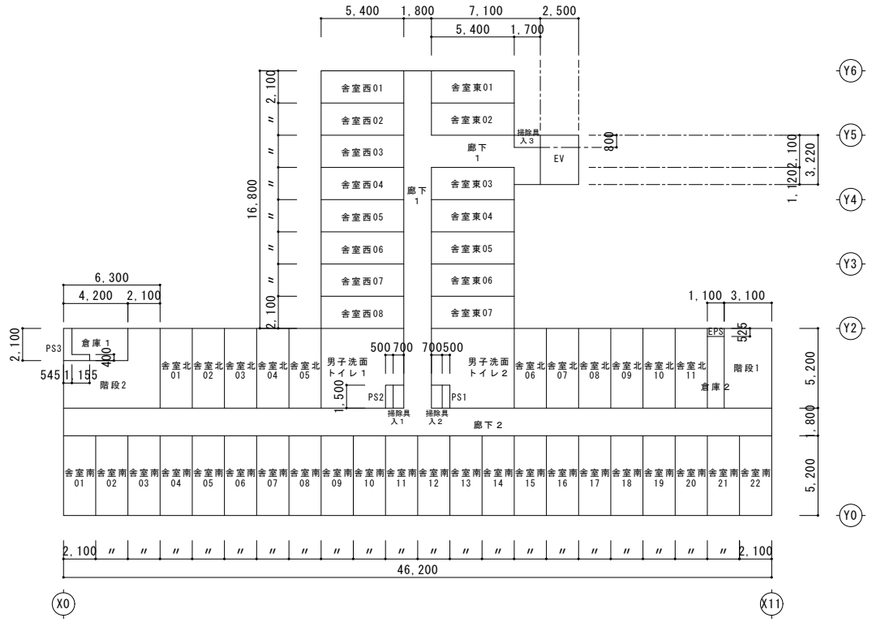
※採光係数（商業地域）、A=d/h*10-1 特記無き採光係数A=1.0とする。

番号	室名	計算式	計	合計（A）㎡	建具	採光（L）㎡				換気（V）㎡				排煙（S）㎡			
						必要面積	計算式	計	判定	必要面積	計算式	計	判定	必要面積	計算式	計	判定
301-1 ~ 301-11	舎室北	2.10*5.20	10.920	10.92	7/AW	(A/7)	1.56 1.1*1.3*3	4.290	OK	(A/20)	0.55 1.1/2*1.3	0.715	OK	(A/50)	建告1436-4-ニ-(4) 0.22 1.1/2*0.05	0.02	
302-1 ~ 302-7	舎室東	5.40*2.10	11.340	11.34	13/AW	(A/7)	1.62 1.1*1.3*3	4.290	OK	(A/20)	0.57 1.1/2*1.3	0.715	OK	(A/50)	建告1436-4-ニ-(4) 0.23 1.1/2*0.05	0.02	
303-1 ~ 303-22	舎室南	2.10*5.20	10.920	10.92	8/AW	(A/7)	1.56 1.1*1.3*3	4.290	OK	(A/20)	0.55 1.1/2*1.3	0.715	OK	(A/50)	建告1436-4-ニ-(4) 0.22 1.1/2*0.05	0.02	
304-1 ~ 304-8	舎室西	5.40*2.10	11.340	11.34	7/AW	(A/7)	1.62 1.1*1.3*3	4.290	OK	(A/20)	0.57 1.1/2*1.3	0.715	OK	(A/50)	建告1436-4-ニ-(4) 0.23 1.1/2*0.05	0.02	
305	倉庫１	4.20*2.10-0.545*2.10-1.155*0.40	7.214	7.21		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2) 0.14		
306	倉庫２	1.10*5.20-1.10*0.525	5.143	5.14		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2) 0.10		
307	男子洗面・トイレ１	5.40*5.20-(0.55*0.70)*1.5	26.205	26.21		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2) 0.52		
308	男子洗面・トイレ２	5.40*5.20-(0.55*0.70)*1.5	26.205	26.21		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2) 0.52		
309	掃除具入１	0.55*1.5	0.825	0.83		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2) 0.02		
310	掃除具入２	0.55*1.5	0.825	0.83		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2) 0.02		
311	廊下１	7+2.1+1.8+(16.8+5.2)+1.7+1.12 -1.70+0.80	54.844	54.84	23/AW 7/AD	非居室				非居室				(A/50)	1.12+1.66=2.78必要 1.10		OK
312	廊下２	46.20+1.80	83.160	83.16	16/AW 17/AW	非居室				非居室				(A/50)	1.1+0.45+0.75+0.8+2 +0.75+0.75+2 1.66	2.82	
313	ＥＶ	2.6*3.22	8.372	8.37		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書 0.17		
314	階段１	3.10*5.20	16.120	16.12		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書 0.32		
315	階段２	6.30*5.20-4.20*2.10	23.940	23.94		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書 0.48		
316	掃除具入３	1.70*0.80	1.360	1.36		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書 0.03		
317	EPS	1.10*0.525	0.578	0.58		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書 0.01		
318	PS１	0.55*1.5	0.825	0.83		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書 0.02		
319	PS２	0.55*1.5	0.825	0.83		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書 0.02		
320	PS３	0.545*2.10+1.155*0.40	1.607	1.61		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書 0.03		

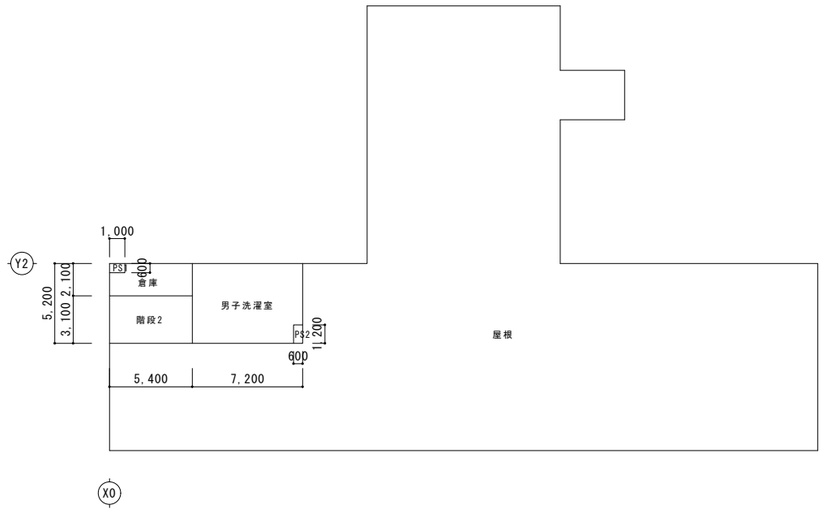
■ ＰＨ階面積表

※採光係数（商業地域）、A=d/h*10-1 特記無き採光係数A=1.0とする。

番号	室名	計算式	計	合計（A）㎡	建具	採光（L）㎡				換気（V）㎡				排煙（S）㎡			
						必要面積	計算式	計	判定	必要面積	計算式	計	判定	必要面積	計算式	計	判定
401	男子洗濯室	7.20+5.20-1.20+0.6	36.720	36.72	19/AW	非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2) 0.73 1.1/2*0.1*6	0.33	
402	倉庫	5.40+2.10-1.00+0.6	10.740	10.74		非居室				非居室				(A/50)	建告1436-4-ニ-(2) 0.21		
403	階段２	5.40+3.10	16.740	16.74		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書 0.33		
404	PS1	1.00+0.6	0.600	0.60		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書 0.01		
405	PS2	1.20+0.6	0.720	0.72		非居室				非居室				(A/50)	令第126-2ただし書 0.01		

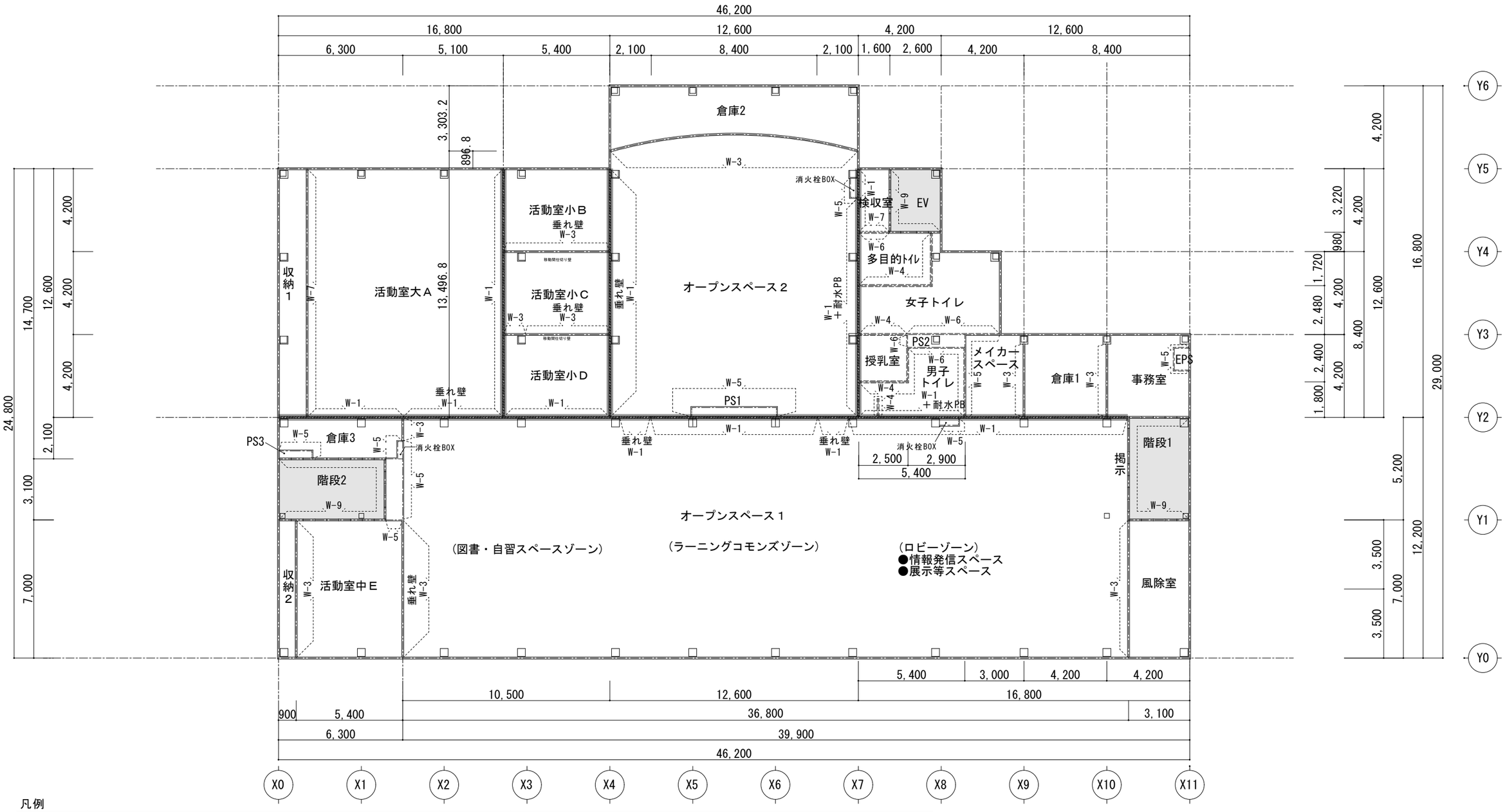


３階各室面積図 S=1/200



PH階各室面積図 S=1/200

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-022	１級建築士事務所 徳島県知事登録第11050号 株式会社 宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL （088）－625－5505（代） 管理建築士 清水 康代 １級333707
		●図面名 室面積表・採光・換気・排煙チェックリスト２	●縮尺 A1:1/200 A3:1/400	



凡例

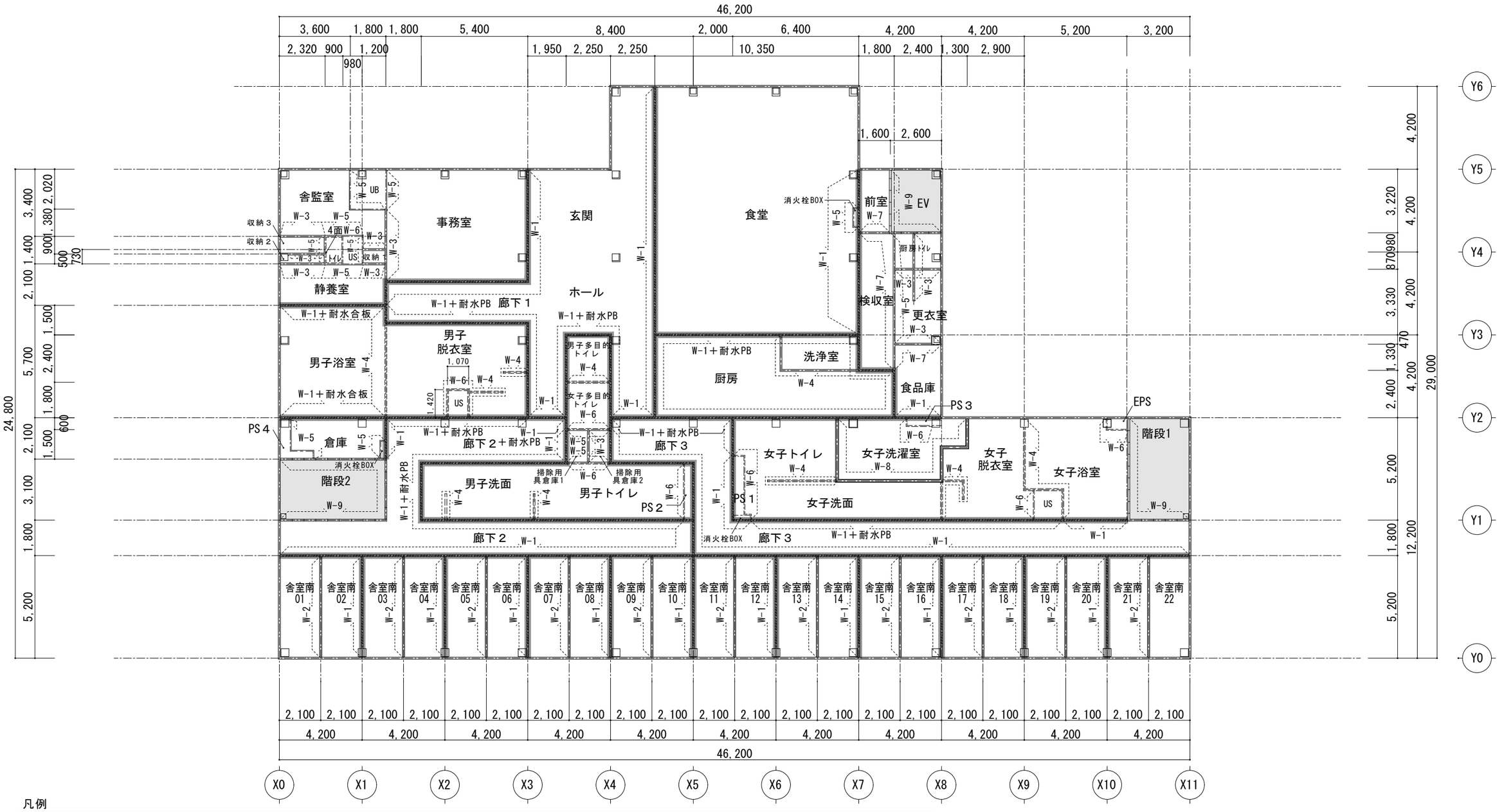
W-1	LGS65＋強化PB12.5＋硬質PB9.5　両面二重張り　上階スラブまで 1階：LGS100(垂れ壁除く)	W-5	LGS65＋PB12.5　片面張り
W-1+耐水PB	LGS65＋強化PB12.5＋硬質PB9.5　両面二重張り　上階スラブまで 耐水PB12.5　片面張り　天井まで	W-6	LGS65＋耐水PB12.5　片面張り
W-2	LGS65＋PB12.5＋PB9.5　両面二重張り	W-7	LGS65＋強化PB12.5　片面張り
W-3	LGS65＋PB12.5　両面張り	W-8	LGS65＋強化PB21＋硬質PB9.5　両面二重張り　上階スラブまで（遮音性能TL_D=50）
W-4	LGS65＋耐水PB12.5　両面張り	W-9	ECP60　上階スラブまで

面積区画兼竪穴区画（施行令第112条）

防火上主要な間仕切り壁（施行令第114条）

※外壁：ECP60＋現場発泡硬質ウレタンフォーム　厚30。
※外壁室内側の壁下地及び柱周囲の壁下地は、LGS50形とする。ただし、階段室はLGS90形とする。
※PS及びEPSの設備配管は水平区画のスラブを貫通し、配管との隙間は耐火処理を行うこと。
※EVシャフト外壁側の現場発泡硬質ウレタンフォームは不燃処理を行うこと。

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-023	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社 宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088)－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 １階　防火区画・壁リスト	●縮尺 A1:1/100 A3:1/200	R4.11.4提出図面



凡例

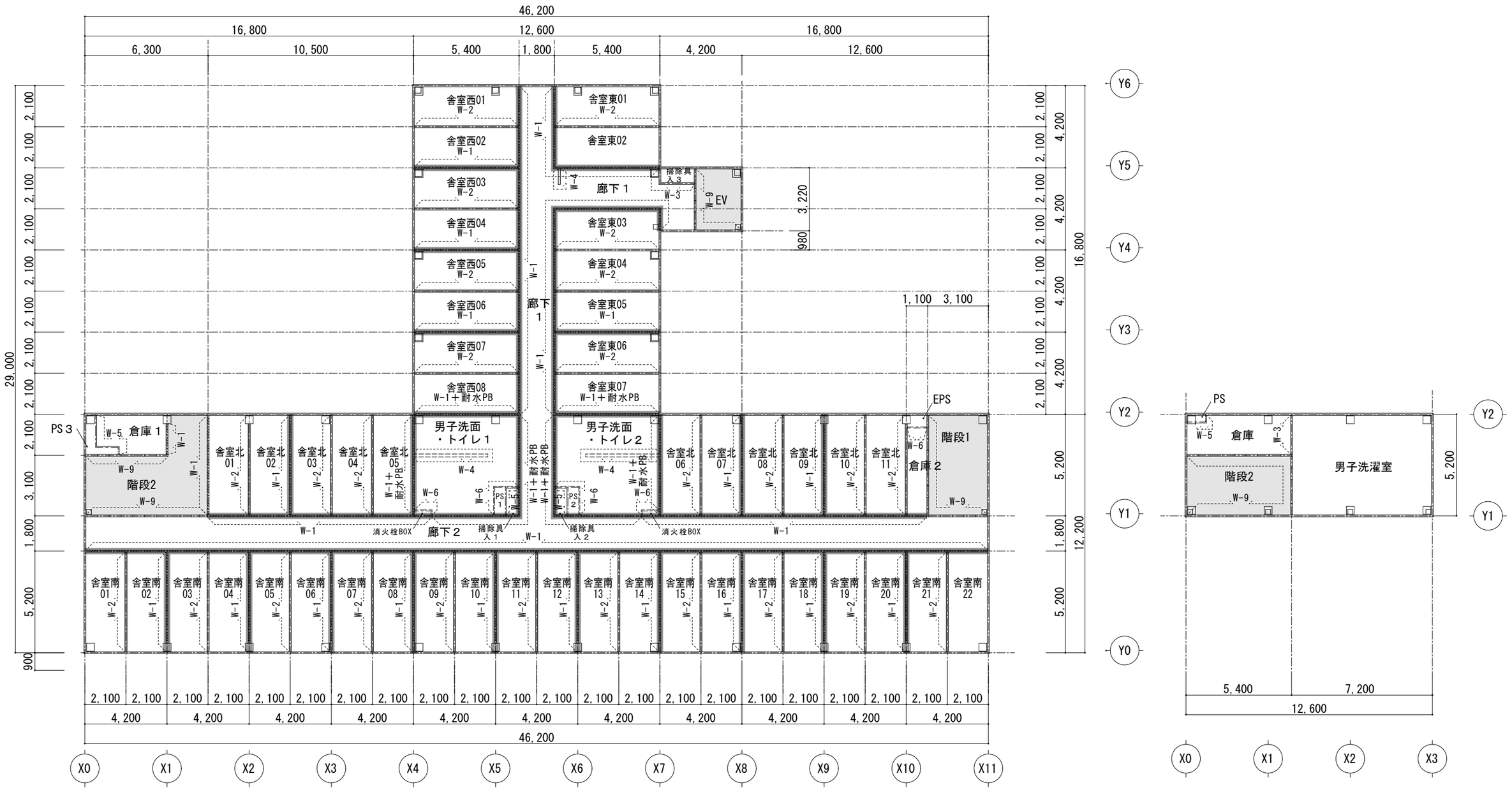
W-1	LGS65＋強化PB12.5＋硬質PB9.5　両面二重張り　上階スラブまで	W-5	LGS65＋PB12.5　片面張り
W-1+耐水PB	LGS65＋強化PB12.5＋硬質PB9.5　両面二重張り　上階スラブまで 耐水PB12　片面張り　天井まで	W-6	LGS65＋耐水PB12.5　片面張り ※浴室面：片面耐水合板12
W-2	LGS65＋PB12.5＋PB9.5　両面二重張り	W-7	LGS65＋強化PB12.5　片面張り
W-3	LGS65＋PB12.5　両面張り	W-8	LGS65＋強化PB21＋硬質PB9.5　両面二重張り　上階スラブまで（遮音性能TL_D=50）
W-4	LGS65＋耐水PB12.5　両面張り	W-9	ECP60　上階スラブまで

面積区画兼竪穴区画（施行令第112条）

防火上主要な間仕切り壁（施行令第114条）

※外壁：ECP60＋現場発泡硬質ウレタンフォーム　厚30。
※外壁室内側の壁下地及び柱周囲の壁下地は、LGS50形とする。ただし、階段室はLGS90形とする。
※PS及びEPSの設備配管は水平区画のスラブを貫通し、配管との隙間は耐火処理を行うこと。
※浴室、厨房（洗浄室含む）はコンクリート巾木を設ける。（各部詳細図参照）
※EVシャフト外壁側の現場発泡硬質ウレタンフォームは不燃処理を行うこと。

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-024	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　2階　防火区画・壁リスト	●縮尺　A1:1/100　A3:1/200	R4.11.4提出図面



凡例

W-1	LGS65＋強化PB12.5＋硬質PB9.5　両面二重張り　上階スラブまで	W-5	LGS65＋PB12.5　片面張り
W-1+耐水PB	LGS65＋強化PB12.5＋硬質PB9.5　両面二重張り　上階スラブまで 耐水PB12.5　片面張り　天井まで	W-6	LGS65＋耐水PB12.5　片面張り
W-2	LGS65＋PB12.5＋PB9.5　両面二重張り	W-7	LGS65＋強化PB12.5　片面張り
W-3	LGS65＋PB12.5　両面張り	W-8	LGS65＋強化PB21＋硬質PB9.5　両面二重張り　上階スラブまで（遮音性能TL_D=50）
W-4	LGS65＋耐水PB12.5　両面張り	W-9	ECP60　上階スラブまで

３階壁リスト

PH階壁リスト

面積区画兼竪穴区画（施行令第112条）

防火上主要な間仕切り壁（施行令第114条）

※外壁：ECP60＋現場発泡硬質ウレタンフォーム　厚30。
※外壁室内側の壁下地及び柱周囲の壁下地は、LGS50形とする。ただし、階段室はLGS90形とする。
※PS及びEPSの設備配管は水平区画のスラブを貫通し、配管との隙間は耐火処理を行うこと。
※EVシャフト外壁側の現場発泡硬質ウレタンフォームは不燃処理を行うこと。

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-025	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　３階・PH階　防火区画・壁リスト	●縮尺　A1:1/100 A3:1/200	R4.11.4提出図面

内部仕上表 1

階	区分	部屋番号	室名	床 下地ﾚﾍﾞﾙ	床 下地	床 仕上ﾚﾍﾞﾙ	床 仕上げ	幅木 H	幅木 仕上げ	腰壁 下地	腰壁 仕上げ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	天井高	廻り縁	ｶｰﾃﾝBOX ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞBOX ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ別途	断熱材 床	断熱材 外壁	断熱材 天井	備考 ：（ ）内記載：別途設備工事 〈 〉内記載：別途備品工事
1階	三好市地域利便性施設	101	風除室	-50	M	FL±0	木調磁器質タイル貼り150×900	H=70	木調磁器質タイル貼り	LGS50	ECP面（北）：PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS50	ECP面（北）：PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS19	PB9.5+化粧ケイカル板6.0	3300	P	—	—	—	○	—	ステンレス製点字鋲（カラーゴム付き）
										LGS65	間仕切壁（西）：PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS65	間仕切壁（西）：PB12.5 化粧ケイカル板6.0										東面壁：鉄板下地t0.8
										LGS50	外壁側：PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS50	外壁側：PB12.5 化粧ケイカル板6.0										
		102-1	オープンスペース１（ロビーゾーン）	-25	S	FL±0	複合フローリング張15.0	H=60	木製幅木	耐火	間仕切壁（北）：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁（北）：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	PB12.5+不燃クロス貼り	3300	P	—	○	—	○	—	〈受付案内カウンター、壁面書架、机〉
										LGS50	ECP面（東）：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	ECP面（東）：PB12.5 不燃クロス貼り										〈掲示板〉、〈総合案内サイン〉
												LGS65	間仕切壁（東）：PB12.5 不燃クロス貼り										東面壁：鉄板下地t0.8
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		102-2	オープンスペース１（ラーニングコモンズゾーン）	-25	S	FL±0	複合フローリング張15.0	H=60	木製幅木	耐火	間仕切壁（北）：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁（北）：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	PB12.5+不燃クロス貼り	3300	P	—	○	—	○	—	〈壁面書架、机、サイン〉
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		102-3	オープンスペース１（図書・自習スペース）	-25	S	FL±0	複合フローリング張15.0	H=60	木製幅木	耐火	間仕切壁（北）：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁（北）：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	PB12.5+不燃クロス貼り	3300	P	—	○	—	○	—	〈壁面書架、机、サイン〉
												LGS65	間仕切壁（西）：PB12.5 不燃クロス貼り										
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		103	オープンスペース２	-25	S	FL±0	複合フローリング張15.0	H=60	木製幅木	LGS65	間仕切壁（北）：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁（北）：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	PB12.5+不燃クロス貼り	3300	P	—	○	—	○	—	〈壁面書架、本棚〉、集成材小上用框、〈サイン〉
										耐火	間仕切壁（東・南）：強化PB12.5+硬質PB9.5+鋼製壁 不燃木調ケイカル18.0(UV塗装)	耐火	間仕切壁（東・南）：強化PB12.5+硬質PB9.5+鋼製壁 不燃木調ケイカル18.0(UV塗装)										〈手動スクリーン〉、ｶﾗｰｱﾙﾐ製ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		104	活動室大Ａ	-100	乾式置床（遮音）	FL±0	構造用合板12.0+複合フローリング張15.0	H=60	木製幅木	耐火	間仕切壁（東・南）：強化PB12.5+硬質PB9.5+鋼製壁 不燃木調ケイカル18.0(UV塗装)	耐火	間仕切壁（東・南）：強化PB12.5+硬質PB9.5+鋼製壁 不燃木調ケイカル18.0(UV塗装)	LGS19	PB9.5+ロックウール吸音板9	3300	W	—	○	—	○	—	〈扉ミラーフィルム〉、〈室名札〉
												LGS65	間仕切壁（西）：PB12.5 不燃木調ケイカル18.0(UV塗装)										〈手動スクリーン〉、ｶﾗｰｱﾙﾐ製ｽｸﾘｰﾝﾎﾞｯｸｽ
										LGS65	外壁側：鋼製壁 不燃木調ケイカル板18.0(UV塗装)	LGS65	外壁側：鋼製壁 不燃木調ケイカル板18.0(UV塗装)										
		105	活動室小Ｂ	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁（東）：強化PB12.5+硬質PB9.5 化粧ケイカル板6.0	耐火	間仕切壁（東）：強化PB12.5+硬質PB9.5 化粧ケイカル板6.0	LGS19	PB9.5+ロックウール吸音板9	2800	P	—	—	—	○	—	〈壁面食器棚、室名札〉
										LGS65	間仕切壁（南）：PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS65	間仕切壁（南）：PB12.5 化粧ケイカル板6.0										〈ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ、同左用ｽﾃﾝﾚｽｽﾌﾄﾞ〉
										耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5	耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5										移動間仕切り壁
										LGS50	外壁側：PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS50	外壁側：PB12.5 化粧ケイカル板6.0										
		106	活動室小Ｃ	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁（東）：強化PB12.5+硬質PB9.5 化粧ケイカル板6.0	耐火	間仕切壁（東）：強化PB12.5+硬質PB9.5 化粧ケイカル板6.0	LGS19	PB9.5+ロックウール吸音板9	2800	P	—	—	—	—	—	〈室名札〉
										LGS65	間仕切壁（北・南）：PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS65	間仕切壁（北・南）：PB12.5 化粧ケイカル板6.0										移動間仕切り壁、〈ホワイトボード〉
										耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5	耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5										
		107	活動室小Ｄ	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁（北）：PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS65	間仕切壁（北）：PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS19	PB9.5+ロックウール吸音板9	2800	P	—	—	—	—	—	〈室名札〉
										耐火	間仕切壁（東・南）：強化PB12.5+硬質PB9.5 化粧ケイカル板6.0	耐火	間仕切壁（東・南）：強化PB12.5+硬質PB9.5 化粧ケイカル板6.0										〈ホワイトボード〉
										耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5	耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5										
		108	活動室中Ｅ	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS50	ECP面（北）：PB12.5	LGS50	ECP面（北）：PB12.5	LGS19	PB9.5+ロックウール吸音板9	3300	P	—	○	—	○	—	〈自立型収納、室名札〉
										LGS65	間仕切壁（東・西）：PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS65	間仕切壁（東・西）：PB12.5 化粧ケイカル板6.0										〈ホワイトボード〉
										LGS50	外壁側：PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS50	外壁側：PB12.5 化粧ケイカル板6.0										
		109	事務室	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁（南）：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁（南）：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	○	—	○	○	〈ﾐﾆｷｯﾁﾝ〉、〈室名札〉
										LGS50	ECP面（南）：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	ECP面（南）：PB12.5 不燃クロス貼り										※天井裏：グラスウール100T敷込み
										LGS65	間仕切壁（西）：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁（西）：PB12.5 不燃クロス貼り										
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		110	メイカースペース	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁（北・東・西）：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁（北・東・西）：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	○	—	○	○	〈室名札〉
										耐火	間仕切壁（南）：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁（南）：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り										※天井裏：グラスウール100T敷込み
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		111	倉庫1	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁（南）：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁（南）：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	○	○	〈室名札〉
										LGS65	間仕切壁（東・西）：PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁（東・西）：PB12.5 EP塗り										※天井裏：グラスウール100T敷込み
										LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り	LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り										
		112	倉庫2	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁（南）：PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁（南）：PB12.5 EP塗り	LGS19	PB12.5+不燃クロス貼り	3300	P	—	—	—	○	—	〈室名札〉
										LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り	LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り										
		113	倉庫3	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁（北）：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁（北）：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	○	—	〈室名札〉
										LGS65	間仕切壁（東）：PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁（東）：PB12.5 EP塗り										
										LGS50	ECP面（南）：EP塗り	LGS50	ECP面（南）：EP塗り										
										LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り	LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り										
		114	男子トイレ	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	LGS65	間仕切壁（北・東・西）：耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS65	間仕切壁（北・東・西）：耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS19	PB9.5+ロックウール吸音板9.0	2500	P	—	—	—	—	—	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、汚垂石、〈化粧鏡〉、（洗面ｶｳﾝﾀｰ用陶器、小便器用手摺り）、〈ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ〉
							（溶接工法）			耐火	間仕切壁（南・西）：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0	耐火	間仕切壁（南・西）：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0										〈姿見〉、（小便器、洋便器、L型手すり）、洗面カウンター、ステンレス床見切り
		115	女子トイレ	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	LGS65	間仕切壁（北・南）：耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS65	間仕切壁（北・南）：耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS19	PB9.5+ロックウール吸音板9.0	2500	P	—	—	—	○	○	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、〈化粧鏡〉、（洗面ｶｳﾝﾀｰ用陶器、SK）、洗面カウンター、ピクトサイン
							（溶接工法）			耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0	耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0										〈姿見〉、（洋便器、L型手すり、ﾍﾟｰﾊﾟｰﾎﾙﾀﾞｰ）、ステンレス床見切り
										LGS50	外壁側：耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS50	外壁側：耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0										※天井裏：グラスウール100T敷込み
		116	多目的トイレ	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	LGS50	ECP面（北）：耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS50	ECP面（北）：耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS19	PB9.5+ロックウール吸音板9.0	2500	P	—	—	—	○	—	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、〈化粧鏡〉、（多目的トイレパック）、〈ピクトサイン〉
							（溶接工法）			LGS65	間仕切壁（北・東・南）：耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0	LGS65	間仕切壁（北・東・南）：耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0										〈ピクトサイン〉
										耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0	耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0										
		117	授乳室	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（抗菌）	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁（北・東・南）：耐水PB12.5 木調化粧パネルt=6（小口R加工）	LGS65	間仕切壁（北・東・南）：耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	PB9.5+ロックウール吸音板9.0	2500	P	—	—	—	—	—	〈洗面台〉、〈鏡、調乳器〉、ﾊﾝﾄﾞﾄﾞﾗｲﾔｰ〉、〈ピクトサイン〉
										耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 木調化粧パネルt=6（小口R加工）	耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り										（ﾁｪｲﾙﾄﾞｼｰﾄ、おむつ用ﾀﾞｽﾄﾎﾞｯｸｽ）
		118	検収室	-10	S	FL±0	防滑性ビニル床シート	H=60	床仕上げ巻上げ	LGS50	ECP面（東）：強化PB12.5 EP塗り	LGS50	ECP面（東）：強化PB12.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	○	—	〈室名札〉
							（溶接工法）			LGS65	間仕切壁（南）：強化PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁（南）：強化PB12.5 EP塗り										
										耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁（西）：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り										
										LGS50	外壁側：強化PB12.5 EP塗り	LGS50	外壁側：強化PB12.5 EP塗り										
	第２三好寮	119	EVシャフト	-	S	-	—		—	ECP	ECP現し	ECP	ECP現し		—	—	—	—	—	—	○	—	〈ピクトサイン〉
		120	1F　階段1	床-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	ECP面（北・南・西）：PB12.5 EP塗り	LGS65	ECP面（北・南・西）：PB12.5 EP塗り	鉄骨階段裏	SOP塗り	—	—	—	—	—	○	—	〈階表示サイン〉、床用点字シート、塩ビ製手摺34φ
				階段-40	M	FL±0	段鼻部：ステンレス製ノンスリップ(ゴム付)		ササラSOP塗り	LGS65	外壁側：PB12.5 EP塗り	LGS65	外壁側：PB12.5 EP塗り										
		121	1F　階段2	床-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	ECP面（北・東・南）：PB12.5 EP塗り	LGS65	ECP面（北・東・南）：PB12.5 EP塗り	鉄骨階段裏	SOP塗り	—	—	—	—	—	○	—	〈階表示サイン〉、床用点字シート、塩ビ製手摺34φ
				階段-40	M		段鼻部：ステンレス製ノンスリップ(ゴム付)		ササラSOP塗り	LGS65	外壁側：PB12.5 EP塗り	LGS65	外壁側：PB12.5 EP塗り										
		122	EPS	-2	RC(床)	FL-2	コンクリート直均し		—		LGS現し		LGS現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	○	—	〈室名札〉
	共用	123	PS1	-25	S	FL-15	—		—		LGS現し		LGS現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	—	—	〈室名札〉
		124	PS2	-2	RC(床)	FL-2	コンクリート直均し		—		LGS現し		LGS現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	—	—	〈室名札〉
		125	PS3	-2	RC(床)	FL-2	コンクリート直均し		—		LGS現し		LGS現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	○	—	〈室名札〉

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-026
		●図面名 内部仕上表１	●縮尺 A1:-/- A3:-/-

１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号
株式会社　宮建築設計
徳島市福島１丁目５番６号
TEL　（088）－625－5505（代）
管理建築士　清水　康代　１級333707

内部仕上表２

階	区分	部屋番号	室名	床 下地ﾚﾍﾞﾙ	床 下地	床 仕上ﾚﾍﾞﾙ	床 仕上げ	幅木 H	幅木 仕上げ	腰壁 下地	腰壁 仕上げ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	天井高	廻り縁	ｶｰﾃﾝBOX ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞBOX ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ別途	断熱材 床	断熱材 外壁	断熱材 天井	備考 ：（ ）内記載：別途設備工事 〈 〉内記載：別途備品工事
2階	第２三好寮	201	玄関	-40	M	FL-10	磁器質無釉100角タイル張り	H=50	磁器質無釉50角タイル張り	-	-	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2680	A	—	—	—	○	○	※天井裏：グラスウール10K7敷込み
		202	ホール・廊下１	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁(東・南・西)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(東・南・西)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	A	—	—	—	○	○	〈下足箱〉、ﾌﾙﾐ製天井見切り、〈総合案内サイン〉
										耐火	間仕切壁(東・南・西)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 +耐水PB12.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(東・南・西)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 +耐水PB12.5 不燃クロス貼り				P					床見切り：御影石
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り									※天井裏：グラスウール10K7敷込み
		203-1～22	舎室南01～22	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	W	—	—	○	—	〈クローゼット、室名札、物干し用フック〉
										LGS65	間仕切壁：PB12.5+PB9.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁：PB12.5+PB9.5 不燃クロス貼り					ダブル					
										LGS50	外壁側：PB12.5+PB9.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5+PB9.5 不燃クロス貼り										
		204	事務室	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁(東・南)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(東・南)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	○	—	○	○	〈カウンター、掲示板900×1200、室名札〉
										LGS65	間仕切壁(西)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁(西)：PB12.5 不燃クロス貼り										〈ミニキッチン〉、〈壁掛け時計用フック〉
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										※天井裏：グラスウール10K7敷込み
		205	舎監室	-2	乾式置床	FL+100	パーティクルボード20＋構造用合板12.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁(東・南)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁(東・南)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	W	—	—	○	○	UB1216、上框、〈室名札〉
							タイルカーペット6.5			LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り					ダブル					※天井裏：グラスウール10K7敷込み
				-10	S	FL±0	一部：ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木					LGS19	一部：化粧石膏ボード9.5	2500	P						
		206	静養室	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（抗菌）	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁(北)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁(北)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	W	—	—	○	○	〈掲示板1800×900〉、〈壁掛け時計用フック〉、〈室名札(空室在室表示付)〉
										耐火	間仕切壁(東・南)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(東・南)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り					ダブル					ユニットシャワー
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										※天井裏：グラスウール10K7敷込み
		207	食堂	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（抗菌）	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁(東・南・西)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(東・南・西)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	PB9.5+ロックウール吸音板9.0	2500	P	—	○	—	○	—	〈室名サイン、カウンター〉
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										（手洗器）、〈化粧鏡〉
		208	厨房	-270	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0（厨房用・消臭・抗菌	H=400	床仕上げ巻上げ	耐火	間仕切壁：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水PB12.5 化粧ｹｲｶﾙ板6.0 ｼｰﾘﾝｸﾞ目地	耐火	間仕切壁：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水PB12.5 化粧ｹｲｶﾙ板6.0 ｼｰﾘﾝｸﾞ目地	LGS19	耐水PB9.5+化粧ケイカル板6.0 ｼｰﾘﾝｸﾞ目地	2300	P	—	—	—	—	—	〈室名サイン〉、床排水ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ、〈厨房機器〉
					二部ｱ防水2		・防カビ）（溶接工法）			LGS65	間仕切壁：耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0 ｼｰﾘﾝｸﾞ目地	LGS65	間仕切壁：耐水PB12.5 化粧ケイカル板6.0 ｼｰﾘﾝｸﾞ目地										（手洗器）、〈化粧鏡〉
		209	検収室	-10	S	FL±0	防滑性ビニル床シート	H=60	床仕上げ巻上げ	LGS65	間仕切壁(北・東)：強化PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁(北・東)：強化PB12.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	—	—	〈室名サイン〉、〈下足箱〉
							（溶接工法）			耐火	間仕切壁(南・西)：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁(南・西)：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り										（手洗器）、〈化粧鏡〉
		210	食品庫	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（抗菌）	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁(北・西)：強化PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁(北・西)：強化PB12.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2300	P	—	—	—	○	—	〈室名サイン〉
										耐火	間仕切壁(南・西)：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁(南・西)：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り										
										LGS50	外壁側：強化PB12.5 EP塗り	LGS50	外壁側：強化PB12.5 EP塗り										
		211	更衣室	-2	乾式置床	FL+100	パーティクルボード20＋構造用合板12.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	—	—	—	○	—	上框、〈室名サイン〉、〈下足箱、ロッカー〉
							タイルカーペット6.5			LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		212	男子脱衣室	-2	乾式置床	FL+100	パーティクルボード20＋構造用合板12.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 化粧ｹｲｶﾙ6.0	耐火	間仕切壁：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 化粧ｹｲｶﾙ6.0	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	—	—	—	—	○	〈脱衣棚〉、壁掛け時計用フック、〈樹脂すのこ〉、上框、〈室名サイン〉
					二部ｱ防水1		ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）			LGS65	間仕切壁(西)：耐水PB12.5 化粧ｹｲｶﾙ6.0	LGS65	間仕切壁(西)：耐水PB12.5 化粧ｹｲｶﾙ6.0										洗面カウンター、〈化粧鏡〉、ユニットシャワー、天井カーテンレール
																							※天井裏：グラスウール10K7敷込み
		213	女子脱衣室	-2	乾式置床	FL+100	パーティクルボード20＋構造用合板12.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁(東・西)：耐水PB12.5 化粧ｹｲｶﾙ6.0	LGS65	間仕切壁(東・西)：耐水PB12.5 化粧ｹｲｶﾙ6.0	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	—	—	—	○	—	〈脱衣棚〉、壁掛け時計用フック、〈樹脂すのこ〉、上框、〈室名サイン〉
					二部ｱ防水1		ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）			耐火	間仕切壁(南)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水PB12.5 化粧ｹｲｶﾙ6.0	耐火	間仕切壁(南)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水PB12.5 化粧ｹｲｶﾙ6.0										洗面カウンター、〈化粧鏡〉、ユニットシャワー
										遮音壁	間仕切壁(西)：強化PB21+硬質PB9.5+耐水PB12.5 化粧ｹｲｶﾙ6.0	遮音壁	間仕切壁(西)：強化PB21+硬質PB9.5+耐水PB12.5 化粧ｹｲｶﾙ6.0										天井カーテンレール
										LGS50	外壁側：耐水PB12.5 化粧ｹｲｶﾙ6.0	LGS50	外壁側：耐水PB12.5 化粧ｹｲｶﾙ6.0										
		214	男子浴室	-270	RC(床)	FL±0	磁器質無釉100角タイル張り	H=100	陶器質100角タイル	耐火	間仕切壁(北)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水合板12 +防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0	耐火	間仕切壁(北)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水合板12 +防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0	LGS19 (SUS製)	ﾌﾙﾐﾊﾟｽﾊﾞﾈﾙ	2420	A	—	—	○	○	○	〈化粧鏡〉、（シャワー付きカラン）、大型ポリバス
										LGS65 (SUS製)	間仕切壁(東・南)：耐水合板12+防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0	LGS65 (SUS製)	間仕切壁(東・南)：耐水合板12+防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0										排水用樹脂すのこ
										LGS65 (SUS製)	外壁側：耐水合板PB12+防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0	LGS65 (SUS製)	外壁側：耐水合板PB12+防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0										※天井裏：グラスウール10K7敷込み
		215	女子浴室	-270	RC(床)	FL±0	磁器質無釉100角タイル張り	H=100	陶器質100角タイル	LGS65 (SUS製)	ECP面(東)：耐水合板12+防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0	LGS65 (SUS製)	ECP面(東)：耐水合板12+防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0	LGS19 (SUS製)	ﾌﾙﾐﾊﾟｽﾊﾞﾈﾙ	2420	A	—	—	○	○	○	〈化粧鏡〉、（シャワー付きカラン）、大型ポリバス
					ア防水1					耐火	間仕切壁(南)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水合板12 +防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0	耐火	間仕切壁(南)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水合板12 +防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0										排水用樹脂すのこ
										LGS65 (SUS製)	間仕切壁(西)：耐水合板12+防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0	LGS65 (SUS製)	間仕切壁(西)：耐水合板12+防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0										※天井裏：グラスウール10K7敷込み
										LGS65 (SUS製)	外壁側：耐水合板12+防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0	LGS65 (SUS製)	外壁側：耐水合板12+防湿ｼｰﾄ ﾊﾟｽﾊﾞﾈ6.0										
		216	倉庫	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁(北)：PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁(北)：PB12.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	—	—	—	○	—	〈室名札〉
										耐火	間仕切壁(東)：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁(東)：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り										
										LGS50	ECP面(南)：PB12.5 EP塗り	LGS50	ECP面(南)：PB12.5 EP塗り										
										LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り	LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り										
		217	女子洗濯室	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	耐火	間仕切壁(北)：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(北)：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	PB9.5+ロックウール吸音板9.0	2500	P	—	—	—	○	○	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、洗濯流し、（洗濯器パン）、〈室名札〉
							（溶接工法）			遮音壁	間仕切壁(東・南・西)：強化PB21+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	遮音壁	間仕切壁(東・南・西)：強化PB21+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り										※天井裏：グラスウール10K7敷込み
										LGS50	外壁側：耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：耐水PB12.5 不燃クロス貼り										
		218	掃除用具倉庫1	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁(北・東・南)：PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁(北・東・南)：PB12.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	—	—	—	—	—	〈室名札〉
										耐火	間仕切壁(西)：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁(西)：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り										
		219	掃除用具倉庫2	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁(北・西・南)：PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁(北・西・南)：PB12.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	—	—	—	—	—	〈室名札〉
										耐火	間仕切壁(東)：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁(東)：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り										
		220	男子洗面	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	耐火	間仕切壁(北・南・東)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(北・南・東)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	—	—	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、洗濯流し、〈化粧鏡、ピクトサイン〉
							（溶接工法）																洗面カウンター、（洗面カウンター用陶器）
		221	女子洗面	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	遮音壁	間仕切壁(北)：強化PB21+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	遮音壁	間仕切壁(北)：強化PB21+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	—	—	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、洗濯流し、〈化粧鏡、ピクトサイン〉
							（溶接工法）			LGS65	間仕切壁(東)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁(東)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り										洗面カウンター、（洗面カウンター用陶器）
										耐火	間仕切壁(南・西)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(南・西)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り										
		222	男子トイレ	-10	S	FL-10	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	耐火	間仕切壁(北・南)：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(北・南)：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	—	—	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、汚垂石、〈化粧鏡〉、(SK)、〈ピクトサイン〉、モップ掛け
							（溶接工法）			LGS65	間仕切壁(東)：耐水PB12.5+不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁(東)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り										（小便器、洋便器）
		223	女子トイレ	-10	S	FL-10	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	耐火	間仕切壁(北・西)：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(北・西)：強化PB12.5+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	—	—	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、汚垂石、〈化粧鏡〉、(SK)、〈ピクトサイン〉、モップ掛け
							（溶接工法）			遮音壁	間仕切壁(東)：強化PB21+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	遮音壁	間仕切壁(東)：強化PB21+硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り										（洋便器）
										LGS65	間仕切壁(南)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁(南)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り										
		224	男子多目的トイレ	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	耐火	間仕切壁(北・東・西)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(北・東・西)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—		○	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、〈化粧鏡〉、（多目的トイレパック）、〈ピクトサイン〉
							（溶接工法）			LGS65	間仕切壁(南)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁(南)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り										※天井裏：グラスウール10K7敷込み
		225	女子多目的トイレ	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	耐火	間仕切壁(東・西)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(東・西)：強化PB12.5+ 硬質PB9.5+耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—		○	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、〈化粧鏡〉、（多目的トイレパック）、〈ピクトサイン〉
							（溶接工法）			LGS65	間仕切壁(北・南)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁(北・南)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り										※天井裏：グラスウール10K7敷込み
		226	廊下２	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	○	—	〈誘導標識〉
										LGS50	ECP面(北・西)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	ECP面(北・西)：PB12.5 不燃クロス貼り			ー部2800							
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		227	廊下３	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁：強化PB12.5+ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	○	—	〈誘導標識〉
										LGS50	ECP面(北)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	ECP面(北)：PB12.5 不燃クロス貼り			ー部2800							
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										

徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-027	１級建築士事務所 徳島県知事登録第11050号 株式会社 宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL （088）－625－5505（代） 管理建築士 清水 康代 １級333707
	●図面名 内部仕上表２	●縮尺 A1:-/- A3:-/-	

内部仕上表３

階	区分	部屋番号	室名	床 下地ﾚﾍﾞﾙ	床 下地	床 仕上ﾚﾍﾞﾙ	床 仕上げ	幅木 下地	幅木 仕上げ	腰壁 下地	腰壁 仕上げ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	天井高	廻り縁	ｶｰﾃﾝBOX ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞBOX ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ別途	断熱材 床	断熱材 外壁	断熱材 天井	備考 ：（ ）内記載：別途設備工事 〈 〉内記載：別途備品工事
２階	第２三好寮	228	前室(EV)	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS50	ECP面(東)：強化PB12.5 EP塗り	LGS50	ECP面(東)：強化PB12.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	○	—	
										LGS65	間仕切壁(南)：強化PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁(南)：強化PB12.5 EP塗り										
										耐火	間仕切壁(西)：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁(西)：強化PB12.5+硬質PB9.5 EP塗り										
										LGS50	外壁側：強化PB12.5 EP塗り	LGS50	外壁側：強化PB12.5 EP塗り										
		229	EVシャフト	-	-	-	—		—		ECP現し		ECP現し		—	—	—	—	—	—	○	—	〈ピクトサイン〉
		230	厨房トイレ・前室	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	LGS50	ECP面(北)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	ECP面(北)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	○	—	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、〈化粧鏡〉、（洋便器、手洗器）
							(溶接工法)			LGS65	間仕切壁(南・西)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁(南・西)：PB12.5 不燃クロス貼り										〈室名札〉
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		231	2F　階段1	床-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	ECP面(南・西)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	ECP面(南・西)：PB12.5 不燃クロス貼り	鉄骨階段裏	SOP塗り	—	—	—	—	—	○	—	〈階表示サイン〉、床用点字シート、塩ビ製手摺34φ
				階段-40	M		段鼻部：ステンレス製ノンスリップ(ゴム付)		ササラSOP塗り	LGS65	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		232	2F　階段2	床-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	ECP面(北・東・南)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	ECP面(北・東・南)：PB12.5 不燃クロス貼り	鉄骨階段裏	SOP塗り	—	—	—	—	—	○	—	〈階表示サイン〉、床用点字シート、塩ビ製手摺34φ
				階段-40	M		段鼻部：ステンレス製ノンスリップ(ゴム付)		ササラSOP塗り	LGS65	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		233	収納１	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	—	—	—	—	○	※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
		234	収納２	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	—	—	—	○	○	※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		235	収納３	-2	乾式置床	FL+180	パーティクルボード20＋構造用合板12.0	H=105	木製畳寄せ 杉	LGS65	間仕切壁：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	—	—	—	○	○	※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
							ビニル床シート2.0			LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		236	UB	-2	RC(床)	FL±0	コンクリート直均し		—		LGS現し		LGS現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	○	○	※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
		237	トイレ(静養室)	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	LGS65	間仕切壁：耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁：耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	—	—	—	—	○	○	※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
							(溶接工法)																
		238	EPS	-270	RC(床)	FL±0	コンクリート直均し		—		LGS現し、断熱材現し		LGS現し、断熱材現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	○	—	〈室名札〉
		239	PS1	-2	RC(床)	FL-2	コンクリート直均し		—		LGS現し、ボード現し		LGS現し、ボード現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	—	—	〈室名札〉
		240	PS2	-2	RC(床)	FL-2	コンクリート直均し		—		LGS現し、ボード現し		LGS現し、ボード現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	—	—	〈室名札〉
		241	PS3	-2	RC(床)	FL-2	コンクリート直均し		—		LGS現し、ボード現し		LGS現し、ボード現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	—	—	〈室名札〉
		242	PS4	-2	RC(床)	FL-2	コンクリート直均し		—		LGS現し、断熱材現し		LGS現し、断熱材現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	○	—	〈室名札〉
３階	第２三好寮	301-1～11 302-1～7 303-1～22 304-1～8	舎室北01～11 舎室東01～07 舎室南01～22 舎室西01～08	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁：強化PB12.5＋硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁：強化PB12.5＋硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	W ダブル	—	—	○	○	〈クローゼット、室名札、物干し用フック〉 ※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
										LGS65	間仕切壁：PB12.5＋PB9.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁：PB12.5＋PB9.5 不燃クロス貼り										
										LGS50	外壁側：PB12.5＋PB9.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5＋PB9.5 不燃クロス貼り										
		305	倉庫１	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁(東)：強化PB12.5＋硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁(東)：強化PB12.5＋硬質PB9.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	○	—	〈室名札〉
										LGS50	ECP面(南)：EP塗り	LGS50	ECP面(南)：EP塗り										
										LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り	LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り										
		306	倉庫２	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	ECP	ECP面(東)：EP塗り	ECP	ECP面(東)：EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	—	○	〈室名札〉
										耐火	間仕切壁(南)：強化PB12.5＋硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁(南)：強化PB12.5＋硬質PB9.5 EP塗り										※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
										LGS65	間仕切壁(西)：PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁(西)：PB12.5 EP塗り										
		307	男子洗面・トイレ１	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	耐火	間仕切壁：強化PB12.5＋硬質PB9.5＋耐水PB12.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁：強化PB12.5＋硬質PB9.5＋耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	—	○	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、汚垂石、〈化粧鏡〉、（SK）、〈ピクトサイン〉、洗面ｶｳﾝﾀｰ
						FL-10(ﾄｲﾚ)	(溶接工法)																〈洗面カウンター附属器：小便器、洋便器〉、ﾓｯﾌﾟ掛け ※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
		308	男子洗面・トイレ２	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	耐火	間仕切壁：強化PB12.5＋硬質PB9.5＋耐水PB12.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁：強化PB12.5＋硬質PB9.5＋耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	—	○	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、汚垂石、〈化粧鏡〉、（SK）、〈ピクトサイン〉、洗面ｶｳﾝﾀｰ
						FL-10(ﾄｲﾚ)	(溶接工法)																〈洗面カウンター附属器：小便器、洋便器〉、ﾓｯﾌﾟ掛け ※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
		309	掃除具入１	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁(北・西)：PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁(北・西)：PB12.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	—	—	—	—	○	〈室名札〉
										耐火	間仕切壁(東・南)：強化PB12.5＋硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁(東・南)：強化PB12.5＋硬質PB9.5 EP塗り										※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
		310	掃除具入２	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁(北・東)：PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁(北・東)：PB12.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	—	—	—	—	○	〈室名札〉
										耐火	間仕切壁(南・西)：強化PB12.5＋硬質PB9.5 EP塗り	耐火	間仕切壁(南・西)：強化PB12.5＋硬質PB9.5 EP塗り										※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
		311	廊下１	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁：強化PB12.5＋ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁：強化PB12.5＋ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	○	○	〈誘導標識〉
										LGS50	ECP面(東)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	ECP面(東)：PB12.5 不燃クロス貼り			一部2800							※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		312	廊下２	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	耐火	間仕切壁：強化PB12.5＋ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁：強化PB12.5＋ 硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2500	P	—	—	—	○	○	〈誘導標識〉
										LGS50	ECP面(北)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	ECP面(北)：PB12.5 不燃クロス貼り			一部2800							※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		313	EVシャフト	-	-	-	—		—		ECP現し		ECP現し		デッキプレート現し	—	—	—	—	—	○	—	〈ピクトサイン〉
		314	3F　階段1	床 -2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	ECP面(南・西)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	ECP面(南・西)：PB12.5 不燃クロス貼り	鉄骨階段裏	SOP塗り	—	P	—	—	—	○	○	〈階表示サイン〉、床用点字シート、塩ビ製手摺34φ
				階段-40	M		段鼻部： ステンレス製ノンスリップ(ゴム付)	階段部	ササラSOP塗り	LGS65	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
		315	3F　階段2	床 -2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	ECP面(北・南)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	ECP面(北・南)：PB12.5 不燃クロス貼り	鉄骨階段裏	SOP塗り	—	—	—	—	—	○	—	〈階表示サイン〉、床用点字シート、塩ビ製手摺34φ
				階段-40	M		段鼻部： ステンレス製ノンスリップ(ゴム付)	階段部	ササラSOP塗り	耐火	間仕切壁(東・西)：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	耐火	間仕切壁(東・西)：強化PB12.5+硬質PB9.5 不燃クロス貼り	LGS19	一部化粧石膏ボード9.5								
										LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り										
		316	掃除具入３	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS50	ECP面(東)：PB12.5 EP塗り	LGS50	ECP面(東)：PB12.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2400	P	—	—	—	○	○	※天井裏：グラスウール10Ø7敷込み
										LGS65	間仕切壁(南)：PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁(南)：PB12.5 EP塗り										
										LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り	LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り										
		317	EPS	-2	RC(床)	FL-2	コンクリート直均し		—		LGS現し、断熱材現し、ECP現し		LGS現し、断熱材現し、ECP現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	○	—	〈室名札〉
		318	PS1	-2	RC(床)	FL-2	コンクリート直均し		—		LGS現し、ボード現し		LGS現し、ボード現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	—	—	〈室名札〉
		319	PS2	-2	RC(床)	FL-2	コンクリート直均し		—		LGS現し、ボード現し		LGS現し、ボード現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	—	—	〈室名札〉
		320	PS3	-2	RC(床)	FL-2	コンクリート直均し		—		LGS現し、断熱材現し、ECP現し		LGS現し、断熱材現し、ECP現し		デッキプレート表し	—	—	—	—	—	○	—	〈室名札〉

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-028
		●図面名 内部仕上表３	●縮尺 A1:-/- A3:-/-

１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号
株式会社　宮建築設計
徳島市福島１丁目５番６号
TEL　（088）－625－5505（代）
管理建築士　清水　康代　１級333707

内部仕上表４

階	区分	部屋番号	室名	床				幅木		腰壁		壁		天井		廻り縁	ｶｰﾃﾝBOX	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞBOX	断熱材			備考　：　（ ）内記載：別途設備工事 〈 〉内記載：別途備品工事
				下地ﾚﾍﾞﾙ	下地	仕上ﾚﾍﾞﾙ	仕上げ	下地	仕上げ	下地	仕上げ	下地	仕上げ	下地	仕上げ	天井高		ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ共	ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ別途	床	外壁	天井	
ＰＨ階	第２三好寮	401	男子洗濯室	-10	S	FL±0	ビニル床シート2.0（消臭・抗菌）	H=60	床仕上げ巻上げ	LGS65	間仕切壁(西)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	間仕切壁(西)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2200	P	—	—	—	○	○	巾木ｼﾞｮｲﾅｰ、洗濯流し、（洗濯器パン）、〈室名札〉
							（溶接工法）			LGS50	ECP面(西)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	ECP面(西)：耐水PB12.5 不燃クロス貼り									※天井裏：グラスウール100下敷込み
										LGS50	外壁側：耐水PB12.5 不燃クロス貼り	LGS50	外壁側：耐水PB12.5 不燃クロス貼り									
		402	倉庫	-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	間仕切壁(東)：PB12.5 EP塗り	LGS65	間仕切壁(東)：PB12.5 EP塗り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2200	P	—	—	—	○	○	〈室名札〉
										LGS50	ECP面(南)：PB12.5 EP塗り	LGS50	ECP面(南)：PB12.5 EP塗り									※天井裏：グラスウール100下敷込み
										LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り	LGS50	外壁側：PB12.5 EP塗り									
		403	PHF　階段2	床　-2	RC(床)	FL±0	ビニル床シート2.0	H=60	ビニル幅木	LGS65	ECP面(北・東)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	ECP面(北・東)：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS19	化粧石膏ボード9.5	2200	P	—	—	—	○	○	〈階表示サイン〉、床用点字シート、塩ビ製手摺34φ
				階段　-40	M		段鼻部：　ステンレス製ノンスリップ(ゴム付	階段部	サヤラSOP塗り	LGS65	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り	LGS65	外壁側：PB12.5 不燃クロス貼り									※天井裏：グラスウール100下敷込み

（凡例）

■下地レベル、仕上レベル：単位mm

■下地

・RC(床)	コンクリート直押え	・RC	コンクリート	・LGS50	軽量鉄骨壁下地50形	・PB12.5	石こうボード厚12.5
・ア防水1	アスファルト防水＋保護モルタル＋	・M	モルタル	・LGS65	軽量鉄骨壁下地65形	・PB9.5	石こうボード厚9.5
	シンダーコンクリート＋タイル下地モルタル	・S	セルフレベリング	・LGS19	軽量鉄骨天井下地19形	・強化PB12.5	強化石こうボード厚12.5
・ア防水2	アスファルト防水＋保護モルタル＋	・乾式置床	樹脂製束	・鋼製壁	鋼製間柱＋緩衝機構支持金具	・硬質PB9.5	普通硬質石こうボード厚9.5
	シンダーコンクリート＋張物下地モルタル	・乾式置床(遮音)	鋼製束＋シートパネル＋制振材	・耐火	１時間耐火壁（LGS65形）		
				・ECP	押出成形板厚60		

■ボード仕上げ

■廻り縁

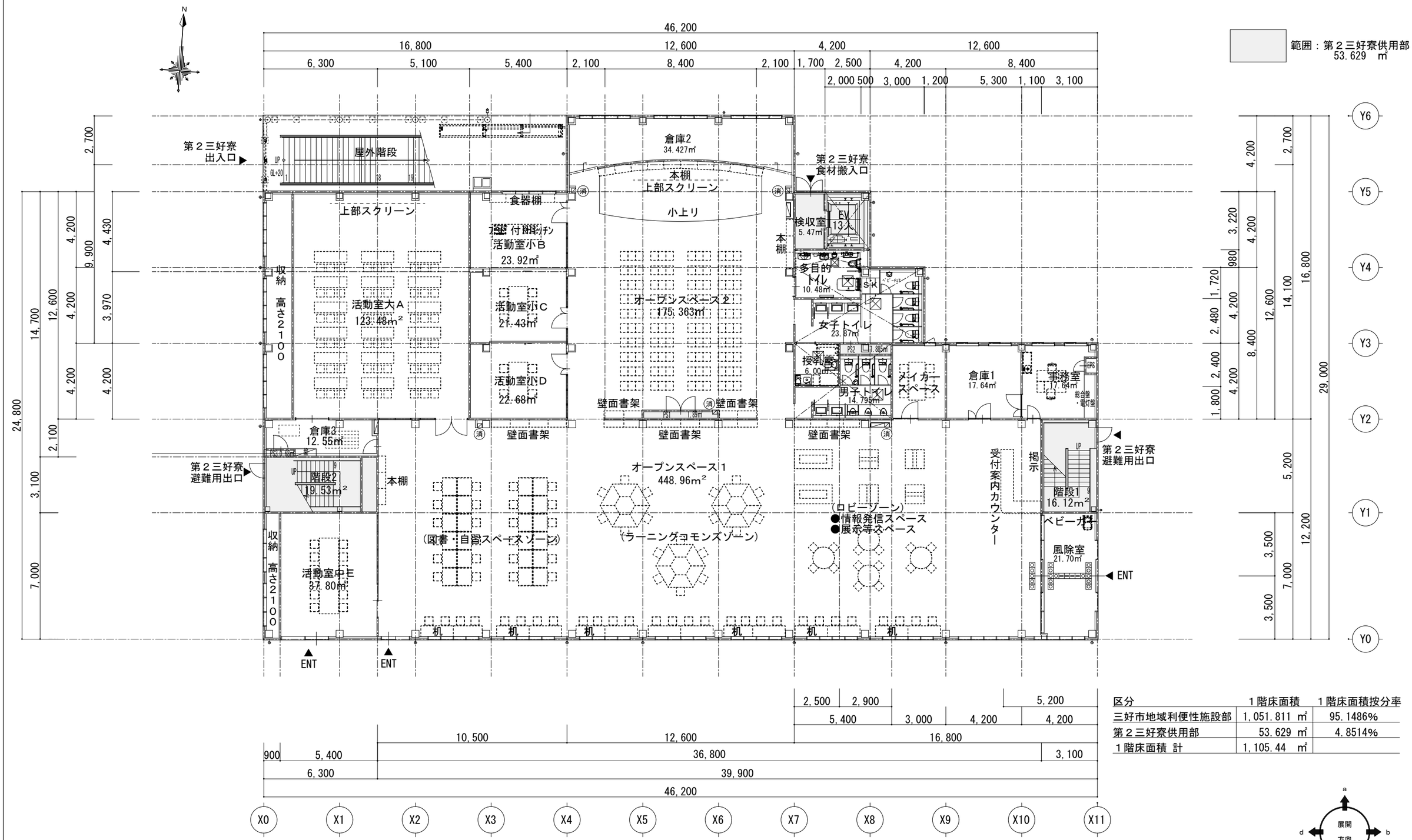
・Ｐ　塩ビ製	・Ｗ　木製
・Ｓ　ステンレス製	・Ａ　アルミ製
・Ａ　アルミ製	
・Ｗ　木製	

■カーテンBOX、ブラインドBOX

■認定番号

・ＧＢ－Ｒ t=12.5（NM-8619）	・ECP(内壁) t=60 縦張り（FP060NP-9070）
・ロックウール吸音板（NM-8599）	・ECP(外壁) t=60 縦張り（FP060NE-9037）
・不燃木調ケイカル板t=18.0（NM-1362）	・ECP(外壁)t=60＋鉄骨柱（FP060CN-0539）
・１時間耐火壁（FP060NP-0448(1)）	・ECP(外壁)t=60＋鉄骨梁（FP060BM-0333）
・現場発泡硬質ウレタンフォーム	・柱耐火被覆 厚25（FP060CN-9460）
不燃処理(NM-3904)	・梁耐火被覆 厚25（FP060BM-9408）
・耐熱塗料（梁：FP060BM-9419）	
・耐熱塗料（柱：FP060CN-9472）	

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設 （仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-029	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　内部仕上表４	●縮尺　A1:-/- A3:-/-	



区分	１階床面積	１階床面積按分率
三好市地域利便性施設部	1,051.811 ㎡	95.1486%
第２三好寮供用部	53.629 ㎡	4.8514%
１階床面積 計	1,105.44 ㎡	

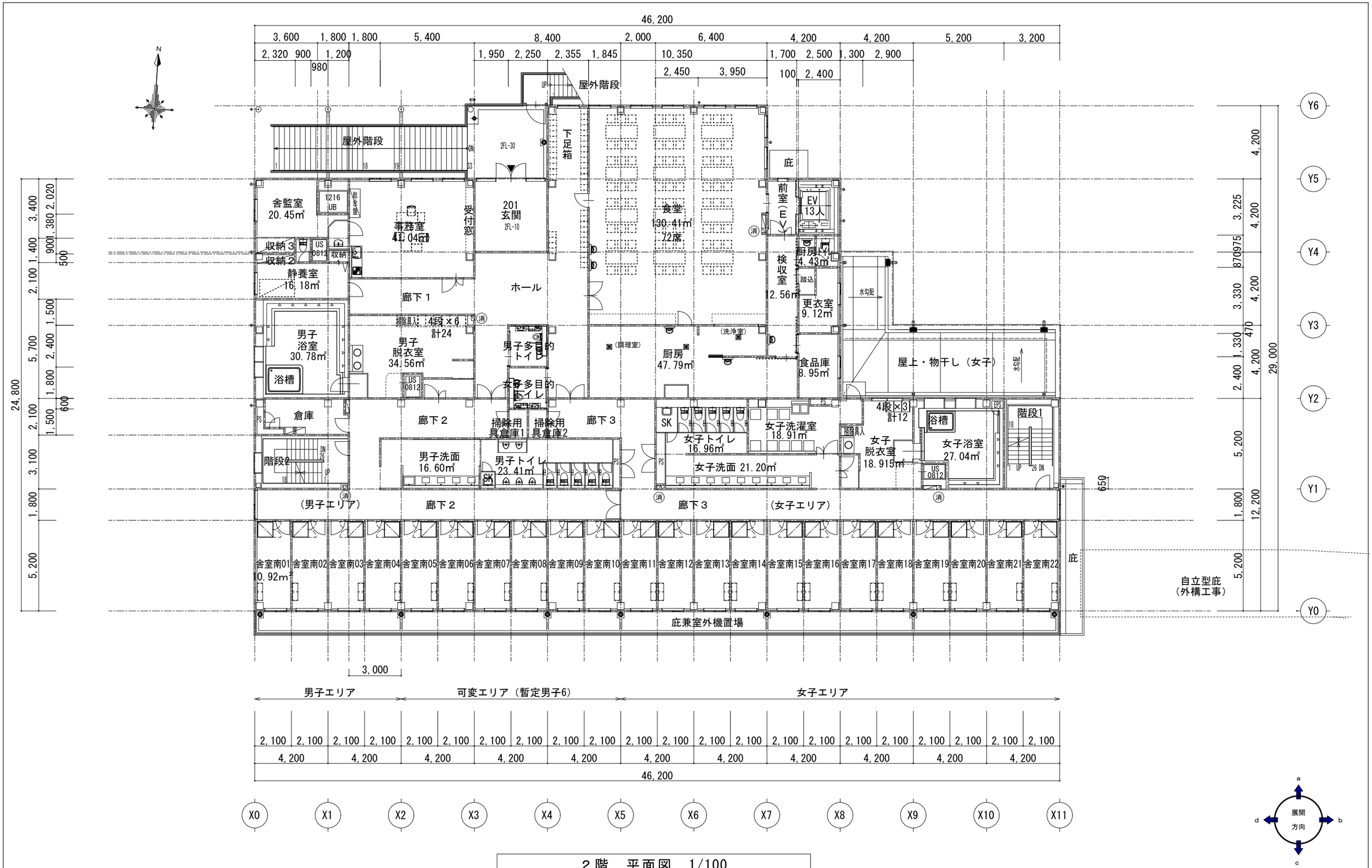
ピット範囲

床下点検口 600×600　床下点検口 450×450

消 消火器ﾎﾞｯｸｽ（粉末10型消火器）

１階　平面図　1/100

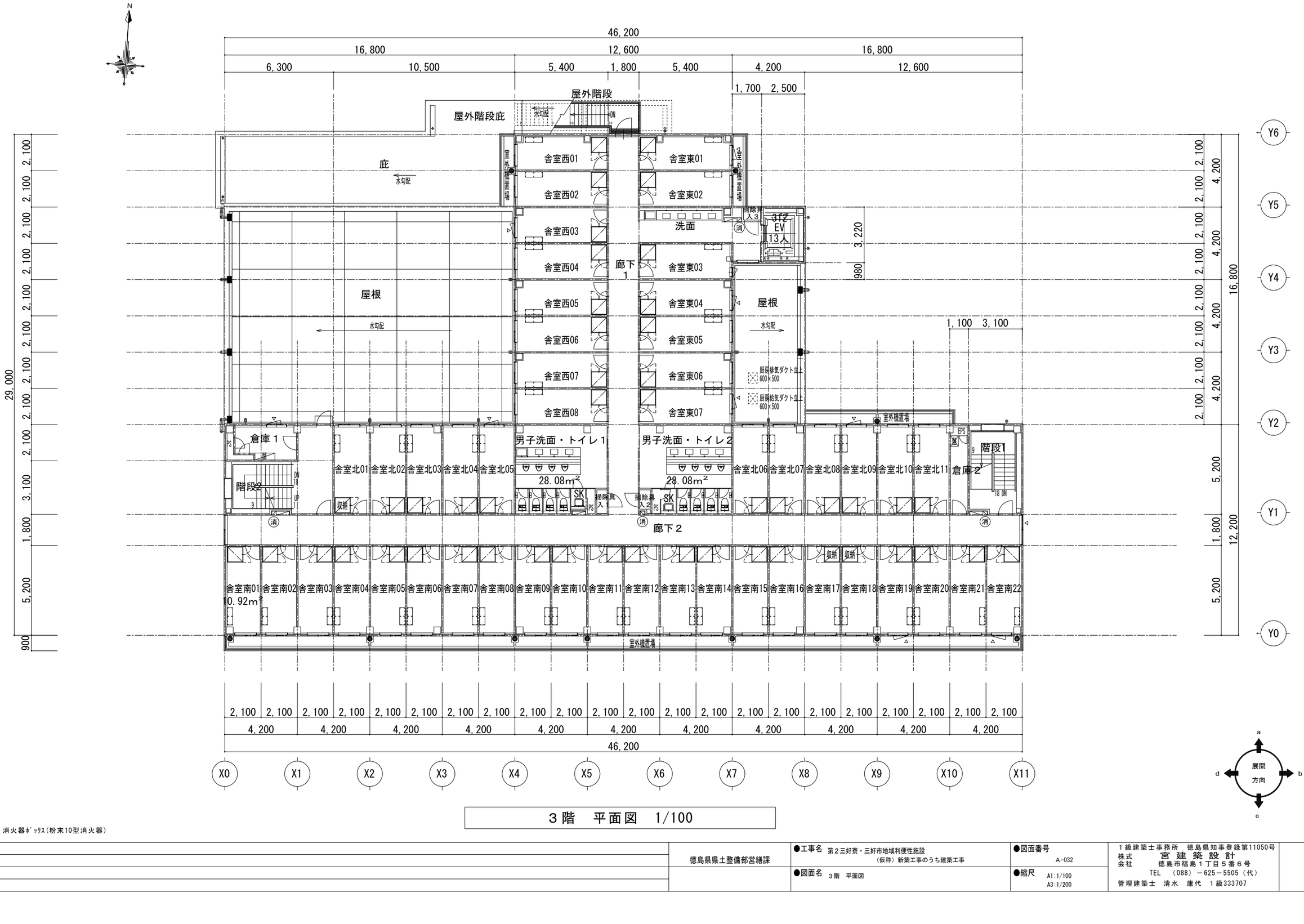
	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-030	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社 宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL （088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 １階　平面図	●縮尺 A1:1/100 A3:1/200	



２階　平面図　1/100

㊍ 消火器ﾎﾞｯｸｽ（粉末10型消火器）

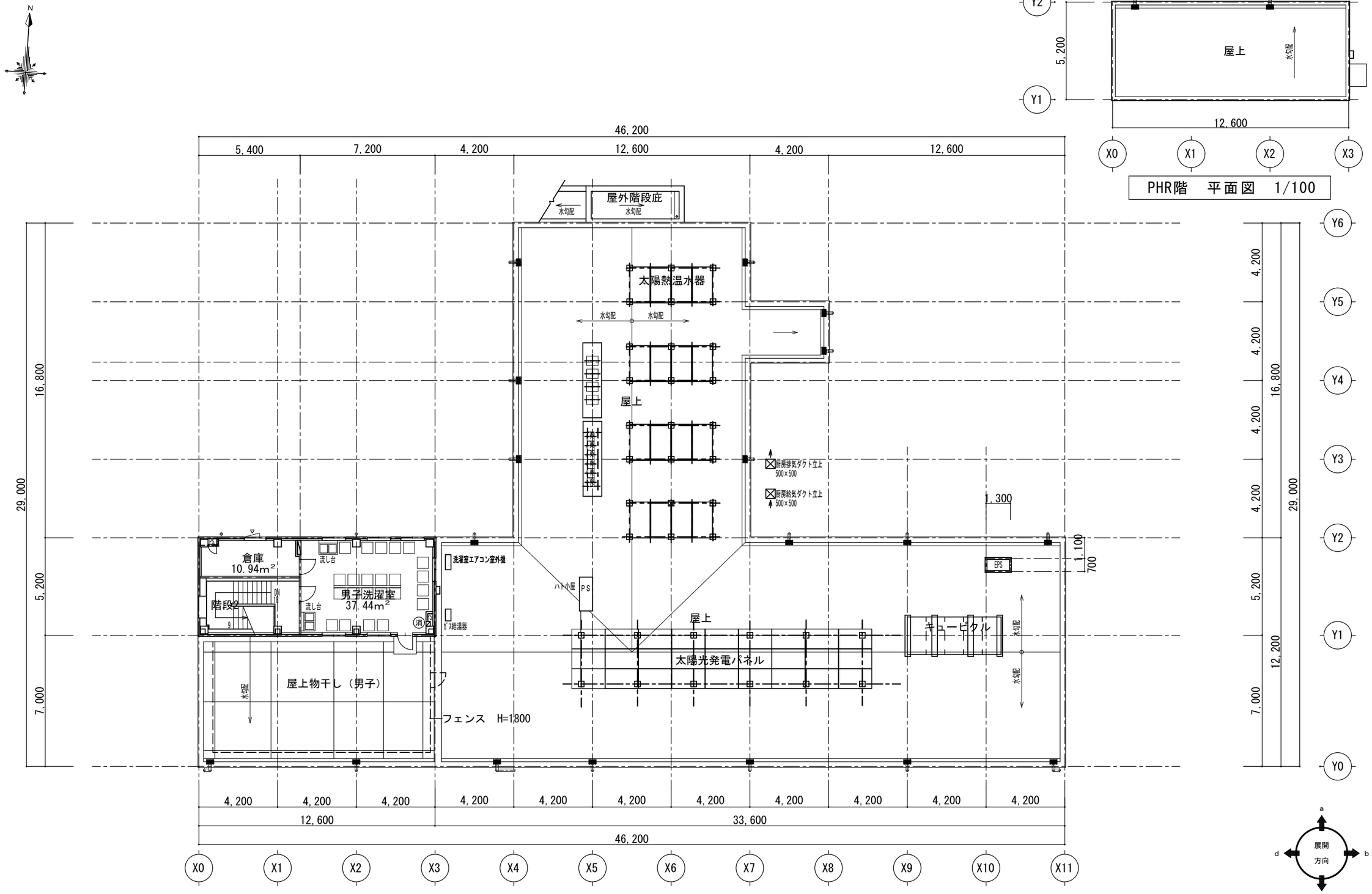
	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-031	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 ２階　平面図	●縮尺 A1:1/100 A3:1/200	



３階　平面図　1/100

消 消火器ﾎﾞｯｸｽ(粉末10型消火器)

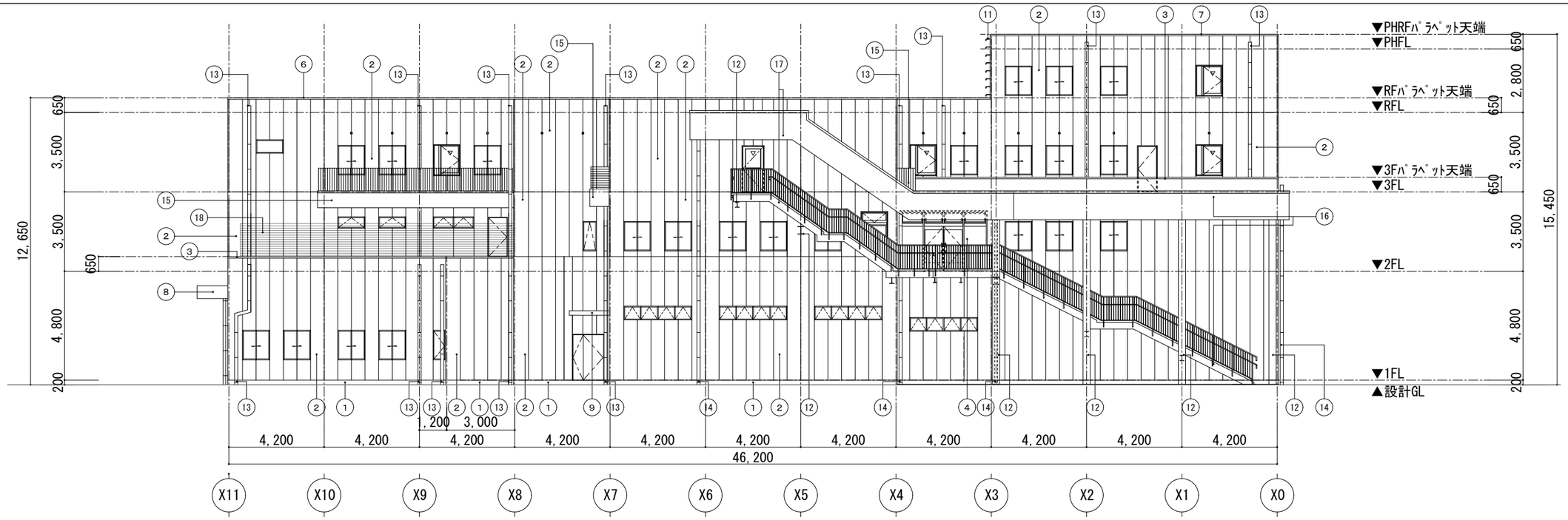
	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-032	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 ３階　平面図	●縮尺 A1:1/100 A3:1/200	



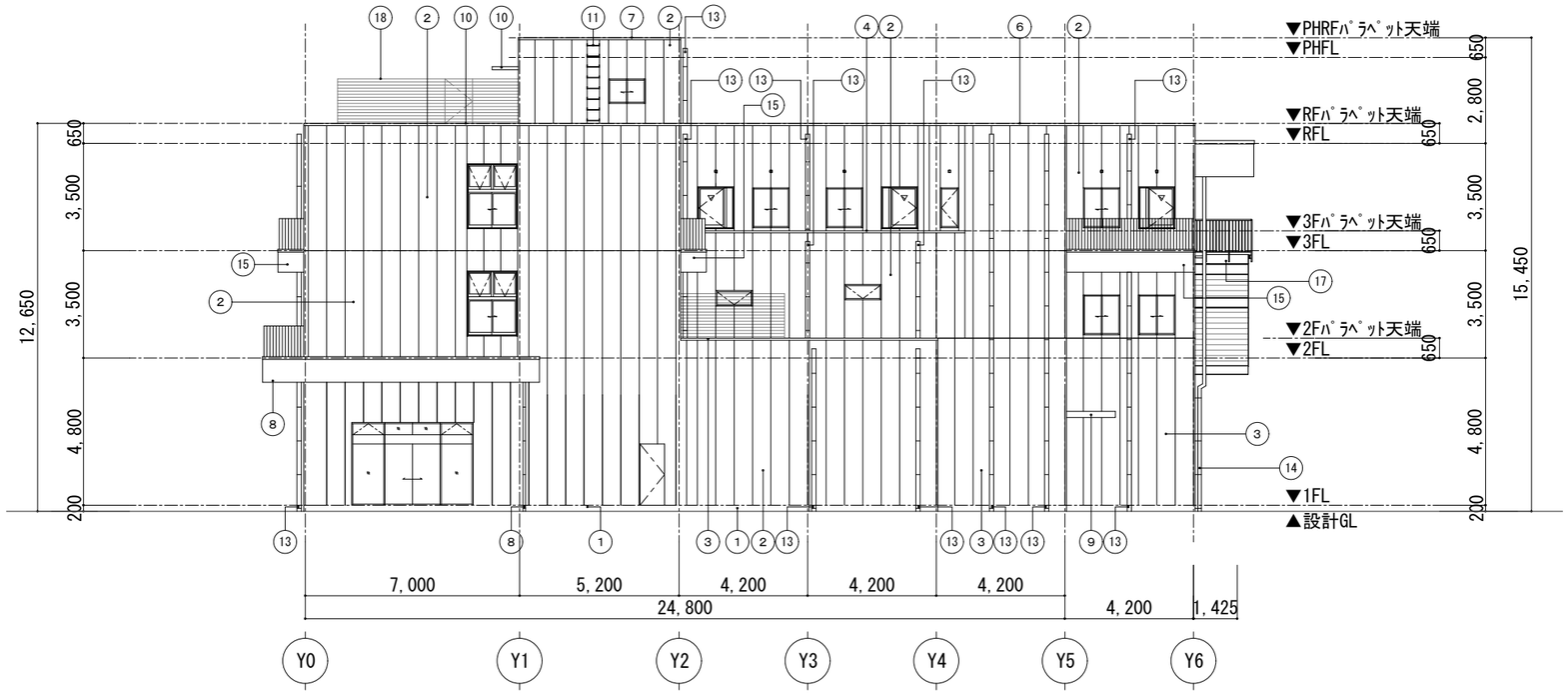
㊍ 消火器ﾎﾞｯｸｽ（粉末10型消火器）

PH階　平面図　1/100

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好察・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-033	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 PH階・PHR階　平面図	●縮尺 A1:1/100 A3:1/200	



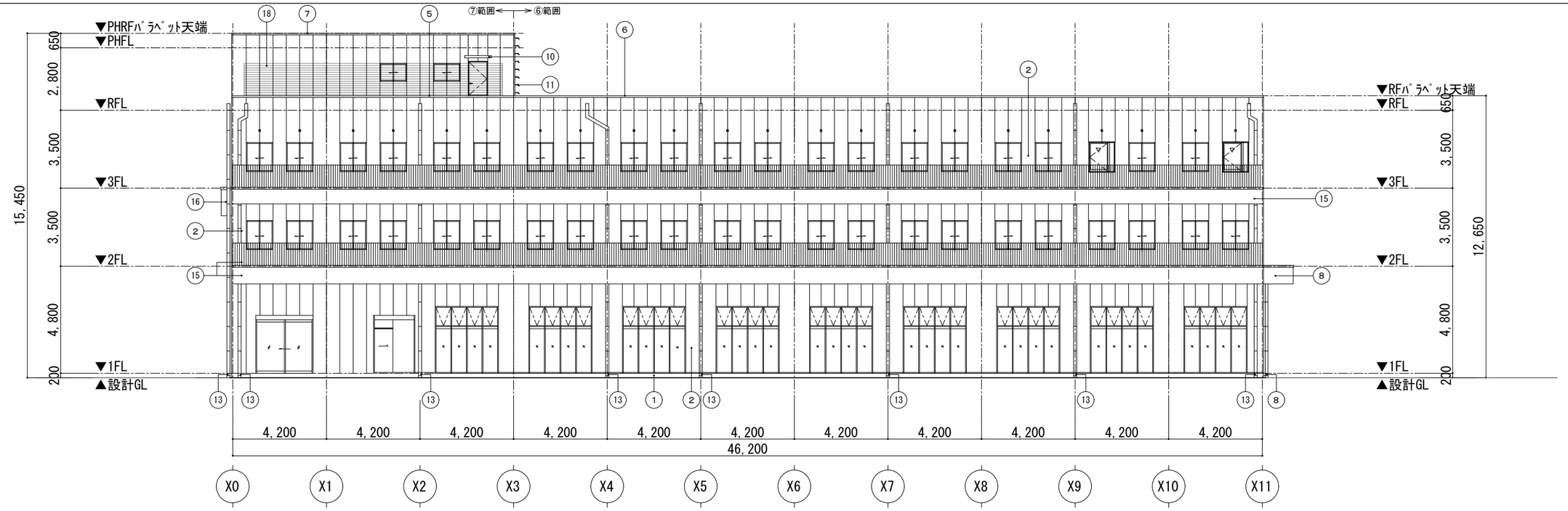
北立面図　1/100



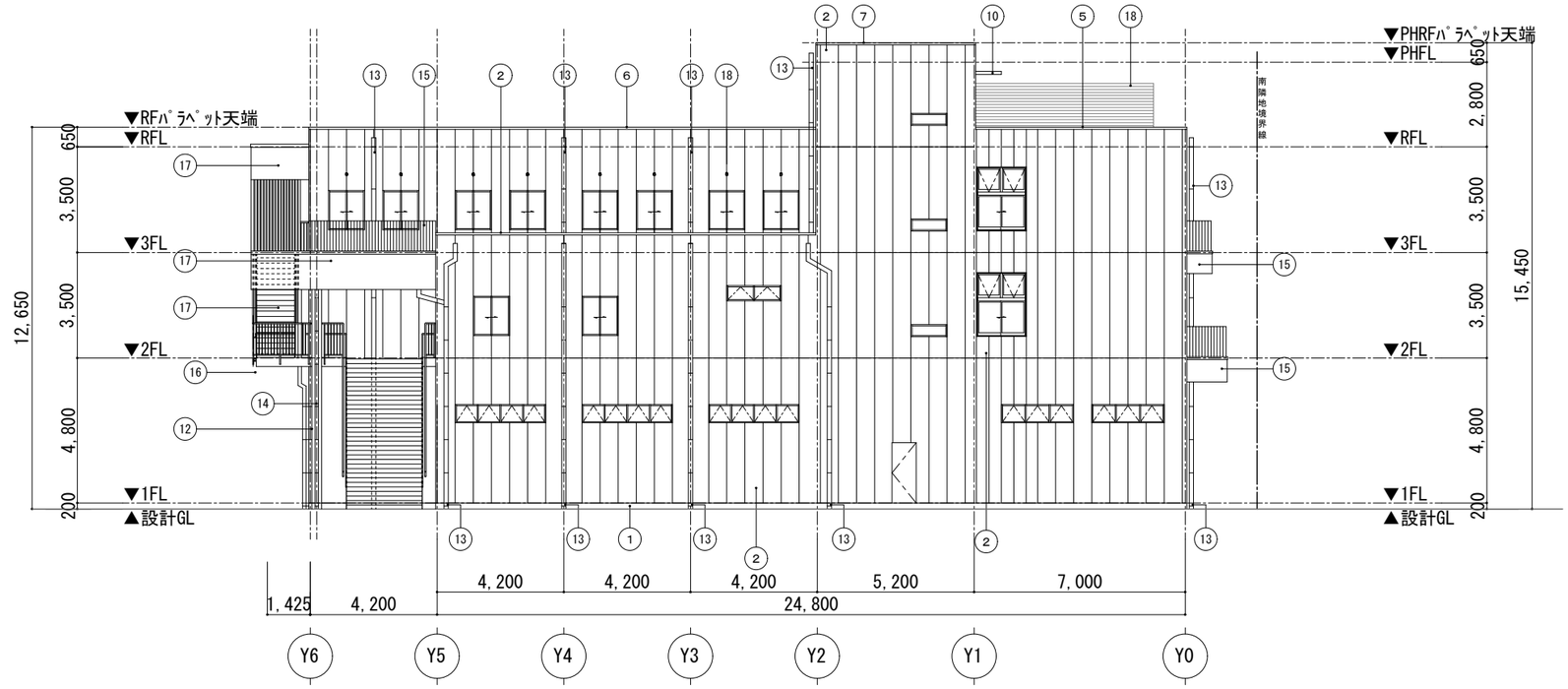
東立面図　1/100

記号	場　所	外　部　仕　上
①	外 巾 木	コンクリート打放シ、誘発目地共
②	外 壁	押出成型セメント版60縦張り　耐候性塗料塗り
③	2階屋根 屋上物干し	床：アスファルト防水(AI-2)、保護コンクリート直均し仕上げ、 伸縮調整目地 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ：アルミ製笠木、立ち上がり乾式保護板15
④	3階屋根 機械置き場	床：アスファルト防水(DI-1)、 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ：アルミ製笠木
⑤	R階屋根 屋上物干し	床：アスファルト防水(AI-2)、保護コンクリート直均し仕上げ、 伸縮調整目地 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ：アルミ製笠木、立ち上がり乾式保護板15
⑥	R階レベル屋根 機械置き場	床：アスファルト防水(DI-1)、 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ：アルミ製笠木
⑦	PH階レベル屋根	床：アスファルト防水(DI-1)、 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ：アルミ製笠木
⑧	三好市施設 玄関庇	天板、幕板：カラーアルミ2.0　、縦樋：ステンレス縦樋80A 軒天：軒天下地(25)　アルミスパンドレル t=1.2
⑨	第２三好寮 庇1	カラーアルミ庇（既製品）　横幅1600×出幅1600 両開戸用
⑩	第２三好寮 庇2	カラーアルミ庇（既製品）　横幅1200×出幅900 片開戸用
⑪	第２三好寮 点検用タラップ	ステンレス製タラップ
⑫	第２三好寮 外部柱梁	耐火塗料
⑬	竪　樋　1	カラー硬質塩ビ製縦樋　125φ SUS製　掴み金物@1,100
⑭	竪　樋　2	カラー硬質塩ビ製縦樋　100φ SUS製　掴み金物@1,100
⑮	三好市施設 第２三好寮 庇	床：　防水モルタル下地　塗膜防水(X-2) 目隠し手すり：笠木付アルミ製格子 H=1045 幕板：カラーアルミ　t=2.0 軒天：軽天下地（25）アルミスパンドレルt=1.2
⑯	第２三好寮 １～２階 屋 外 階 段	階段本体・手摺：スチール手摺 亜鉛めっき処理仕上げ 階段床：モルタル下地　100角磁器質タイル貼り 軒天：軽天下地（25）アルミスパンドレルt=1.2 屋根：　溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板折板葺き H=88　ポリエステル樹脂塗料　t=0.6m
⑰	第２三好寮 ２～３階 屋 外 階 段	階段本体・手摺：スチール手摺 亜鉛めっき処理仕上げ 階段床：モルタル下地　100角磁器質タイル貼り 軒天：軽天下地（25）アルミスパンドレルt=1.2 屋根：　溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板折板葺き H=88　ポリエステル樹脂塗料　t=0.6m
⑱	第２三好寮 目隠しパネル	嵌合式　t=0.6　ハゼ折り加工　ポリエステル樹脂系塗装仕上

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名　第２三好寮・三好市地域利便性施設 （仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号　A-034	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名　立面図１	●縮尺　A1:1/100 A3:1/200	



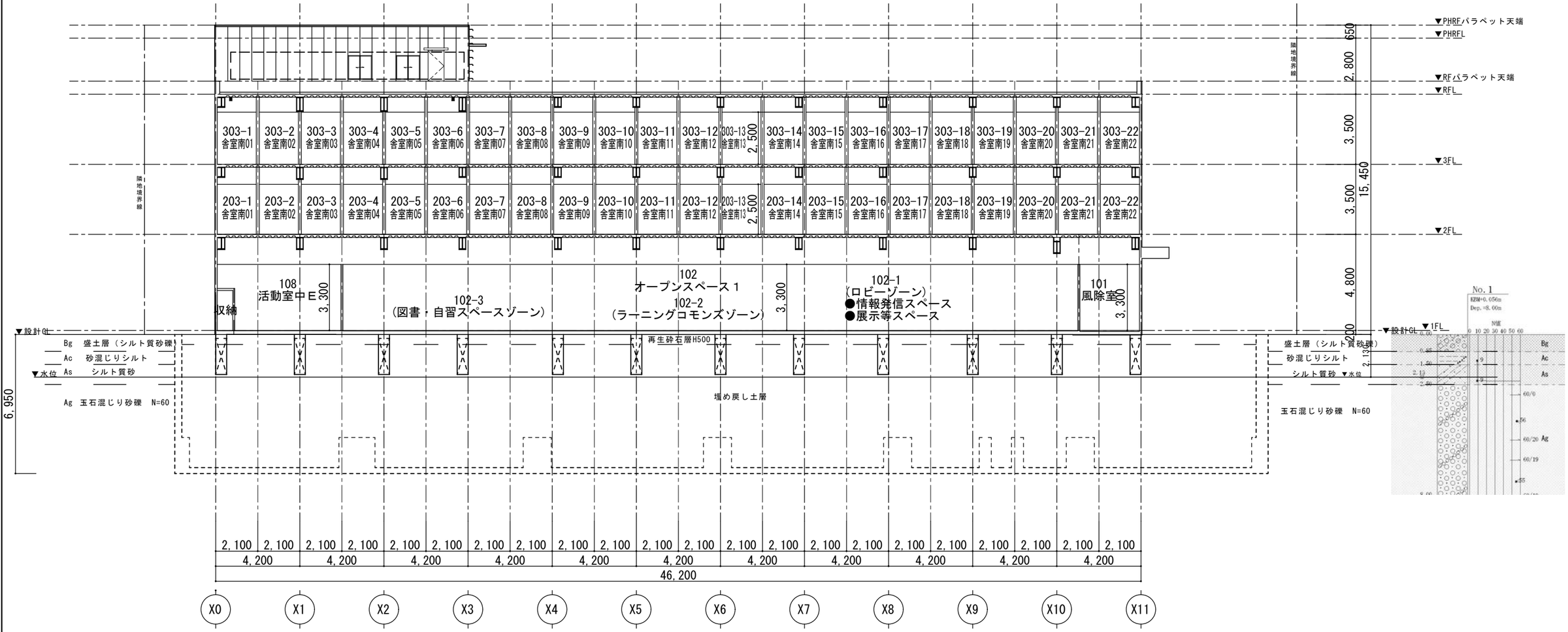
南立面図　1/100



西立面図　1/100

記号	場所	外部仕上
①	外巾木	コンクリート打放シ、誘発目地共
②	外壁	押出成型セメント版60縦張り　耐候性塗料塗り
③	2階屋根 屋上物干し	床：アスファルト防水(AI-2)、保護コンクリート直均し仕上げ、伸縮調整目地 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ：アルミ製笠木、立ち上がり乾式保護板I5
④	3階屋根 機械置き場	床：アスファルト防水(DI-1)、 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ：アルミ製笠木
⑤	R階屋根 屋上物干し	床：アスファルト防水(AI-2)、保護コンクリート直均し仕上げ、伸縮調整目地 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ：アルミ製笠木、立ち上がり乾式保護板I5
⑥	R階レベル屋根 機械置き場	床：アスファルト防水(DI-1)、 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ：アルミ製笠木
⑦	PH階レベル屋根	床：アスファルト防水(DI-1)、 ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ：アルミ製笠木
⑧	三好市施設 玄関庇	天板、幕板：カラーアルミ2.0　、縦樋：ステンレス縦樋80A 軒天：軒天下地(25)　アルミスパンドレル t=1.2
⑨	第２三好寮 庇1	カラーアルミ庇（既製品）　横幅1600×出幅1600 両開戸用
⑩	第２三好寮 庇2	カラーアルミ庇（既製品）　横幅1200×出幅900 片開戸用
⑪	第２三好寮 点検用タラップ	ステンレス製タラップ
⑫	第２三好寮 外部柱	耐火塗料
⑬	竪樋 1	カラー硬質塩ビ製縦樋　125φ SUS製　掴み金物@1,100
⑭	竪樋 2	カラー硬質塩ビ製縦樋　100φ SUS製　掴み金物@1,100
⑮	三好市施設 第２三好寮 庇	床：　防水モルタル下地　塗膜防水(X-2) 目隠し手すり：笠木付アルミ製格子 H=1045 幕板：カラーアルミ　t=2.0 軒天：軽天下地（25）アルミスパンドレルt=1.2
⑯	第２三好寮 １～２階 屋外階段	階段本体・手摺：スチール手摺 亜鉛めっき処理仕上げ 階段床：モルタル下地　100角磁器質タイル貼り 軒天：軽天下地（25）アルミスパンドレルt=1.2
⑰	第２三好寮 ２～３階 屋外階段	階段本体・手摺：スチール手摺 亜鉛めっき処理仕上げ 階段床：モルタル下地　100角磁器質タイル貼り 軒天：軽天下地（25）アルミスパンドレルt=1.2
⑱	第２三好寮 目隠しパネル	嵌合式　t=0.6　ハゼ折り加工　ポリエステル樹脂系塗装仕上

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-035	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 立面図２	●縮尺 A1:1/100 A3:1/200	



--------線部：既存地中障害を示す

Ａ－Ａ断面図　1/100

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-036	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 断面図１	●縮尺 A1:1/100 A3:1/200	

【隣地最短部採光補正係数】

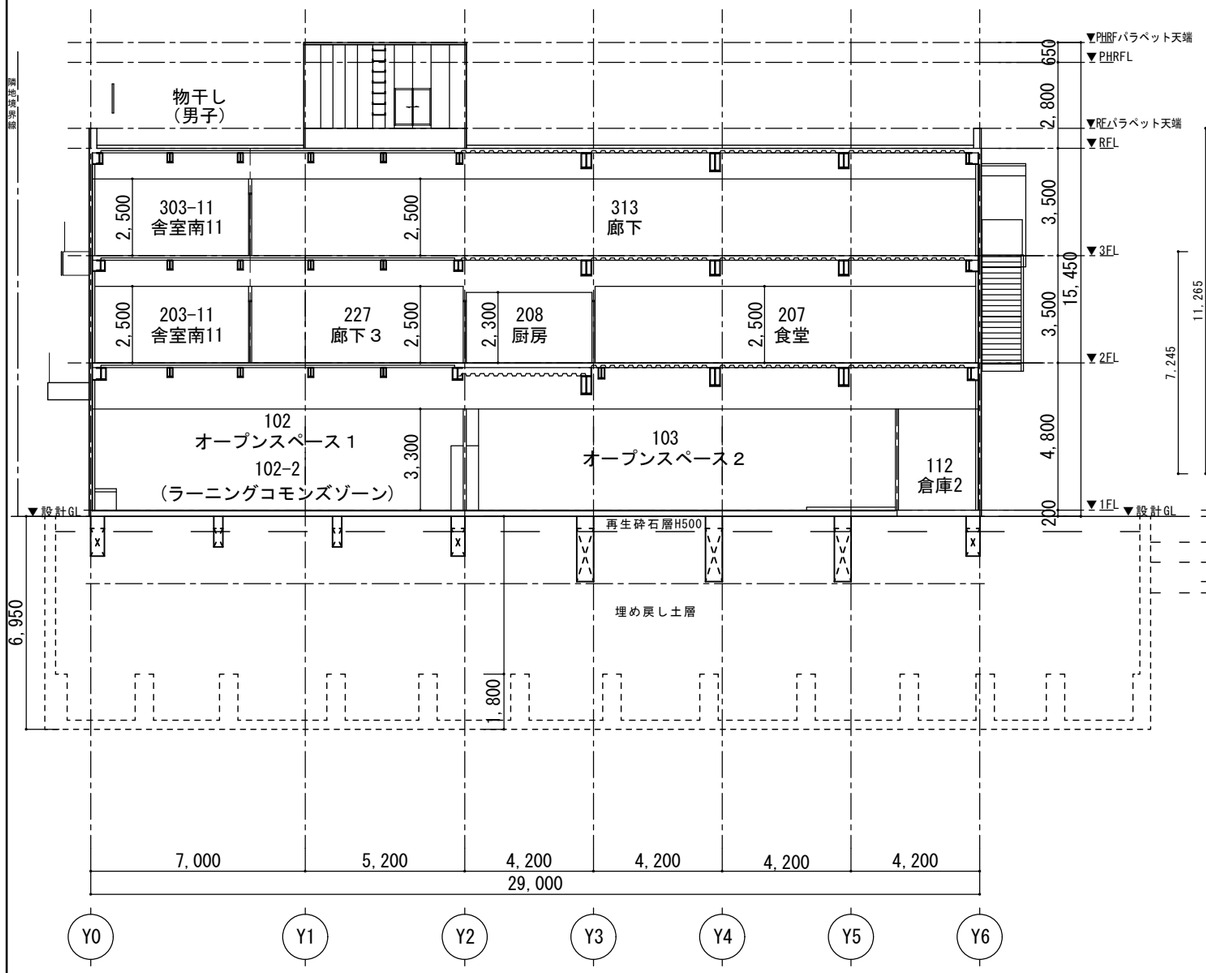
3階舎室南面窓：採光補正係数＝ $\frac{2.28}{2.8}\times10-1=7.14$

$\frac{2.28}{6.3}=0.361<\frac{1.43}{2.28}=0.627$

2階舎室南面窓：有効採光係数＝ $\frac{2.28}{6.3}\times10-1=2.61$

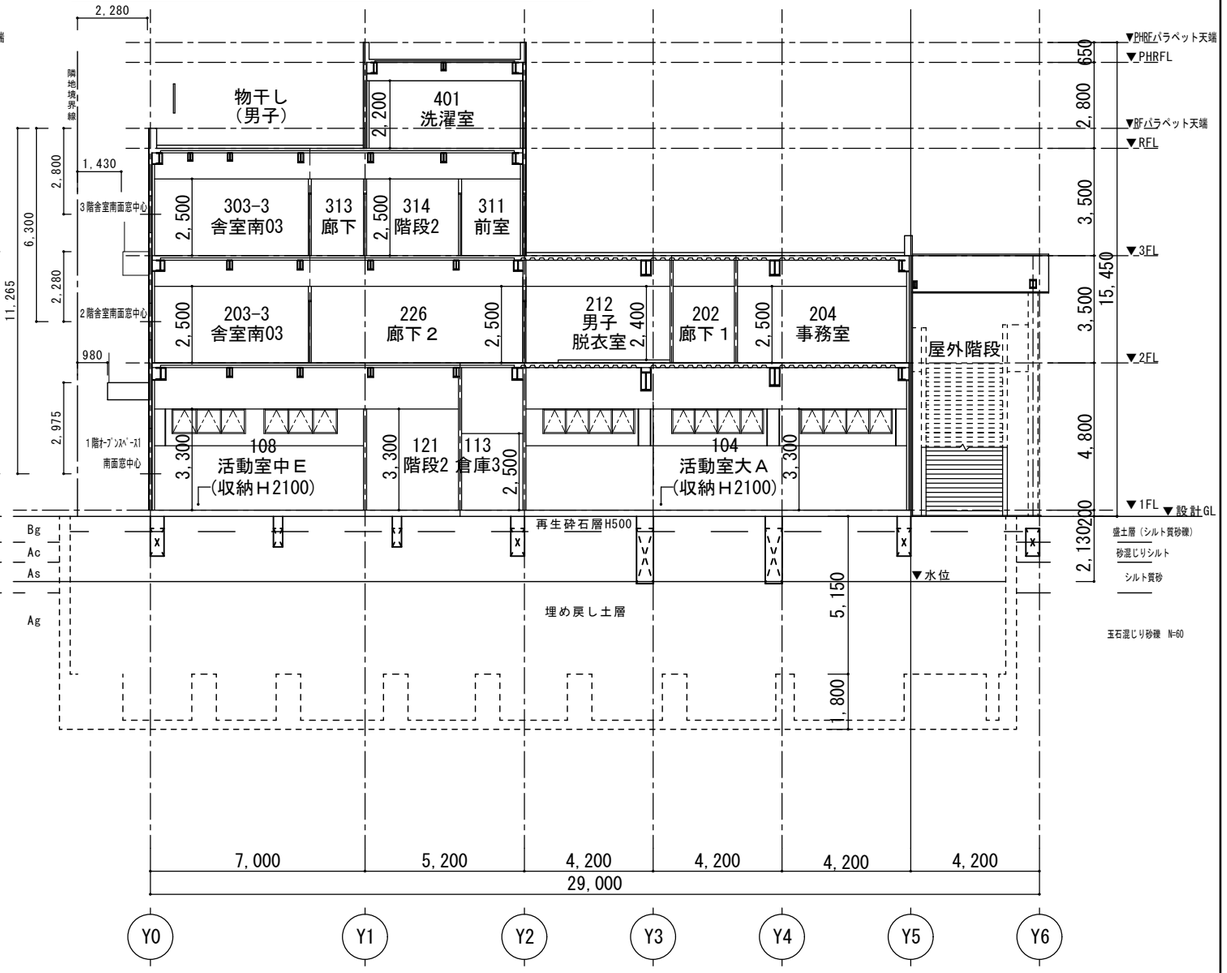
$\frac{2.28}{11.265}=0.202>\frac{1.43}{7.245}=0.197<\frac{0.98}{2.975}=0.329$

1階オープンスペース1南面窓：有効採光係数＝ $\frac{1.43}{7.245}\times10-1=0.97$



--------線部：既存地中障害を示す

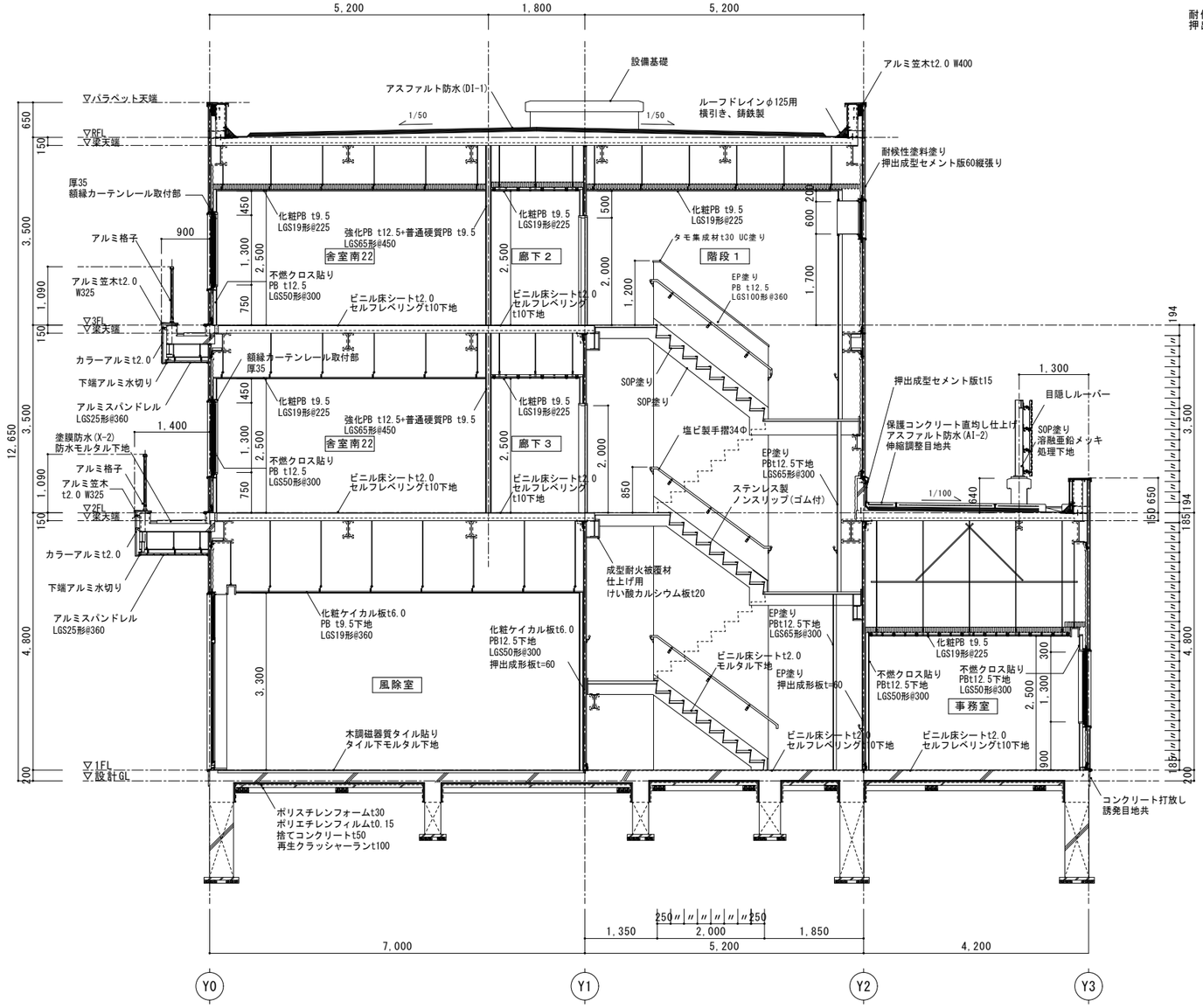
B—B断面図　1/100

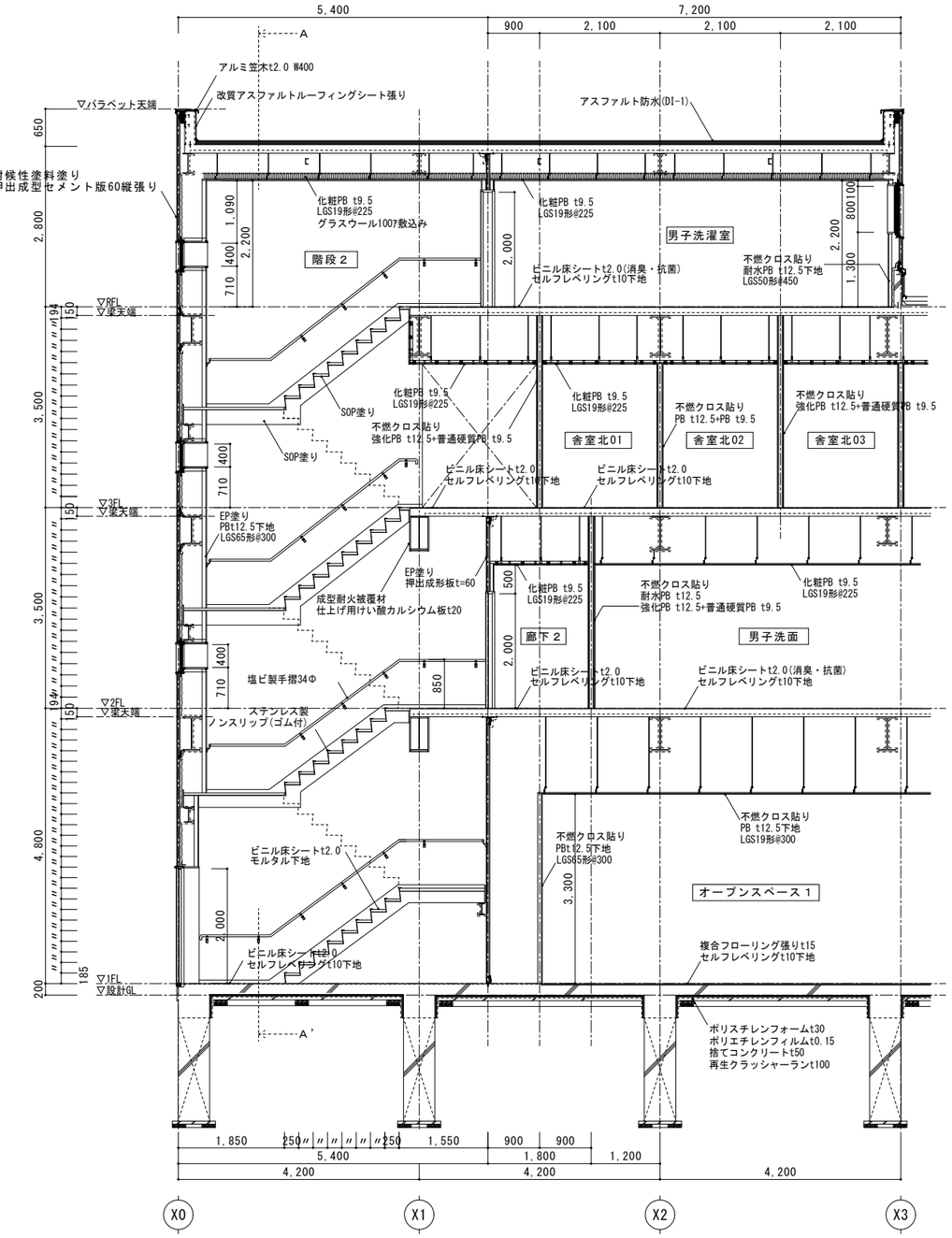


--------線部：既存地中障害を示す

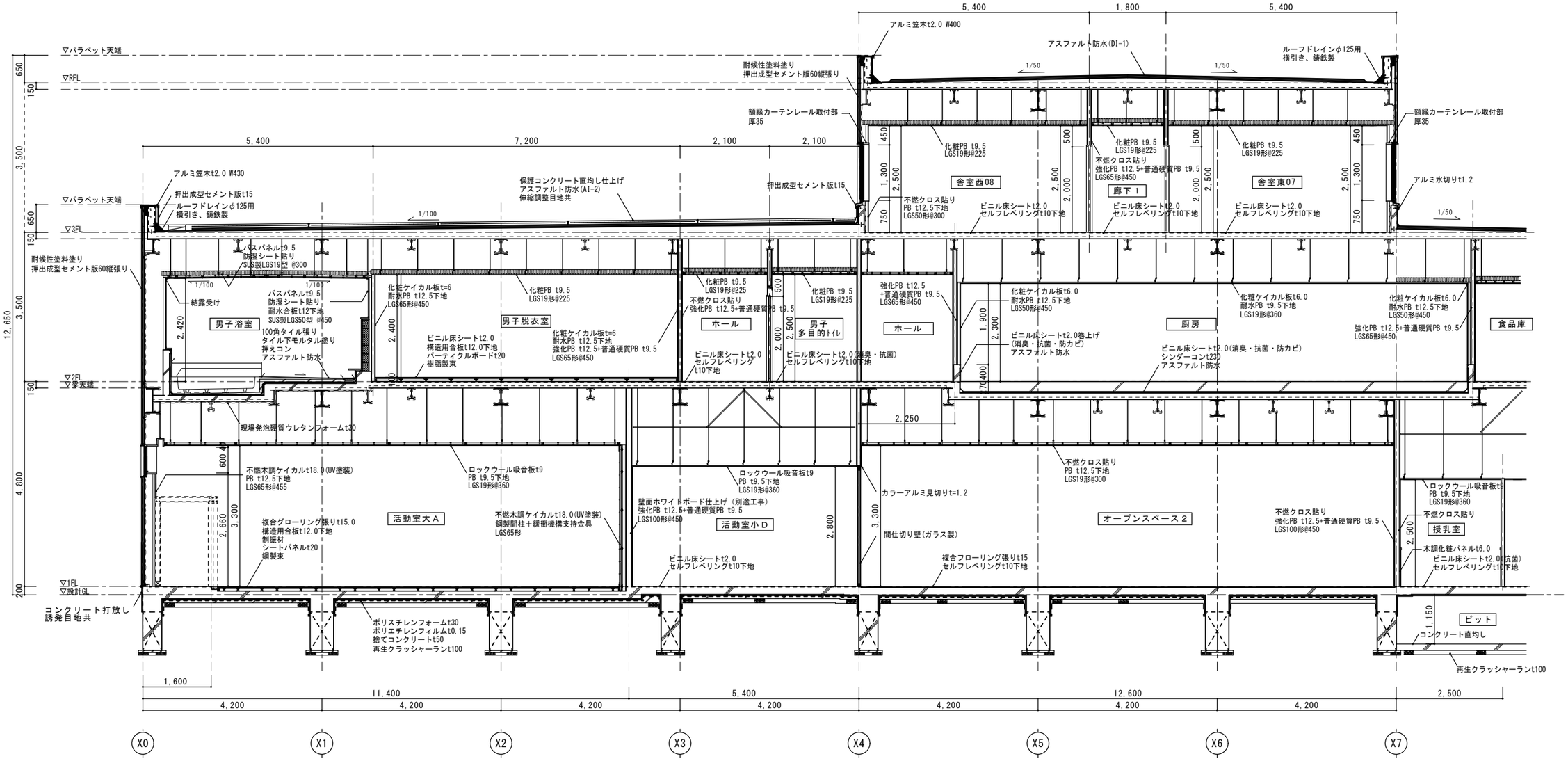
C—C断面図　1/100

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-037	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088)－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 断面図２	●縮尺 A1:1/100 A3:1/200	

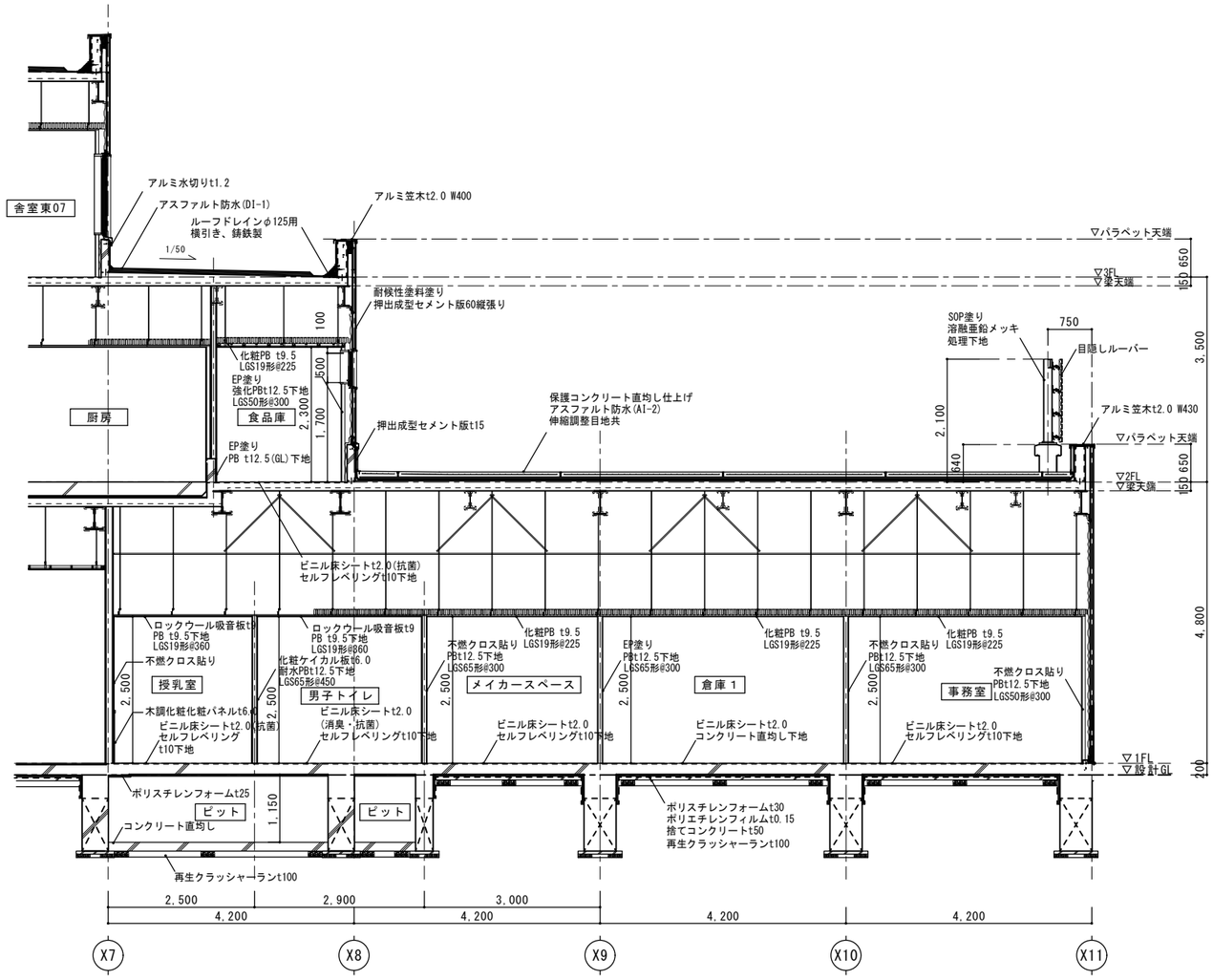


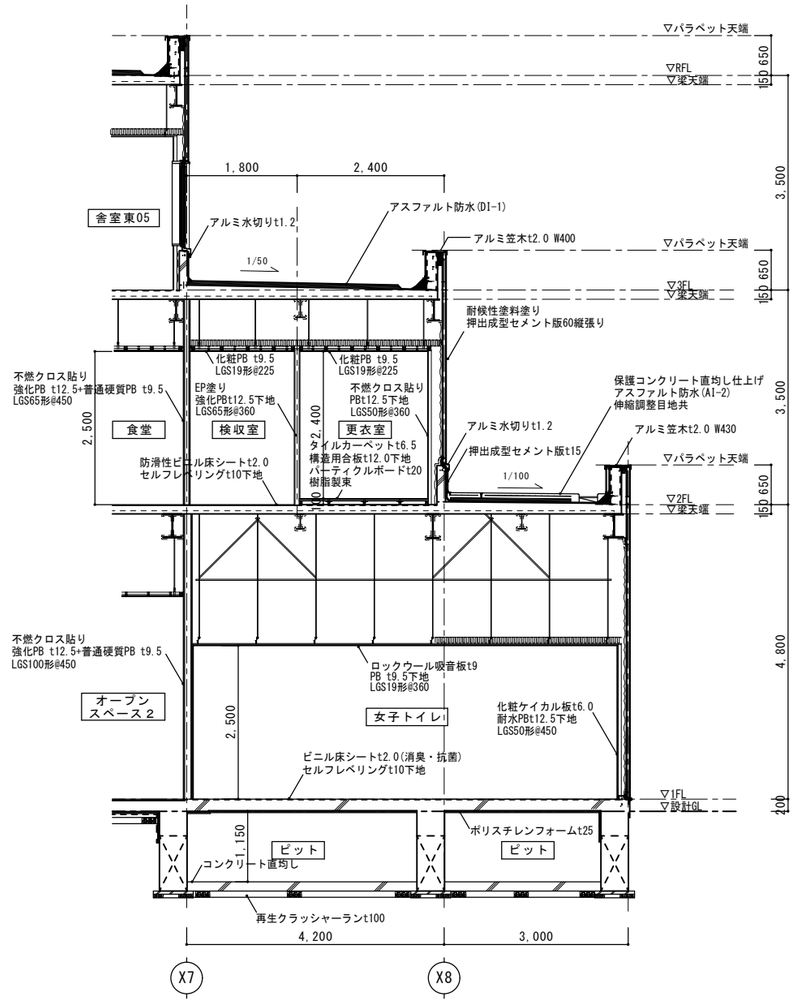


	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好察・三好市地域利便性施設（仮称） 新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-038	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 断面詳細図１	●縮尺 A1:1/50 A3:1/100	

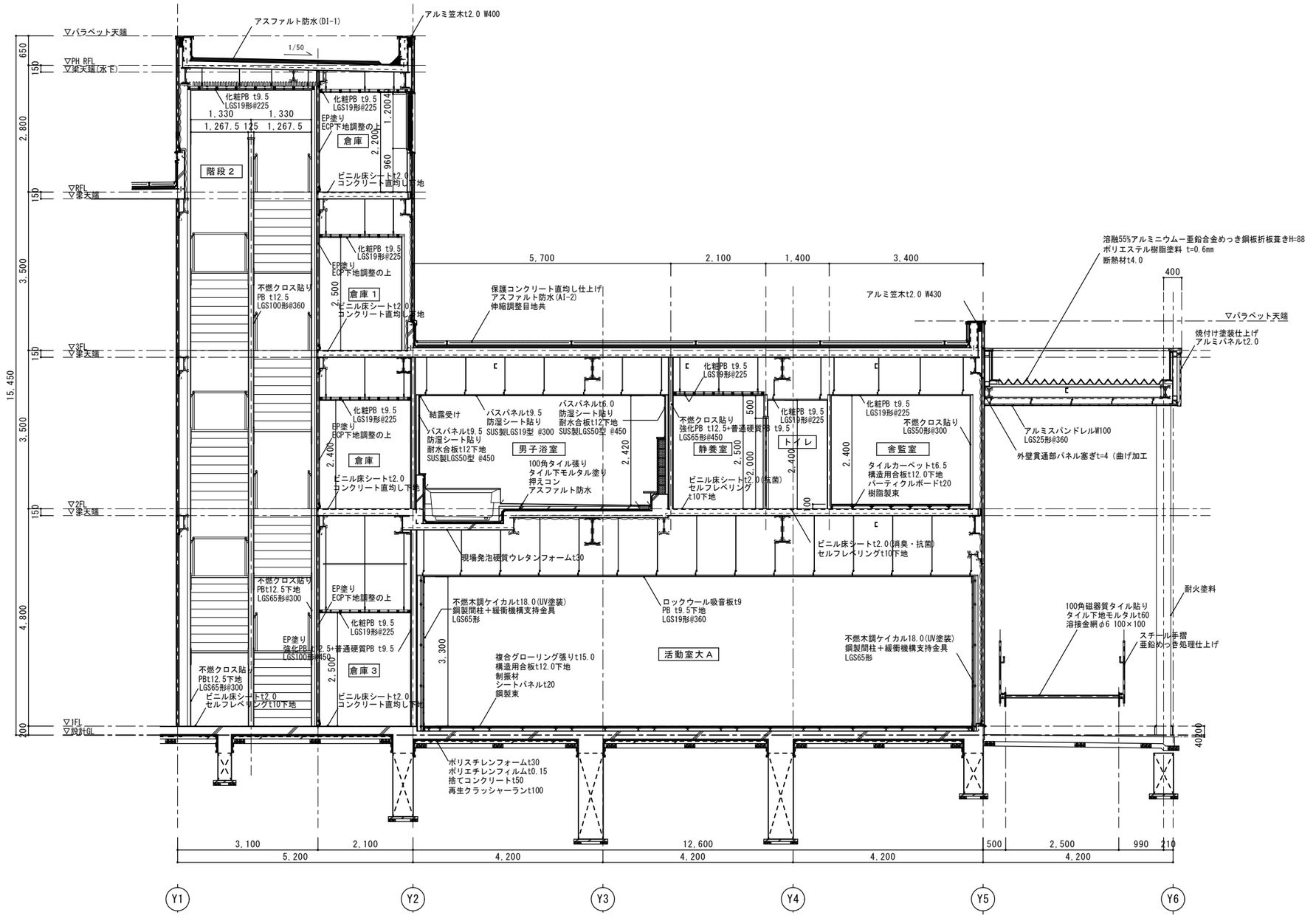


	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設 （仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-039	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 断面詳細図２	●縮尺 A1:1/50 A3:1/100	



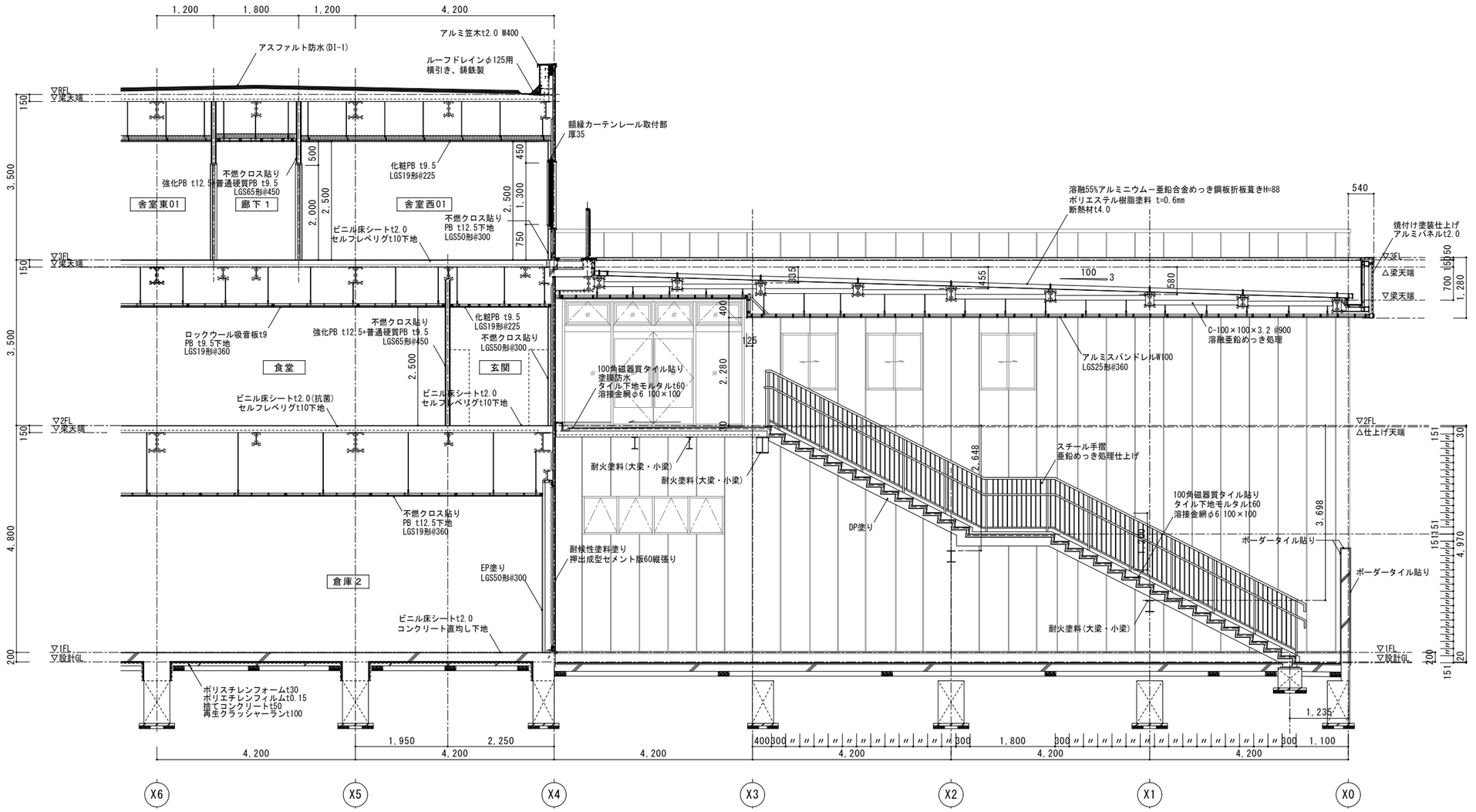


	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設 （仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-040	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 断面詳細図３	●縮尺 A1:1/50 A3:1/100	

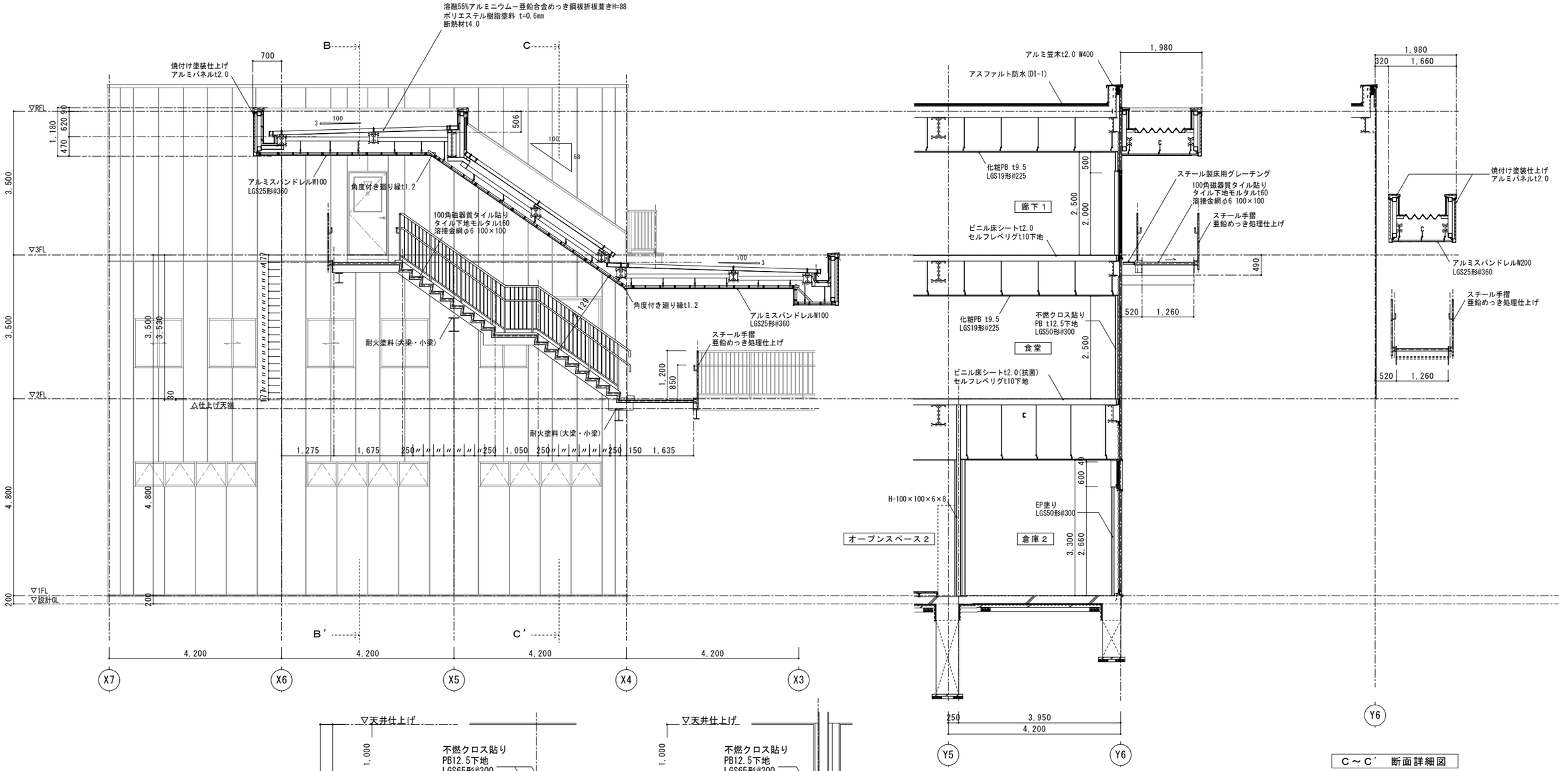


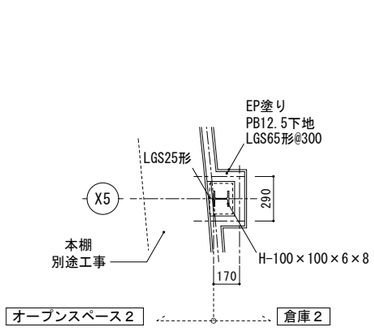
Ａ～Ａ’　断面詳細図

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-041	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 断面詳細図４	●縮尺 A1:1/50 A3:1/100	

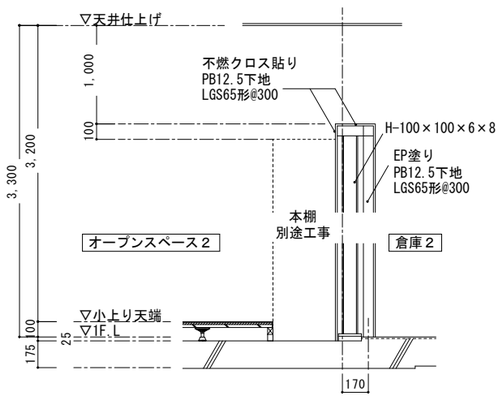


	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-042	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088)－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 断面詳細図５	●縮尺 A1:1/50 A3:1/100	

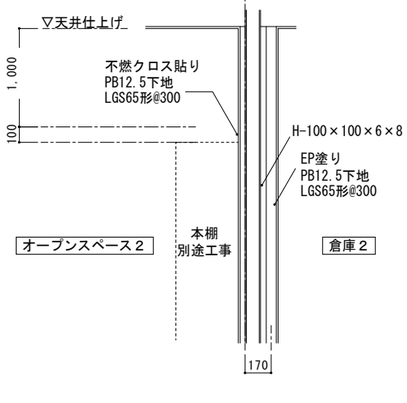




間柱平面図 S=1/20



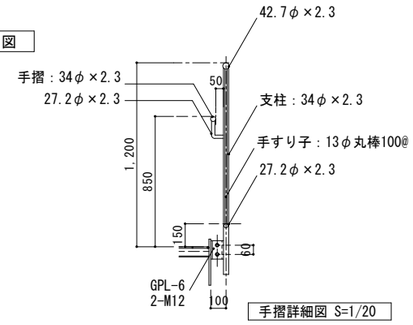
壁開口断面詳細図 S=1/20



間柱断面詳細図 S=1/20

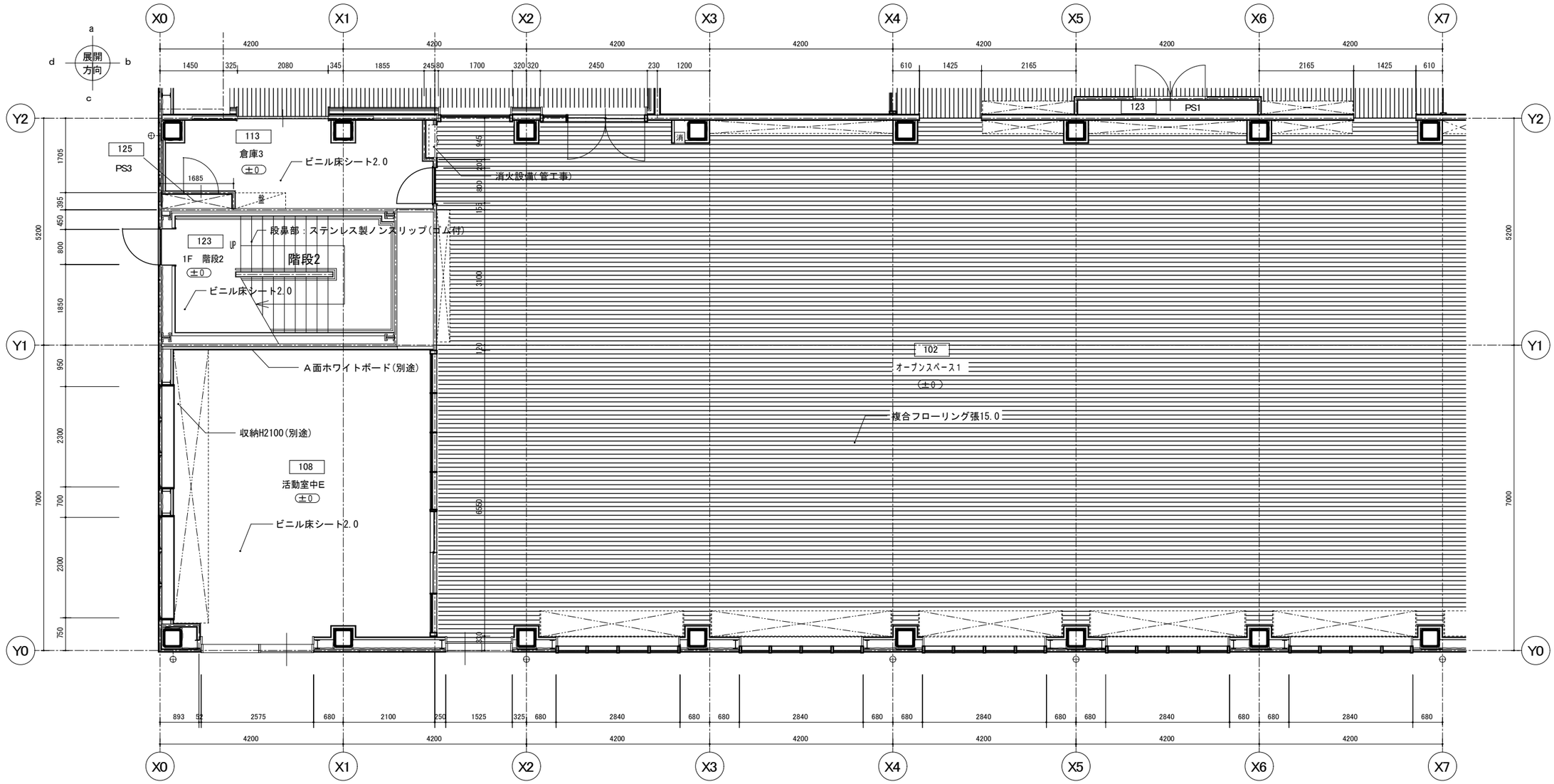
B～B' 断面詳細図

C～C' 断面詳細図



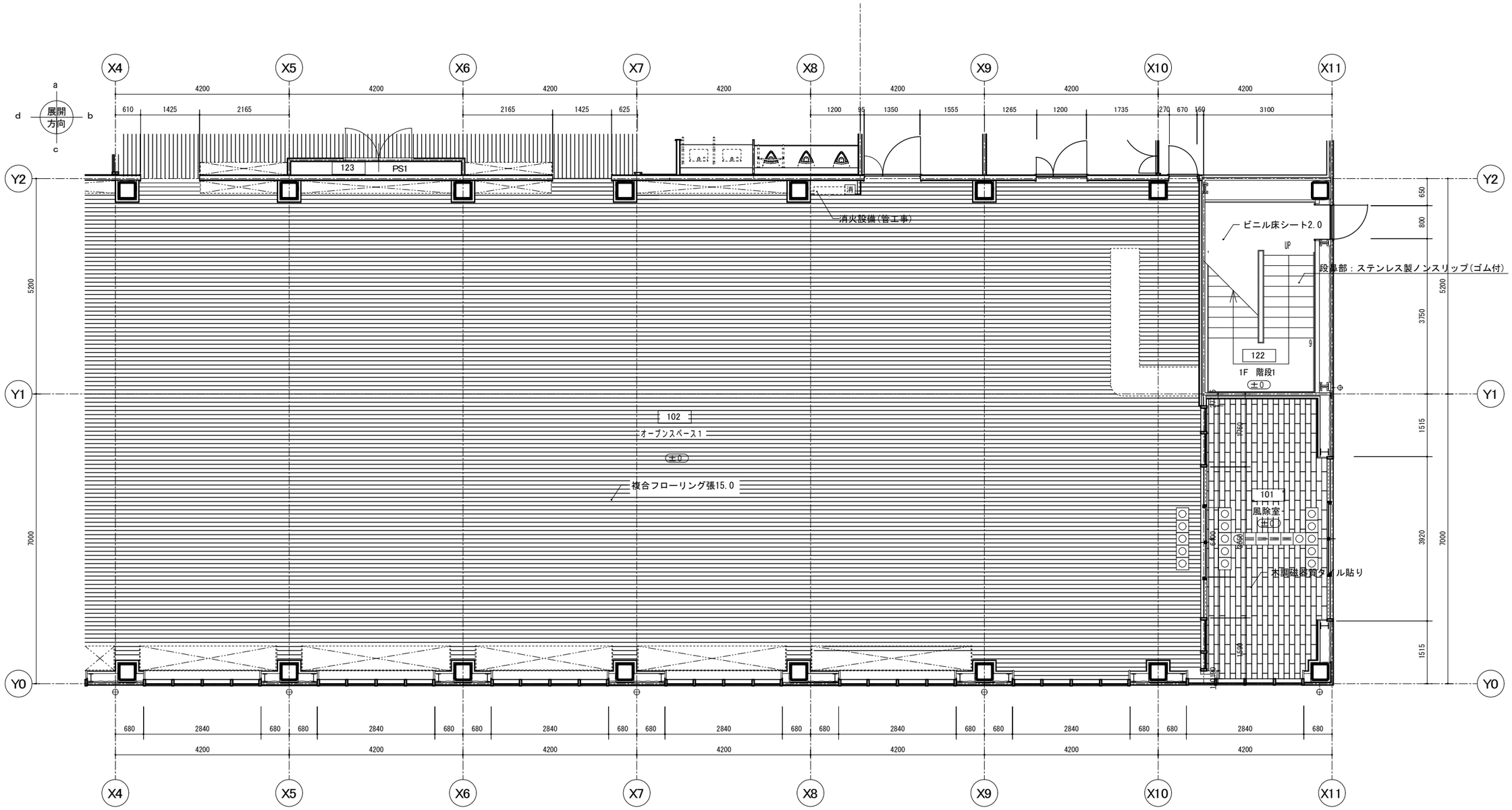
手摺詳細図 S=1/20

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-043	１級建築士事務所 徳島県知事登録第11050号 株式会社 宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL （088）－625－5505（代） 管理建築士 清水 康代 １級333707
		●図面名 断面詳細図６	●縮尺 A1:1/20,1/50 A3:1/40,1/100	



1階　平面詳細図１　1/50

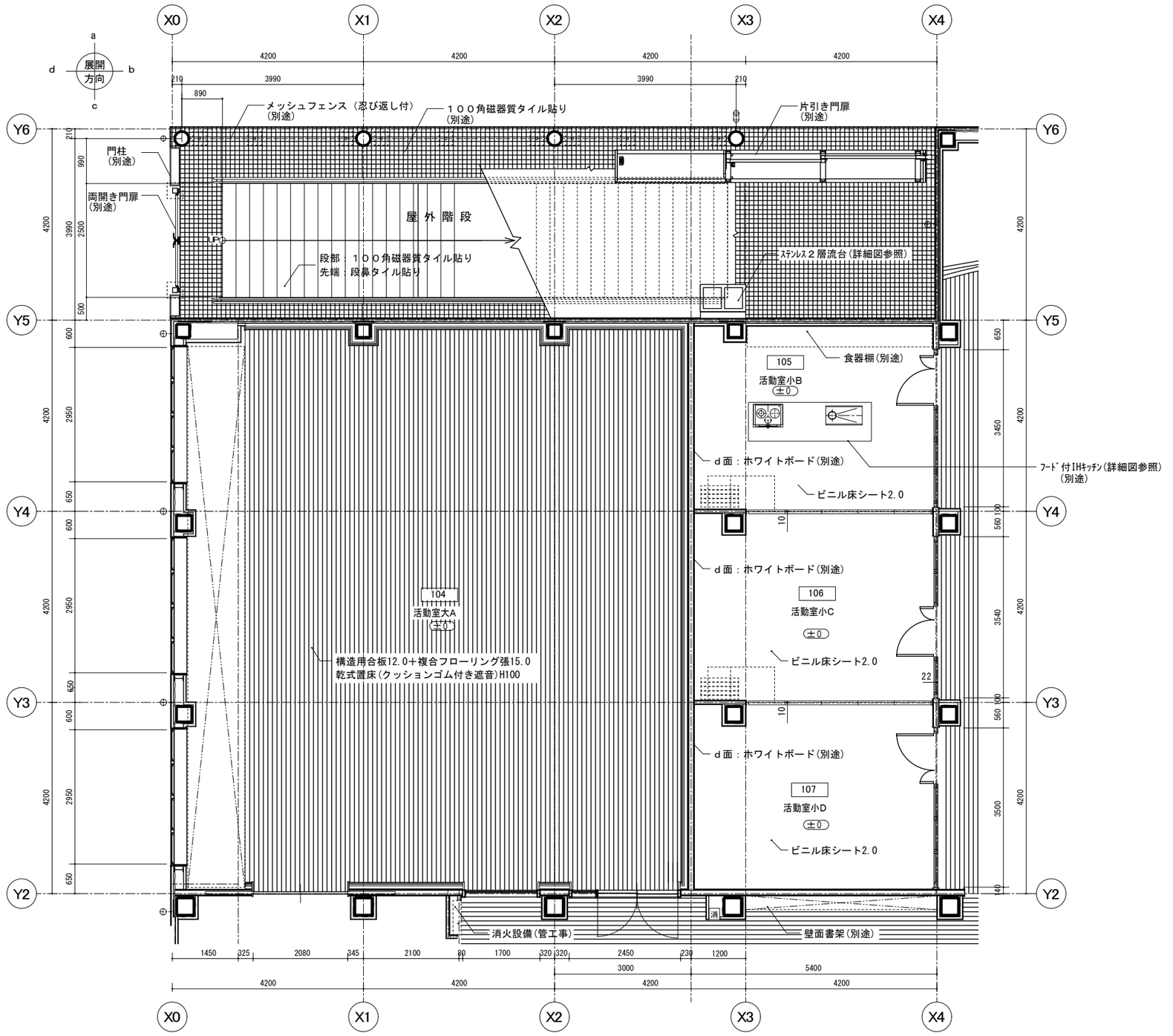
	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-044	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社 宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL （088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 １階　平面詳細図１	●縮尺 A1:1/50 A3:1/25	



1階　平面詳細図２　1/50

消 ：スチール製消火器BOX(ABC10型消火器共)

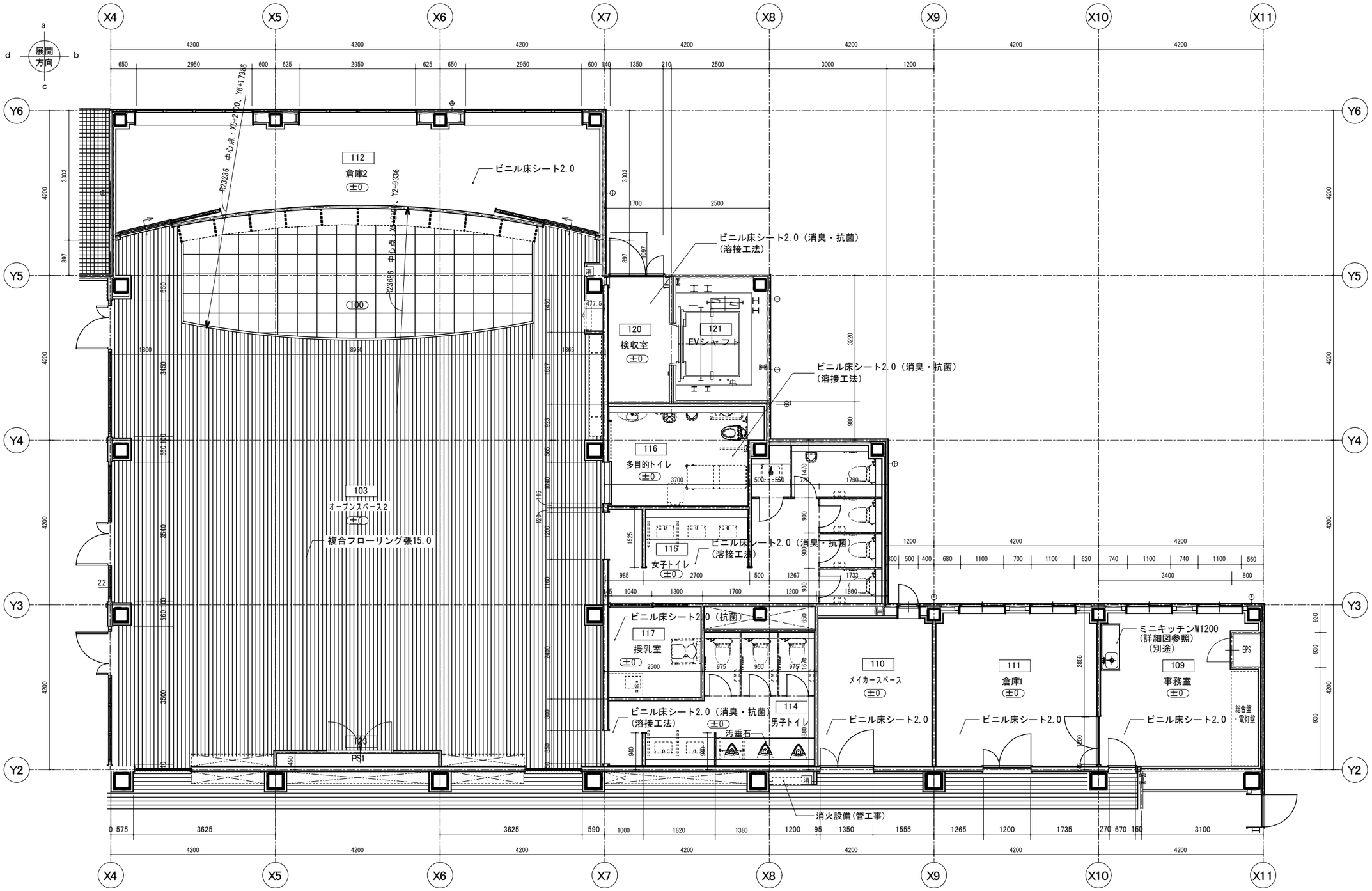
	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設 （仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-045	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 １階　平面詳細図２	●縮尺 A1:1/50 A3:1/25	



1階　平面詳細図3　1/50

消 ：スチール製消火器BOX(ABC10型消火器共)

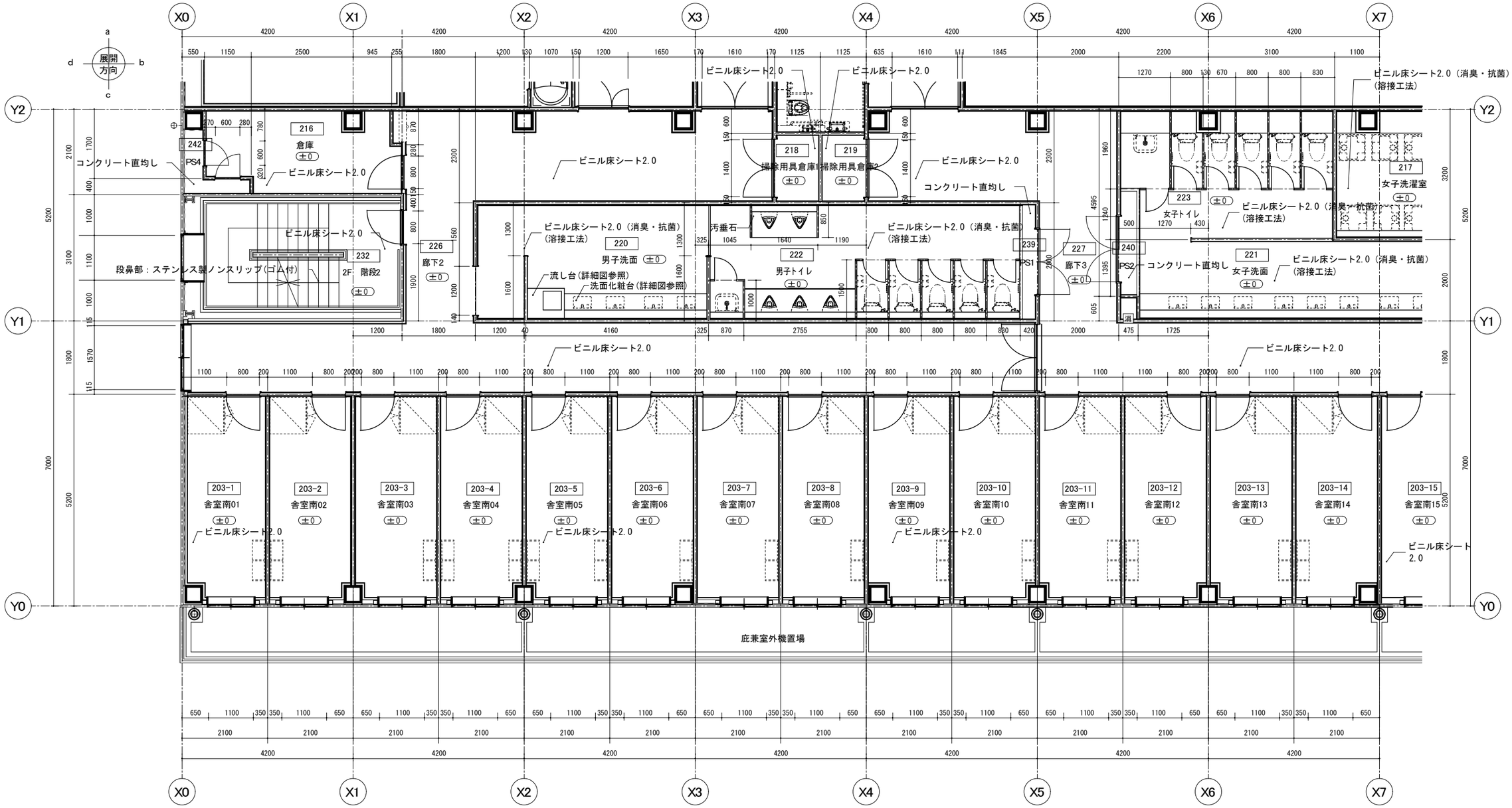
	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-046	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL （088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 １階　平面詳細図３	●縮尺 A1:1/50 A3:1/25	



1階　平面詳細図４　1/50

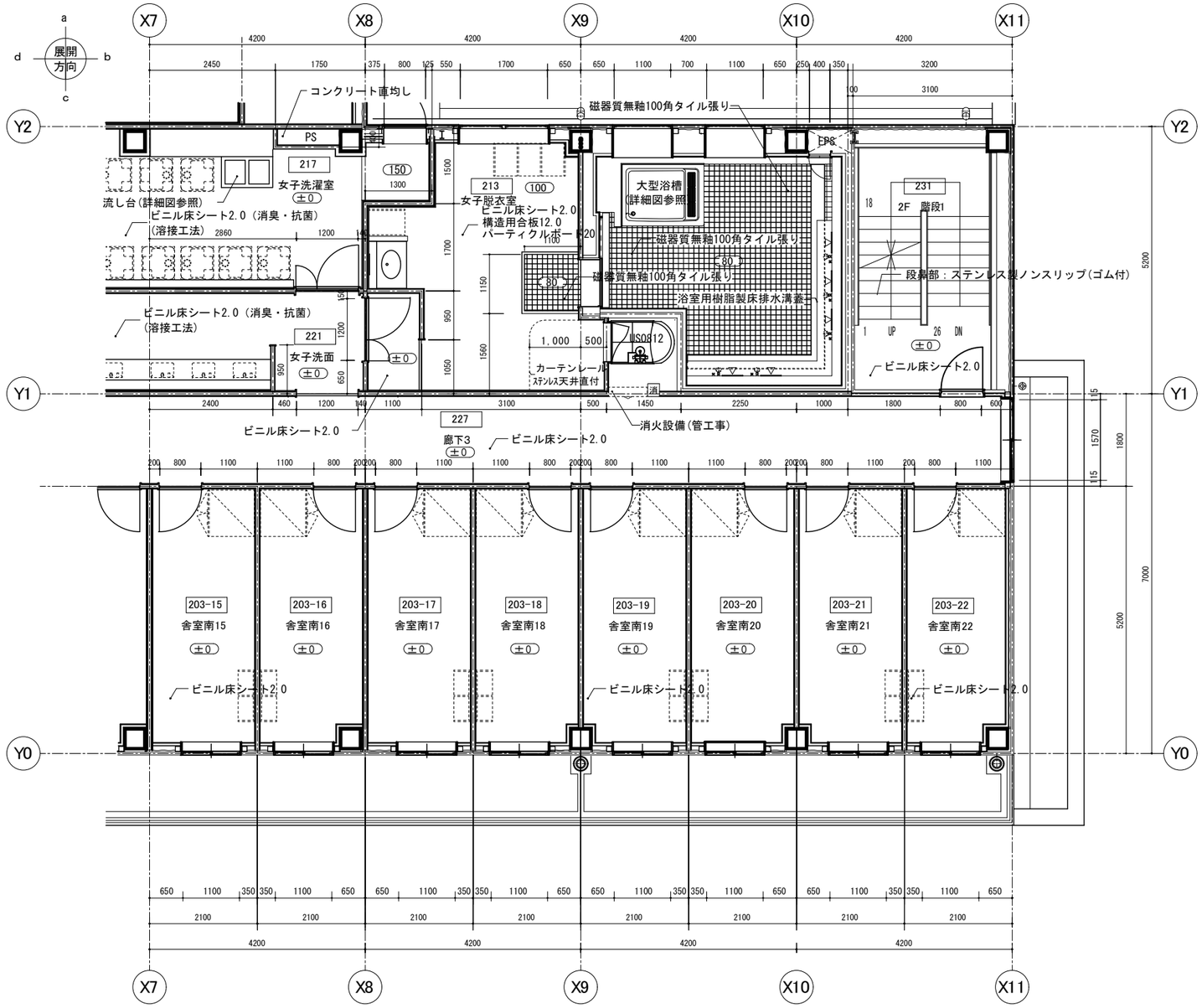
消 ：スチール製消火器BOX(ABC10型消火器共)

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設 （仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-047	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 １階　平面詳細図４	●縮尺 A1:1/50 A3:1/25	



2階　平面詳細図１　1/50

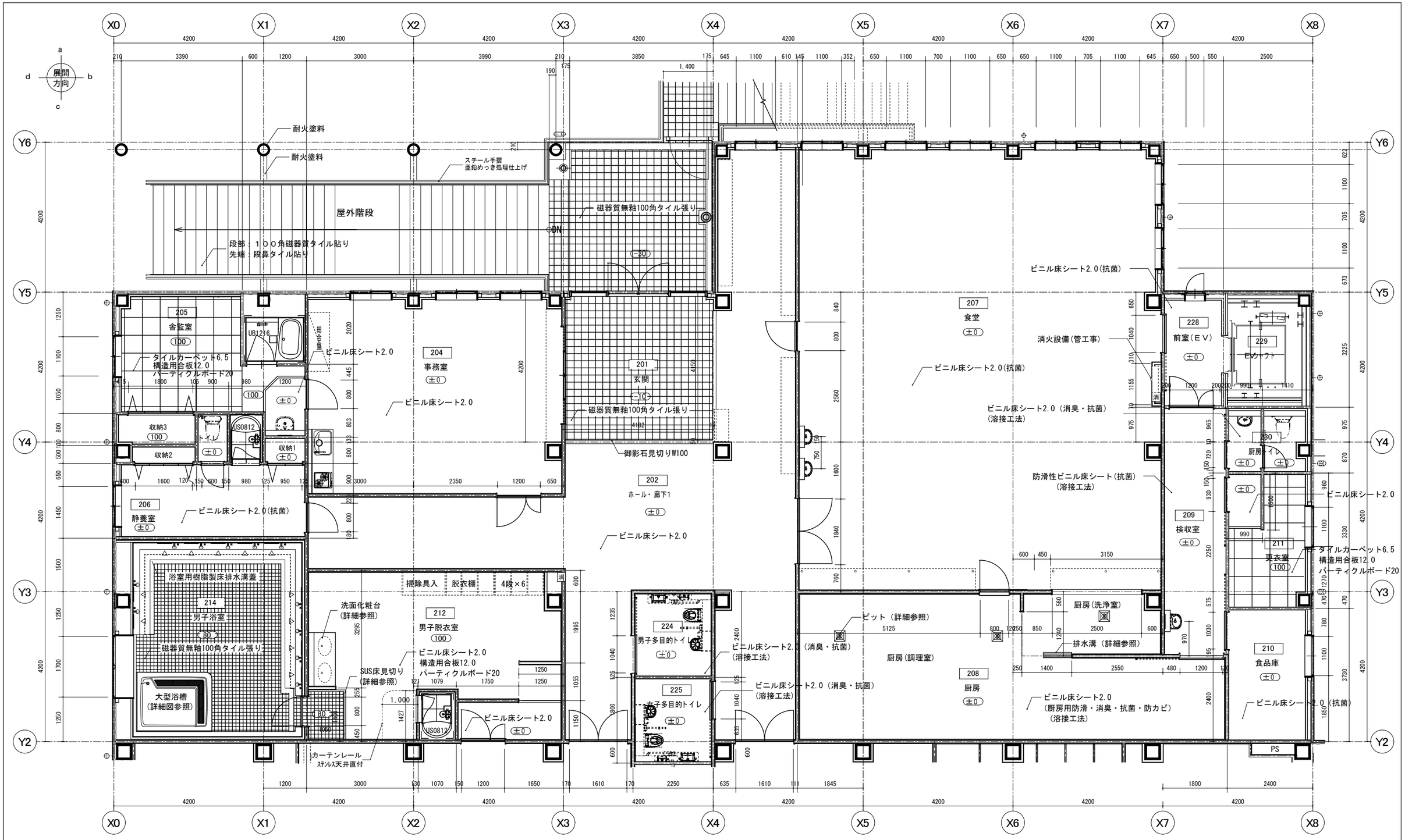
	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-048	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社 宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL （088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 ２階　平面詳細図１	●縮尺 A1:1/50 A3:1/25	



2階　平面詳細図２　1/50

消 ：スチール製消火器BOX(ABC10型消火器共)

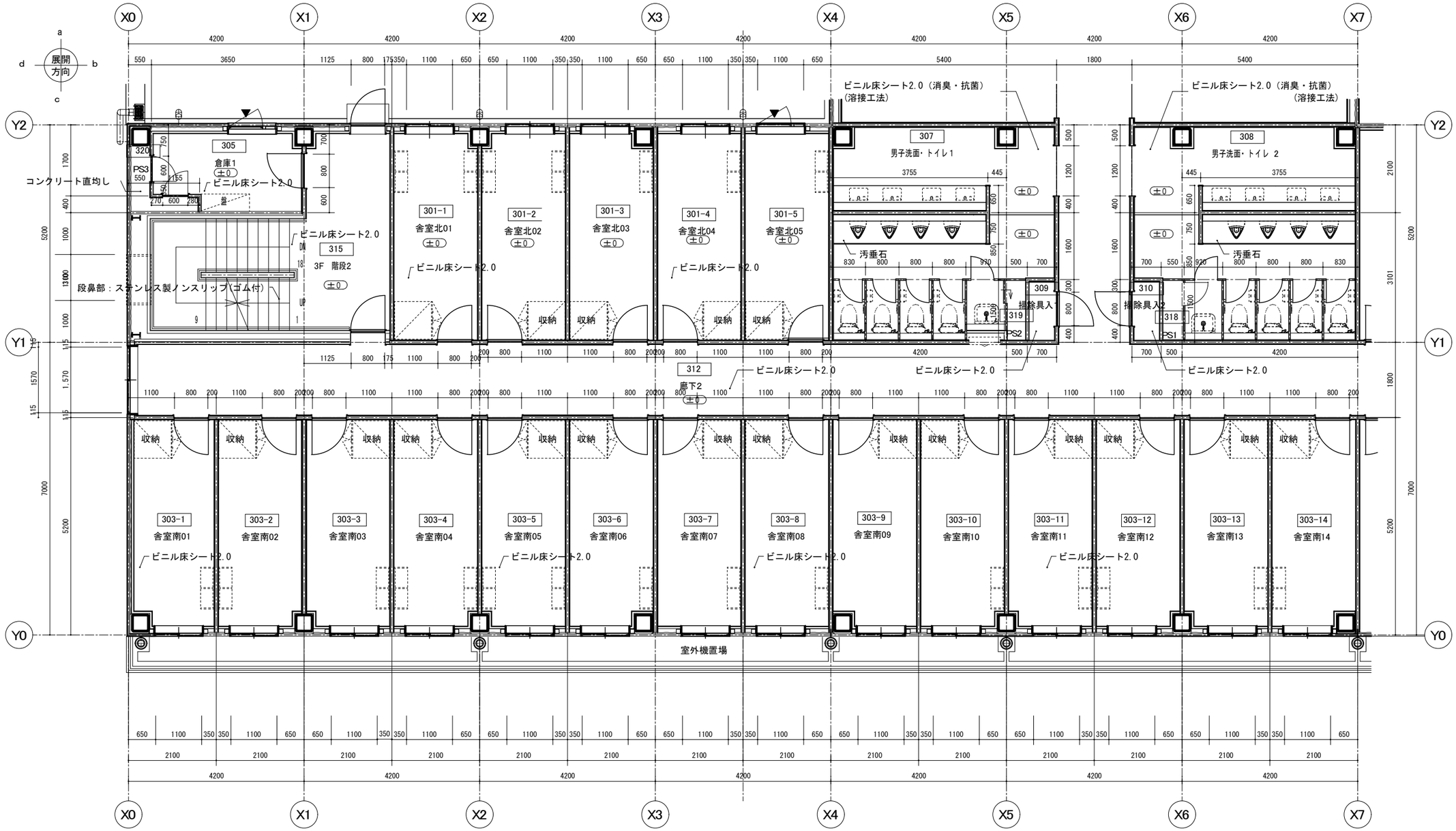
	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-049	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088) －625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 ２階　平面詳細図２	●縮尺 A1:1/50 A3:1/25	



2階　平面詳細図３　1/50

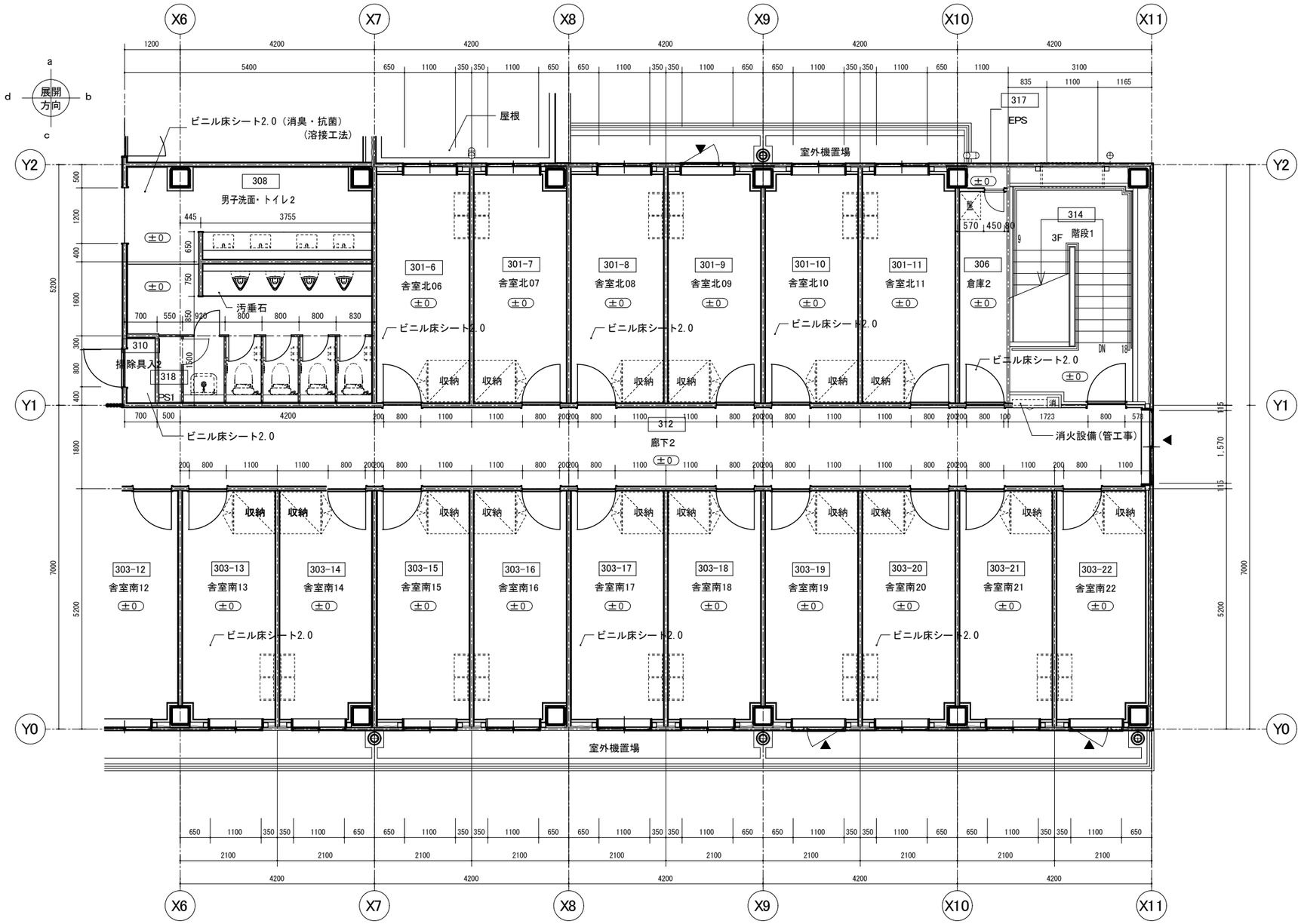
消：スチール製消火器BOX(ABC10型消火器共)

徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好森・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-050	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　(088)－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
	●図面名 ２階　平面詳細図３	●縮尺 A1:1/50 A3:1/25	



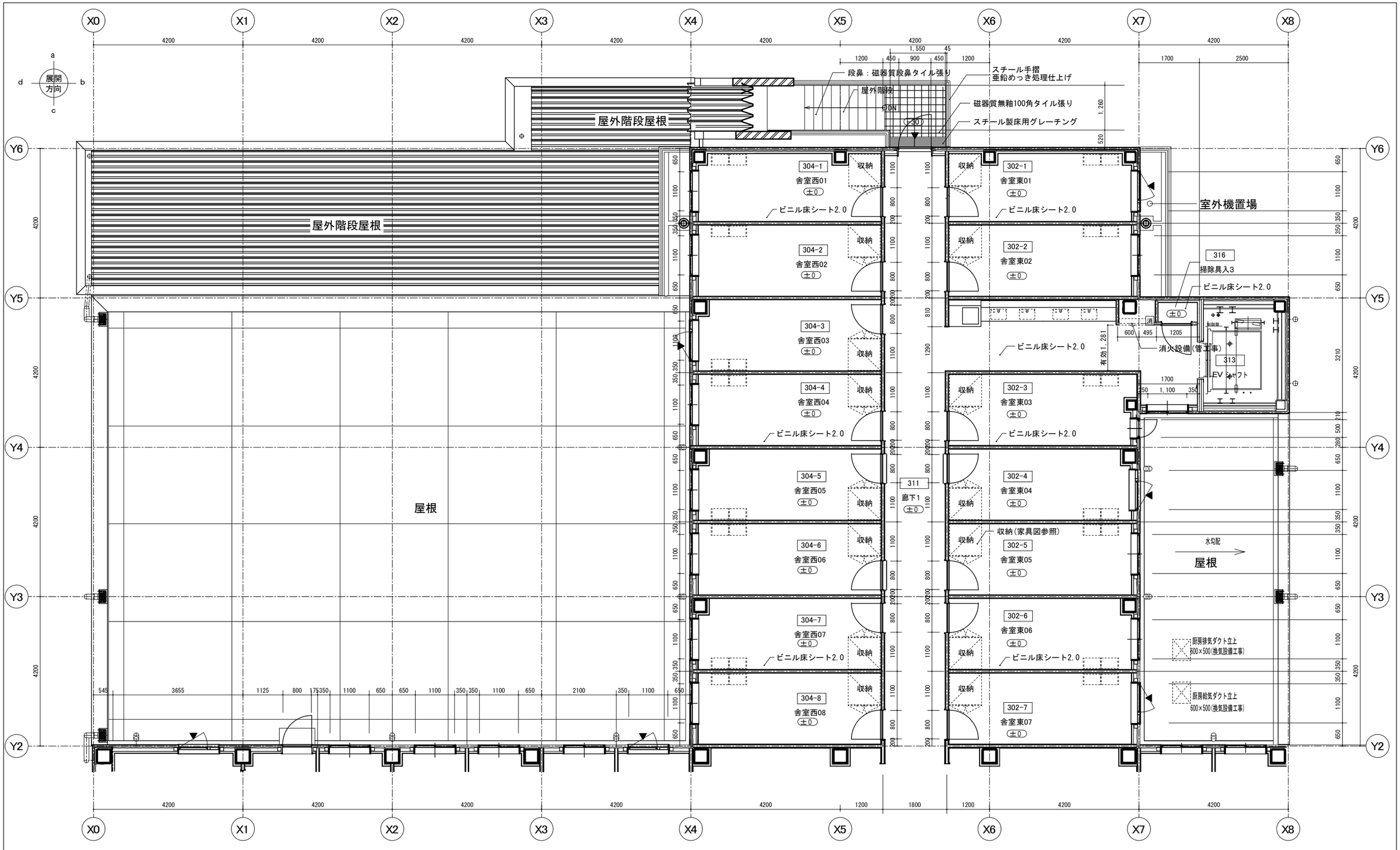
3階　平面詳細図１　1/50

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-051	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 ３階　平面詳細図１	●縮尺 A1:1/50 A3:1/25	



3階　平面詳細図２　1/50

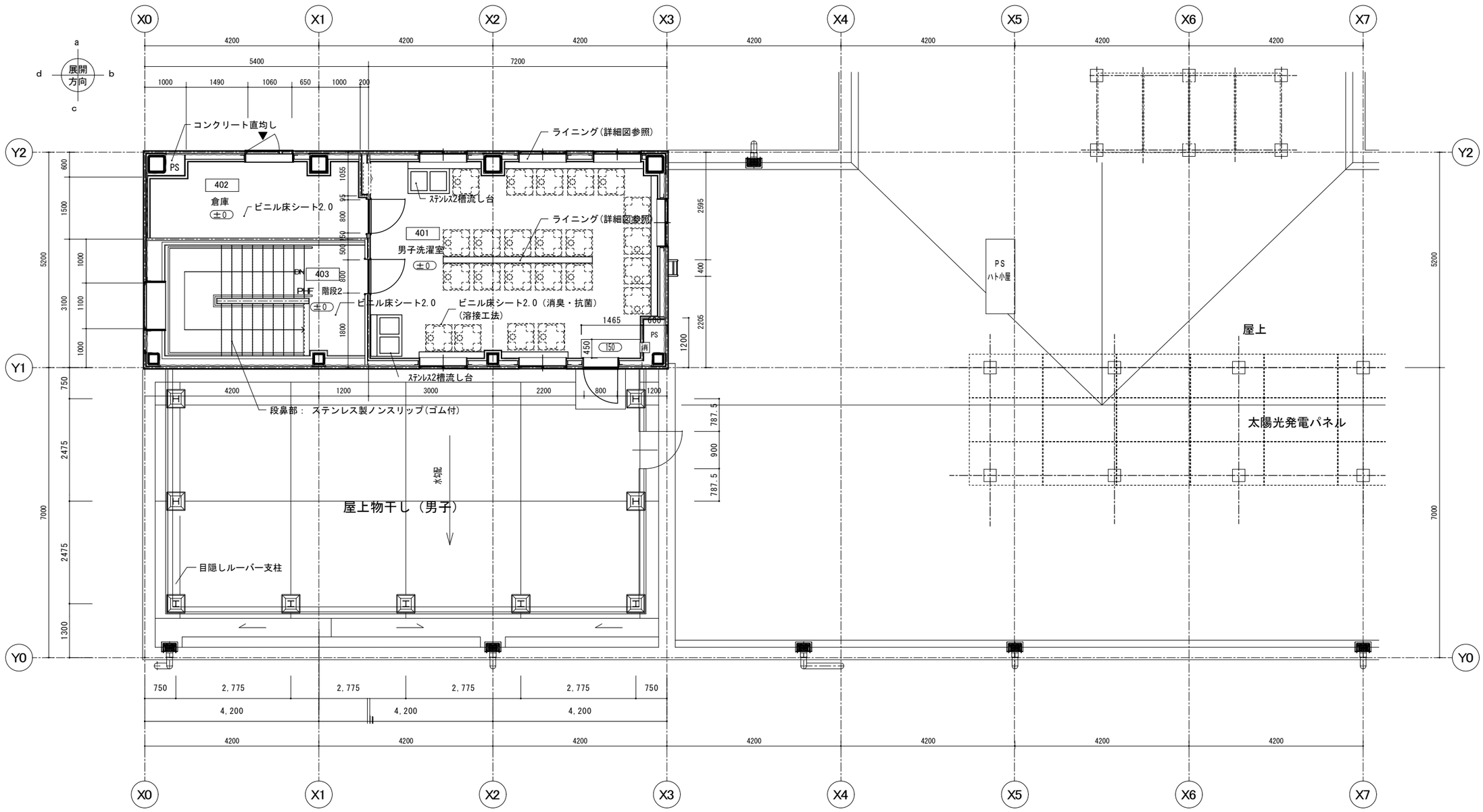
	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-052	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707
		●図面名 ３階　平面詳細図２	●縮尺 A1:1/50 A3:1/25	



3階　平面詳細図３　1/50

消 ：スチール製消火器BOX(ABC10型消火器共)

徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事	●図面番号 A-053	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社 宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL （088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707	
	●図面名 ３階　平面詳細図３	●縮尺 A1:1/50 A3:1/25		



PH階　平面詳細図　1/50

消 ：スチール製消火器BOX(ABC10型消火器共)

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 第２三好寮・三好市地域利便性施設（仮称）新築工事のうち建築工事 ●図名 PH階　平面詳細図	●図面番号 A-054 ●縮尺 A1:1/50 A3:1/25	１級建築士事務所　徳島県知事登録第11050号 株式会社　宮建築設計 徳島市福島１丁目５番６号 TEL　（088）－625－5505（代） 管理建築士　清水　康代　１級333707